

新たな総合計画の策定にあたっての  
有識者アンケート調査報告書

平成 29 年 3 月

富山県



## 目 次

---

調査の概要 .....	1
調査結果の要約 .....	3
調査結果の概要 .....	7
1. 今後 10 年間の富山県の重要施策について	
10 年後のイメージ .....	7
富山の魅力 .....	9
県土づくり .....	11
重点施策 .....	12
《活力》 .....	12
《未来》 .....	14
《安心》 .....	16
《行財政改革の推進》 .....	18
《人づくり》 .....	19
2. 分野ごとの課題や施策の方向性	
○活力	
新規成長産業 .....	20
新技術・新産業の創出 .....	22
商業・サービス業施策 .....	23
若者の定着 .....	25
観光産業施策 .....	27
農林水産業施策 .....	29
農山漁村の課題 .....	31
情報化 .....	32
○未来	
少子化対策 .....	34
児童の健全育成 .....	35
学校・家庭・地域での教育 .....	36

男女共同参画の推進 .....	41
地域の中での協働の推進.....	42
国際交流・国際協力 .....	43
○安心	
健康づくり .....	45
スポーツ振興 .....	46
高齢社会対策 .....	47
地域交通施策 .....	48
環境問題 .....	49
防災対策 .....	50
安全なまちづくり .....	51
3. 計画推進に向けた取組み	
重点施策（人づくり） .....	52
財政の健全化.....	53
行財政改革.....	54
広域連携の推進 .....	55
4. 自由意見（要約） .....	57
結果の数表 .....	61
使用した調査票 .....	85

# 調査の概要



## 調査の概要

### 1. 調査の目的

県内外の各分野で活躍する方々を対象として、富山県の将来像や進むべき方向等について意見・提言をいただき、新たな総合計画策定の基礎資料とする。

### 2. 調査の対象

県内外の有識者（県の各審議会委員、大学教授、民間団体の長等）794人

### 3. 調査の方法

次のいずれかの方法による。

- ・アンケート用紙を郵送し回答後、郵便にて返送してもらう。
- ・指定のホームページから Web アンケートで回答してもらう。

### 4. 調査時期

平成 29 年 1 月

### 5. アンケート回収結果

回収数 588 人（回収率 74.1%）

### 6. 調査実施機関

一般財団法人 北陸経済研究所

### 7. 報告書の見方

- （1）結果は百分率で表示した。百分比は小数点第 2 位を四捨五入した。したがって百分比の合計が 100% にならない場合がある。
- （2）図表中の「N」は回答者数を示している。なお、特に数字を示していない場合は N=588 人である。
- （3）図表中に「M. T.」とあるのは、2 つ以上の回答を求めた場合に、回答数の合計を N で割った比率であり、少数点第 2 位を四捨五入して示したものである。
- （4）図表中に「NA」とあるのは、回答しなかった人の回答者数総数に対する百分比で、小数点第 2 位を四捨五入して示したものである。
- （5）図表中の前回調査の順位中に「新」とあるのは、今回より新設された項目である。
- （6）結果の数表中の(SA)は単一回答の設問で、(MA)は複数回答の設問である。(MA:3)と記載されている場合は、回答数の上限が 3 つまでの設問である。

なお、本文中の『前回調査』は、平成 22 年 8 月実施の「新総合計画策定にかかる有識者アンケート調査」である。





# 調査結果の要約



## 調査結果の要約

### 【10年後のイメージ】

「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた肯定的な意見では、「情報通信技術の活用による生活等関連情報の利用の推進」(80.0%)、「交通基盤の充実に伴う交流の拡大による県内経済の活性化」(72.7%)、「様々な文化を楽しむ機会の増加」(61.1%)で高く、情報化や県内経済の活性化、文化を楽しむ機会の増加が進むと予想する人が多い。

「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた否定的な意見は、「安定した老後の生活を送ることができる」(44.5%)、「安心して子どもを生み育てることができ、少子化に歯止めがかかっている」(42.1%)で高く、老後の安定や子育て環境の充実、少子化の進行に対する不安がうかがえる。

### 【富山の魅力】

今後10年間を通して、富山県の魅力形成に重要なことは、「恵まれた教育環境のもとで、子どもが伸び伸びと育ち、個性が生かされること」(43.5%)、「保健・医療・福祉が充実しており、健康に暮らせること」(39.6%)、「様々な働く場所があり、所得水準が高いこと」(37.2%)の順であり、子どもの教育環境の整備や保健・医療・福祉の充実による健康な暮らし、雇用の確保と高い所得水準が重要であると考えられる人が多い。

### 【県土づくり】

今後10年間を通して、富山県の県土づくり(社会資本整備)施策において重視すべき成果としては、「人口減少への対応・地域の自立、活性化」(47.3%)、「少子化、子育て支援への対応」(43.7%)、「国内外の交流の活発化」(35.4%)の順であり、人口減少への対応や地域の活性化、少子化・子育て支援、国内外との交流への対応を重視した社会資本整備が必要であると考えられる人が多い。

### 【重点施策】

各分野において県が今後10年間で重点的に推進すべき施策として最も回答が多いものは、「活力」では雇用の確保と人材の育成、「未来」では元気な高齢者の活躍の場の拡大、「安心」では地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成、「行財政改革の推進」ではオープンで分かりやすい県政、「人づくり」では将来を担う子どもの基礎づくりとなっている。

### 【新規成長産業】

9割前後の人が今後の成長産業として、「医療・バイオテクノロジー」、「健康・福祉」、「ロボット」「観光」産業に力を入れるべきであると考えている。

### 【新技術・新産業の創出】

新技術・新産業の創出には、企業・大学・研究機関の連携による研究開発の促進が重要と考える人が多い。

### 【商業・サービス業施策】

商業・サービス業に対しては、コミュニティビジネスの支援や魅力ある商店街づくり、賑わいの創出が重要と考える人が多い。

**【若者の定着】**

若者の定着には「能力の発揮できる職場の確保」「結婚・出産・子育ての家庭環境整備」「高等教育機関の充実」が重要だと考える人が多い。

**【観光産業施策】**

富山の観光産業には「官民一体の戦略的観光地域づくり」「人材の育成」「二次交通の整備」が重要だと考える人が多い。

**【農林水産業施策】**

富山県の農林水産業施策として「将来の農林水産業を支える担い手の育成確保」「県産農林水産物のブランド力の向上（とやまブランドの育成・確立）」が重要だと考える人が多い。

**【農山漁村の課題】**

住みよい農山漁村を作るためには、特産物や伝統技術など地域資源を活用した産業の振興が重要と考える人が多い。

**【情報化】**

県民の生活に関する情報通信技術としては、情報ネットワークによる防災・緊急情報提供に期待している人が最も多い。

**【少子化対策】**

少子化対策には、「仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備」「保育料・授業料などの子育てにかかる経済的負担の軽減」が重要と考える人が多い。

**【児童の健全育成】**

家庭や地域で子どもの健全な育成を図るために、「子ども同士で遊ぶ機会の確保」「子どもが安心して遊べる場所や施設の確保」が重要であると考えられる人が多い。

**【学校・家庭・地域での教育】**

義務教育では「基礎学力」、高校では「自ら考える力」、家庭では「基本的な生活習慣」、地域では「ふるさとへの誇りと愛着」を身に付けることがそれぞれ重要だと考える人が多い。

**【男女共同参画の推進】**

男女共同参画社会の達成実現には、「男性優位の考え方や慣行を見直すこと」が重要と考える人が最も多い。

**【地域の中での協働の推進】**

行政、ボランティア・NPO、企業などがお互いの特性を生かして社会づくりを進めていくために特に重要なことは、「県民のボランティア・NPO活動に対する理解促進」であると考えられる人が多い。

**【国際交流・国際協力】**

国際交流・国際協力で取り組むべきこととして、「優れた技術を有するボランティア派遣」「海外研修員・留学生の受入などの促進」が重要と考える人が多い。

**【健康づくり】**

富山県の健康づくりの施策には、「がん検診、健康診断の充実」「正しい情報・知識の提供」が重要と考える人が多い。

### 【スポーツ振興】

スポーツ振興のための施策として、「総合型地域スポーツクラブを核とした地域スポーツ活動の活性化」が重要と考える人が最も多い。

### 【高齢社会対策】

高齢社会対策として「在宅福祉・介護サービスの充実」が重要と考える人が最も多い。

### 【地域交通施策】

地方公共交通に対する施策として、「生活交通路線を維持する施策の推進（生活路線バス運行支援等）」が重要と考える人が最も多い。

### 【環境問題】

環境施策として、「低炭素・循環型社会の構築のためにライフスタイルを見直すなど一人ひとりの取組みを推進すること」が重要と考える人が最も多い。

### 【防災対策】

防災対策の重要な施策として、「災害に備えた避難場所の整備や物資の確保や災害情報伝達機能の強化」を考える人が最も多い。

### 【安全なまちづくり】

安全なまちづくりのための施策は、「高齢者を交通事故や犯罪被害から守る対策の推進」「子どもや女性を犯罪被害から守る対策の推進」が重要だと考える人が多い。

### 【重点施策（人づくり）】

富山県を担う人づくりのために、「ふるさとに誇りと愛着を持ち、家族や地域の絆を大切にする子どもの育成」「変化する社会に果敢にチャレンジし、困難にくじけない子どもの育成」に重点を置かなければならないと考える人が多い。

### 【財政の健全化】

県の財政健全化のために、「行政と民間、県と市町村の役割分担を見直し、県が行う事務事業を縮減すべきである」と考える人が最も多い。

### 【行財政改革】

行財政改革において優先的に取り組むべき事項は、「職員の資質向上、意識改革や政策形成能力を高める人材づくりを行うこと」「県庁の本庁や出先機関の組織の簡素化、事務事業の見直し、民間委託の推進等により、職員数を抑制・削減すること」であると考えている人が多い。

### 【広域連携の推進】

広域連携による地域づくりのために、「富山県、石川県、福井県の北陸三県の連携を強化していくべき」と考える人が最も多



# 調査結果の概要





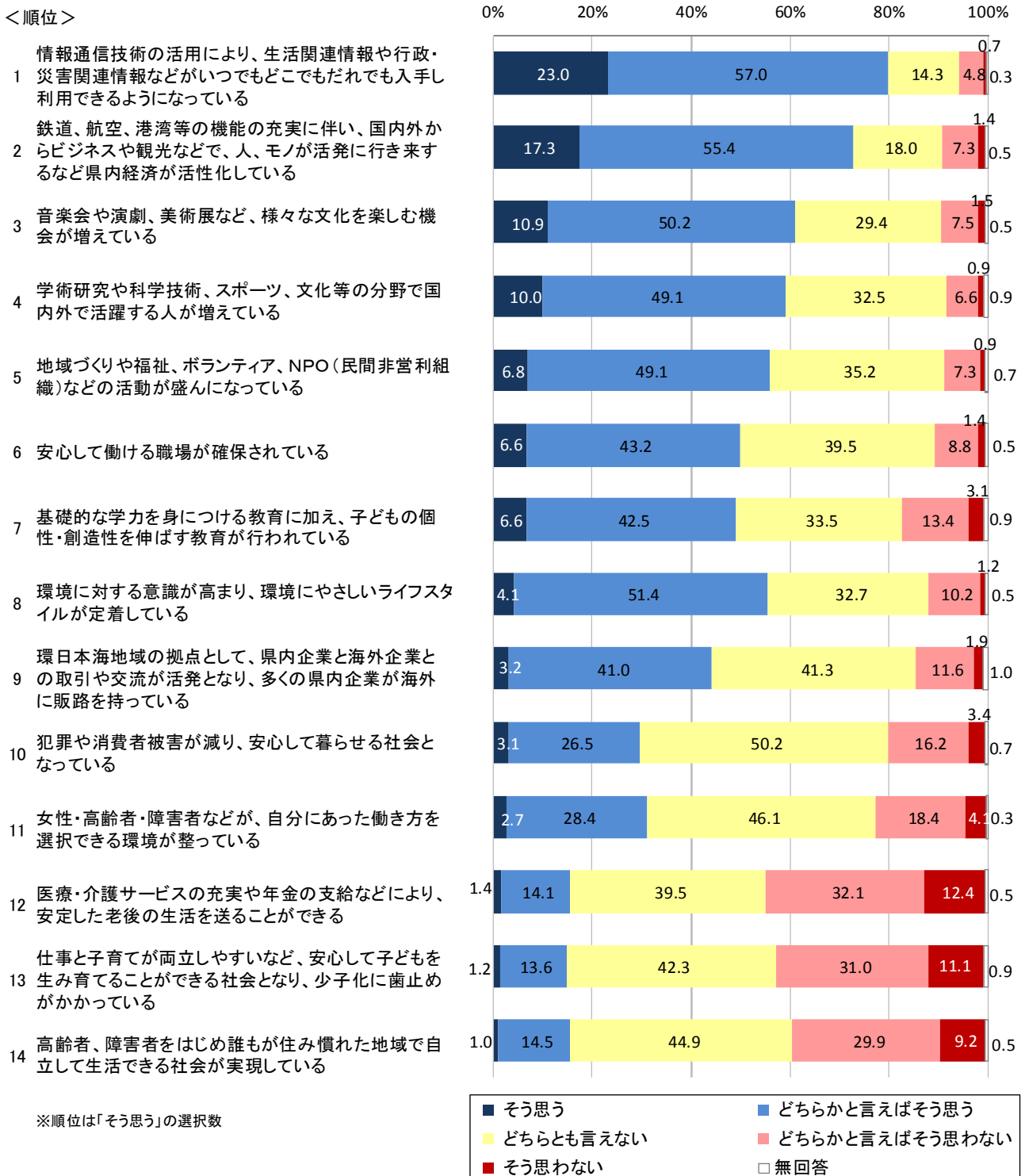
## 調査結果の概要

### 1. 今後10年間の富山県の重要施策について

【10年後のイメージ】

問1 10年後の県民生活はどのようになるとお考えですか。次のそれぞれの項目について、あなたのお考えに近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

図表 10年後の県民生活イメージ



●10年後の富山県のイメージは、生活関連等へのITの利活用が一層進展し、交通インフラの充実によって  
県内経済が活性化しており、文化活動を楽しむ機会も増加している

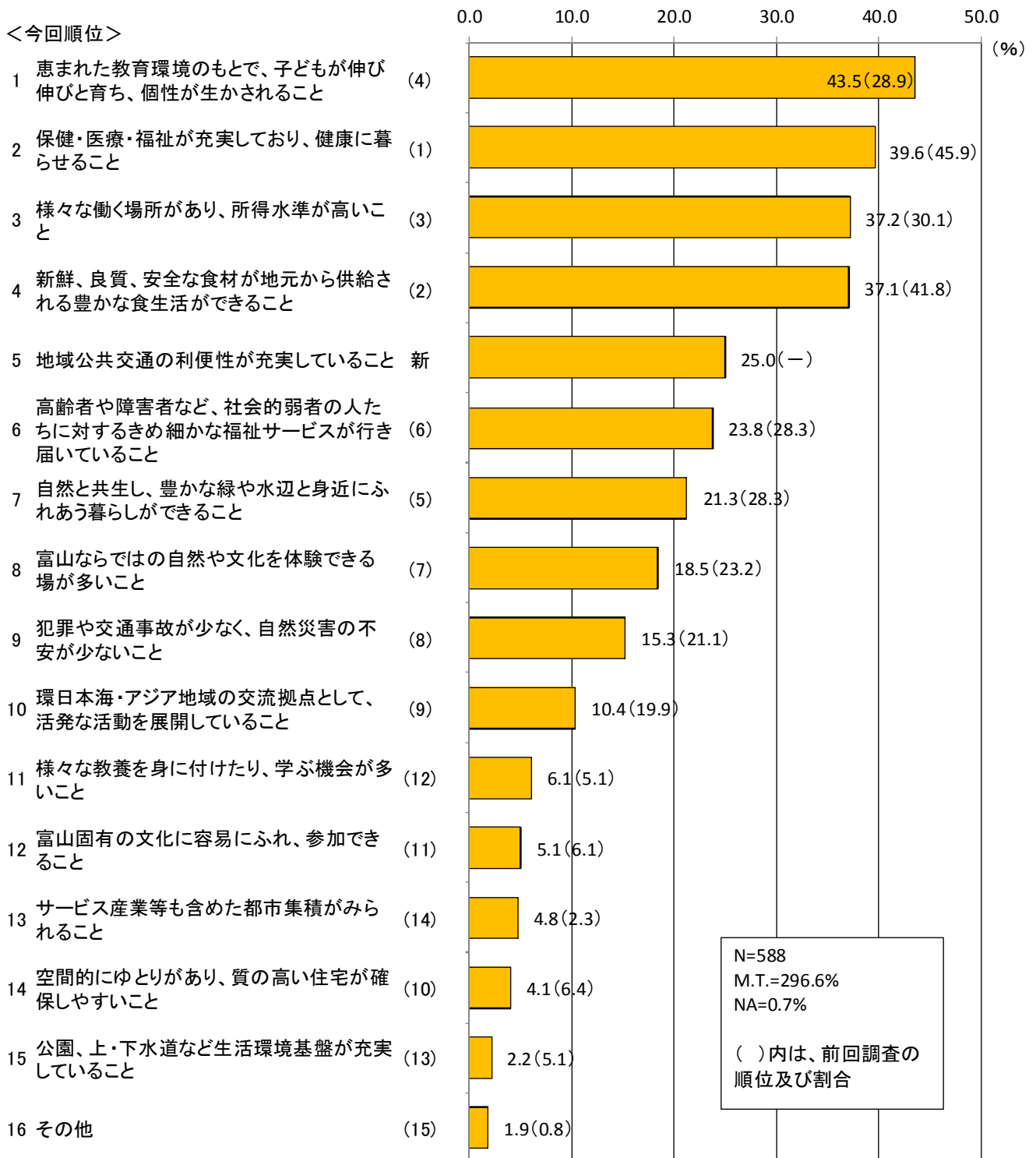
10年後の県民生活の状況について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的意見は上位から順に「情報通信技術の活用により生活・行政・災害関連情報などが簡単に入手し利用できるよ  
うになっている」(80.0%)、「鉄道・航空・港湾等の機能の充実に伴い、国内外からビジネスや観光などで、  
人、モノが活発に行き来するなど県内経済が活性化している」(72.7%)、「音楽会や演劇、美術展など、様々  
な文化を楽しむ機会が増えている」(61.1%)となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた否定的意見は「医療・介護サー  
ビスの充実や年金の支給などにより、安定した老後の生活を送ることができる」(44.5%)、「仕事と子育てが  
両立しやすいなど、安心して子どもを産み育てることができる社会となり、少子化に歯止めがかかっ  
ている」(42.1%)、「高齢者、障害者をはじめ誰もが住み慣れた地域で自立して生活できる社会が実現している」  
(39.1%)となっている。

【富山の魅力】

問2 富山ならではの魅力の形成として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

図表 富山の魅力形成のための重要事項



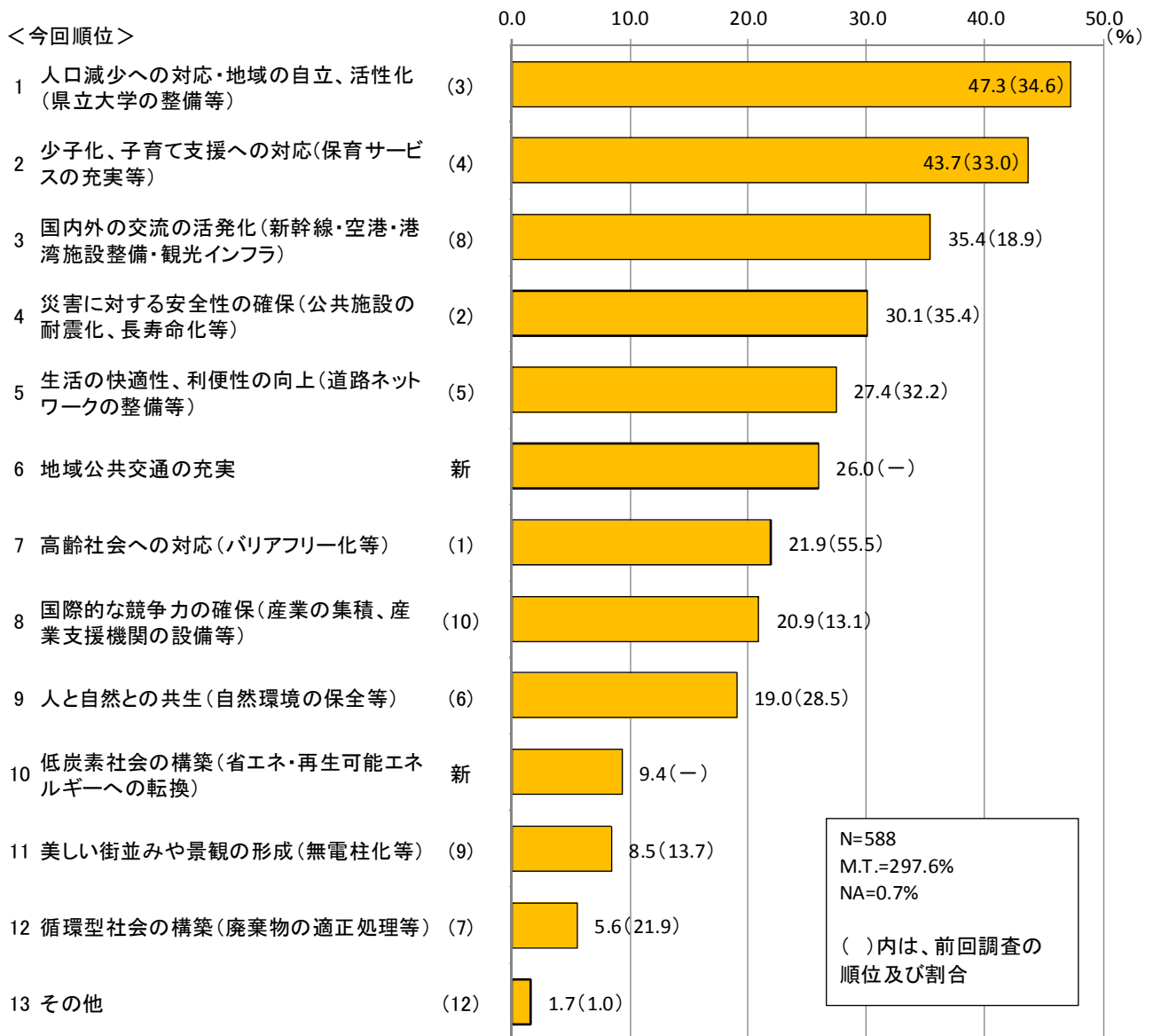
●富山の魅力形成には、子どもたちへの恵まれた教育環境、保健・医療・福祉の充実、雇用・所得の確保  
今後10年間を通して、富山ならではの魅力形成のために重点を置きたい上位5位は「恵まれた教育環境のもとで、子どもが伸び伸びと育ち、個性が活かされること」(43.5%)、「保健・医療・福祉が充実しており、健康に暮らせること」(39.6%)、「様々な働く場所があり、所得水準が高いこと」(37.2%)、「新鮮、良質、安全な食材が地元から供給される豊かな食生活ができること」(37.1%)、「地域公共交通の利便性が充実していること」(25.0%)となっている。

前回調査との比較では、「恵まれた教育環境のもとで、子どもが伸び伸びと育ち、個性が活かされること」の割合が大きく増加し、順位が上がっている。また、新項目の「地域公共交通の利便性が充実していること」が5位に入っている。

【県土づくり】

問3 本県の県土づくり（社会資本整備）施策として、今後10年間を通して、どのような成果を重視して整備を進めるべきとお考えですか。  
次の中から、あなたの考えに近いものを3つ選んで○をつけてください。

図表 県土づくり施策



●県土づくりには人口減少・少子化・子育てへの対応重視を

県土づくり施策（社会資本整備）の成果について重視すべき点として「人口減少への対応・地域の自立、活性化（県立大学の整備等）」（47.3%）、「少子化、子育て支援への対応（保育サービスの充実等）」（43.7%）「国内外の交流の活発化（新幹線・空港・港湾施設整備・観光インフラ）」（35.4%）が上位3項目となっている。

前回調査との比較では、2015年3月に北陸新幹線の金沢開業の影響により「国内外の交流の活発化（新幹線・空港・港湾施設整備・観光インフラ）」が大きく増加し、順位も上がった。また、人口減少、少子化に対する施策の成果の重要性の割合が高まった。

【重点施策】

問4 本県が、今後10年間を通して、特に重点的に推進していくことが求められる施策は何だとお考えですか。現行計画「新・元気とやま創造計画」の柱として掲げる各施策について、あなたのお考えに近いものを選んでください。

《活力》について、3つまで選んで○をつけてください。

図表 重点施策《活力》



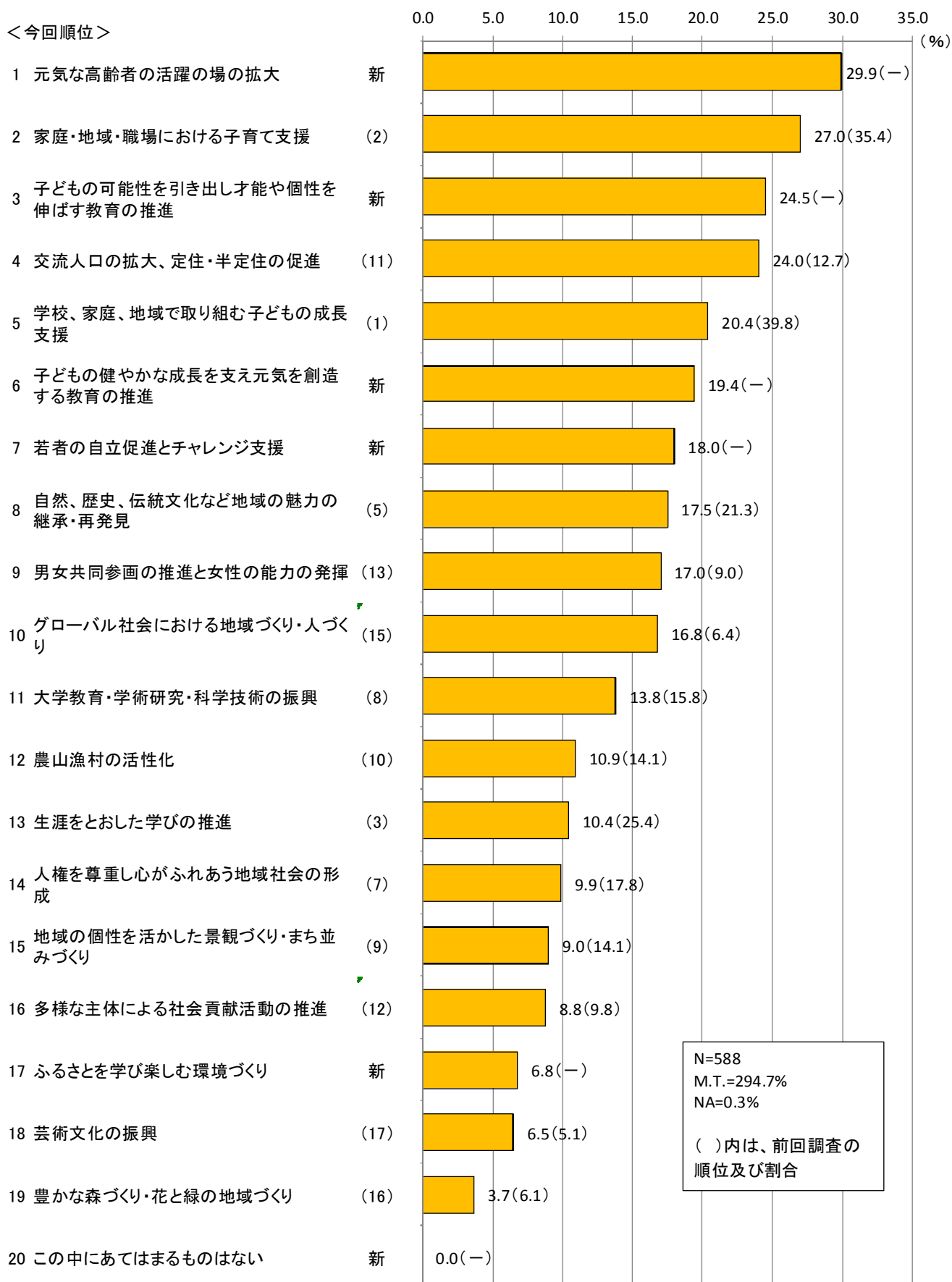
### ●活力は雇用の確保と人材育成、魅力的なまちづくりで

《活力》の分野において重点的に推進していくべき施策は、「雇用の確保と人材の育成」(43.2%)の割合が最も高く、次いで「快適で活力ある魅力的なまちづくり」(32.7%)、「富山のブランド力アップ」(27.2%)、「産学官連携によるものづくり産業の高度化」(24.3%)となっている。

前回調査との比較では、1位に変化はなかったが、「快適で活力ある魅力的なまちづくり」「富山のブランド力アップ」が大きく割合が増加した。これらに「ものづくり産業の高度化」「新成長産業の育成」を加えた4項目(2~5位)については、北陸新幹線開通により関東地方との交流が拡大し、富山の新たな魅力を外向きに発信することが富山の活力を生み出す重要施策であると考えた人が多くなったことが見て取れるのではないかと。逆に「中小企業の振興」や「農業生産の振興」は割合も順位も下がっている。

《未来》について、3つまで選んで○をつけてください。

図表 重点施策《未来》





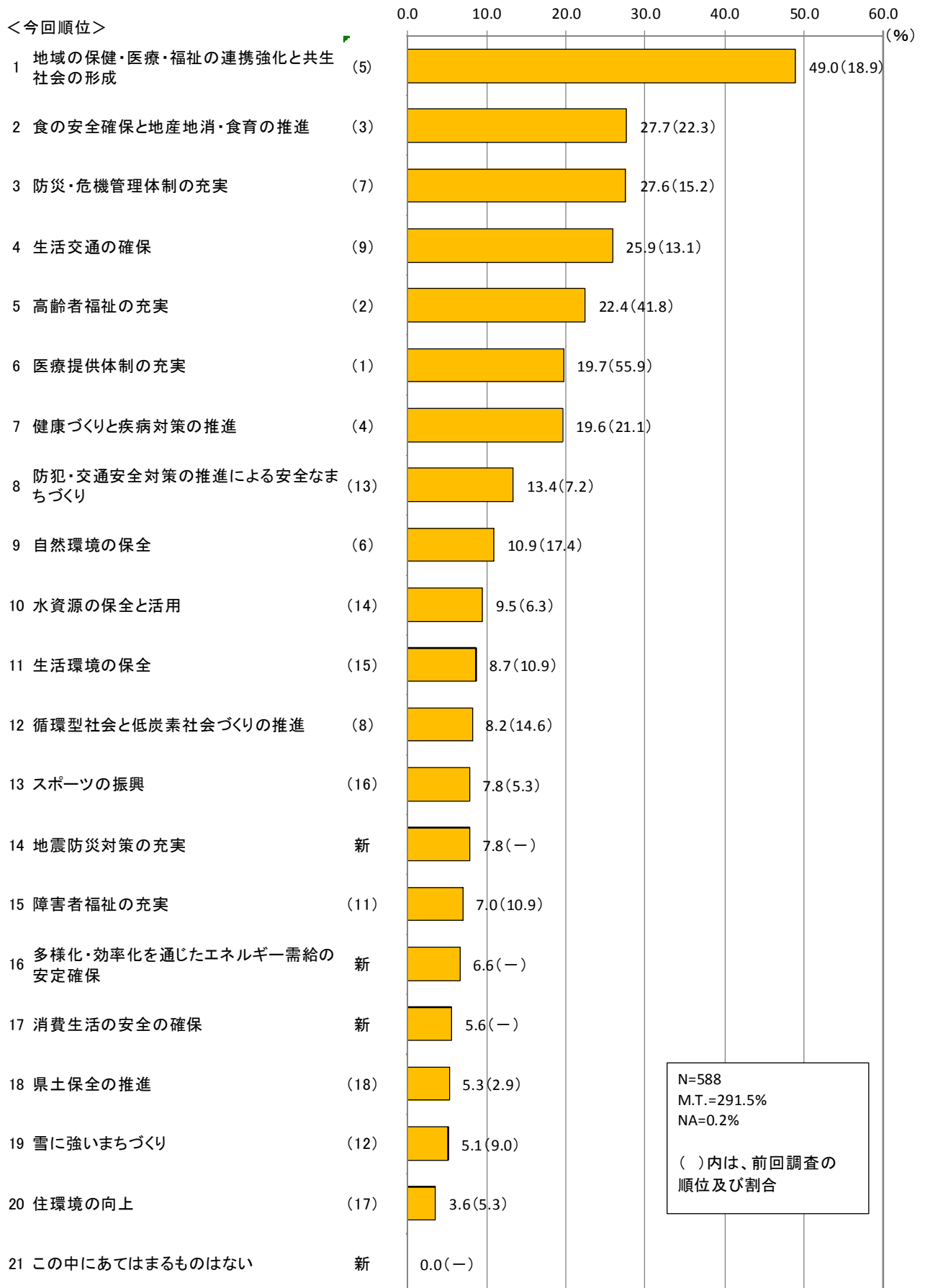
●未来に向け「高齢者の活躍」「子育て支援」「子どもの可能性を伸ばす教育」に重点を

《未来》の分野において重点的に推進していくべき施策は、「元気な高齢者の活躍の場の拡大」(29.9%)が最も高く、「家庭・地域・職場における子育て支援」(27.0%)、「子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進」(24.5%)、「交流人口の拡大、定住・半定住の促進」(24.0%)の順になっている。

前回調査との比較では、子ども関連施策を中心に新たな項目が多く追加されているため、単純に比較することはできないが、前回 11 位だった「交流人口の拡大、定住・半定住の促進」の割合が大きく増加し、一方前回 1 位だった「学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援」の割合が減少した。

《安心》について、3つまで選んで○をつけてください。

図表 重点施策《安心》



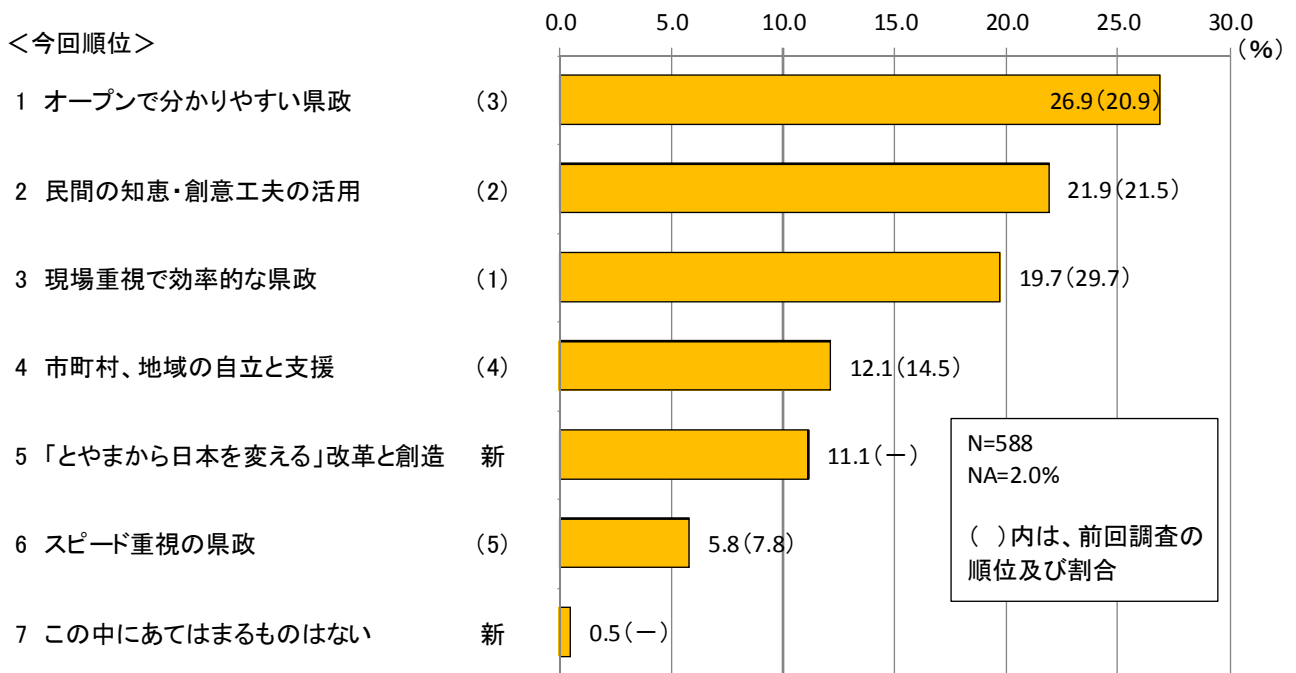
●安心な社会には「地域の保健・医療・福祉の連携強化」「食の安全確保」「防災・危機管理の充実」

《安心》の分野において重点的に推進していくべき施策は、「地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成」（49.0%）、「食の安全確保と地産地消・食育の推進」（27.7%）、「防災・危機管理体制の充実」（27.6%）、「生活交通の確保」（25.9%）の順で割合が高くなっている。

前回調査との比較では、医療・福祉などの課題を総合的に捉える「地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成」が1位となり、個別に課題に対応する「高齢者福祉の充実」、「医療提供体制の充実」が回答割合、順位とも下がった。また、「防災・危機管理体制の充実」「生活交通の確保」の割合が増加した。

《行財政改革の推進》について、1つ選んで○をつけてください。

図表 重点施策《行財政改革の推進》



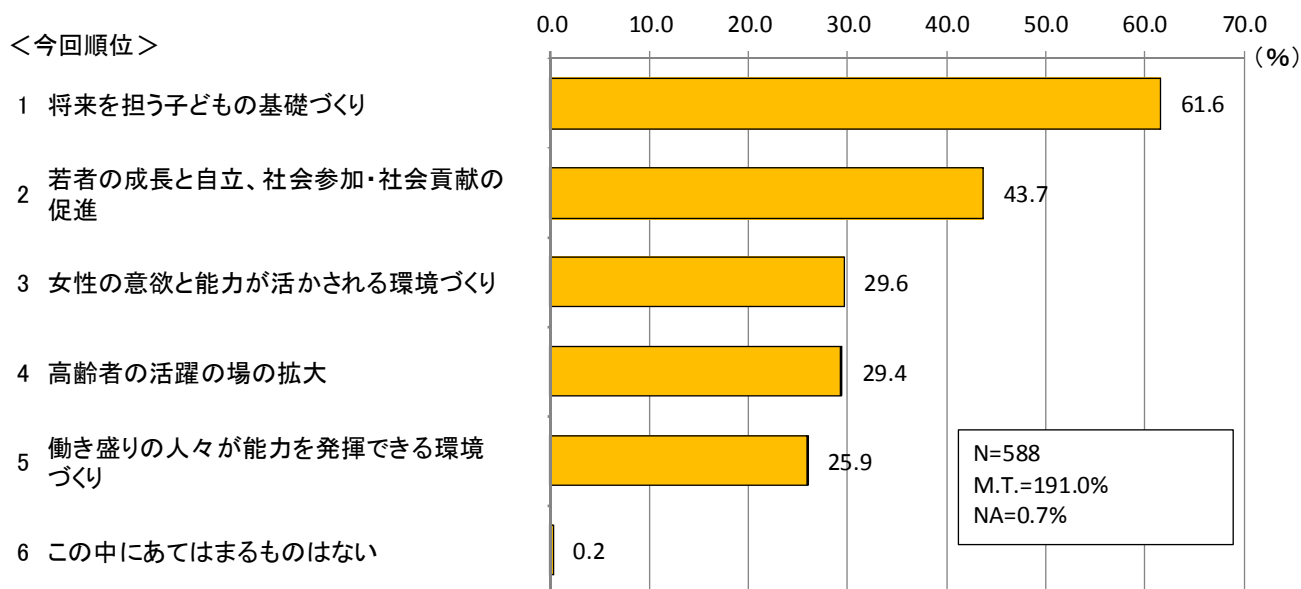
●行財政改革では、オープンで分かりやすい県政を

《行財政改革の推進》の分野において重点的に推進していくべき施策は、最も高い回答の割合は「オープンで分かりやすい県政」(26.9%)となっており、次いで「民間の知恵・創意工夫の活用」(21.9%)、「現場重視で効率的な県政」(19.7%)となっている。

前回調査との比較は、前回1位だった「現場重視で効率的な県政」が回答者の割合を減らし、「オープンで分かりやすい県政」が1位となった。

《人づくり》について、2つ選んで○をつけてください。

図表 重点施策《人づくり》



●人づくりは子どもの基礎づくり

《人づくり》の分野において重点的に推進していくべき施策は、「将来を担う子どもの基礎づくり」(61.6%)が最も割合が高く、次いで「若者の成長と自立、社会参加・社会貢献の促進」(43.7%)、「女性の意欲と能力が活かされる環境づくり」(29.6%)、「高齢者の活躍の場の拡大」(29.4%)となった。

前回調査との比較はない。

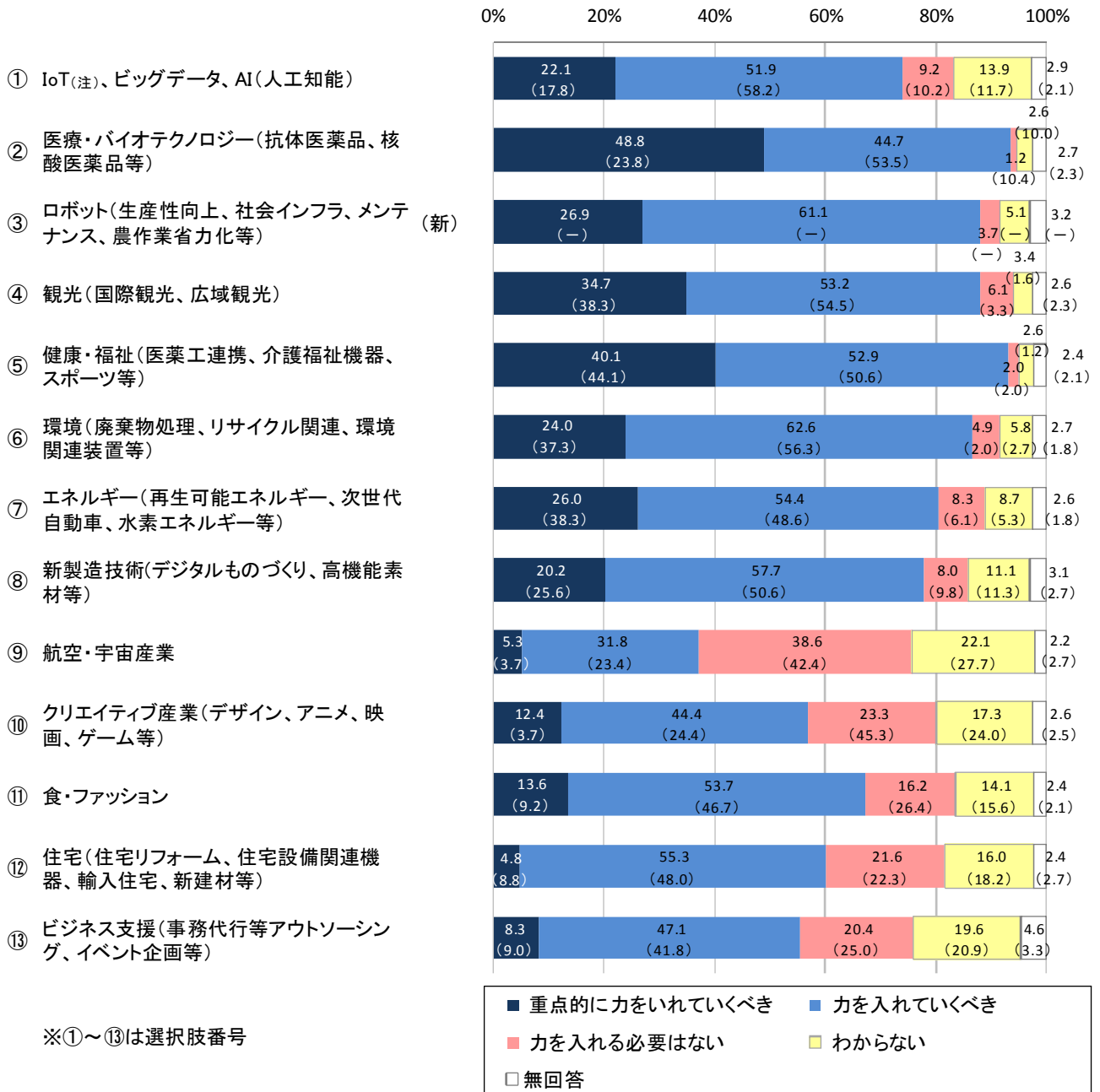
## 2. 分野ごとの課題や施策の方向性

### ○活力

#### 【新規成長産業】

問5 成長が期待される産業分野について、本県として、今後10年間を通して、どのような分野に力をいれて取り組むべきだとお考えですか。  
次のそれぞれの分野について、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

図表 重点的に注力すべき新規成長産業



(注) IoT: Internet of Things の略で、「モノのインターネット」と呼ばれる。自動車、家電、ロボット、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出すもの。

●力を入れて取り組むべき産業は「医療・バイオ医薬品」「健康・福祉」「ロボット」

成長が期待される産業分野において富山県が今後10年間『力を入れていくべき』分野（「重点的に力を入れていくべき」と「力を入れていくべき」の合計）で一番高かったものは「医療・バイオテクノロジー（抗体医薬品、核酸医薬品等）」（93.5%）、次いで「健康・福祉（医薬工連携、介護福祉機器、スポーツ等）」（93.0%）、「ロボット（生産性向上、社会インフラ、メンテナンス、農作業省力化等）」（88.0%）、「観光（国際観光、広域観光）」（87.9%）となっている。

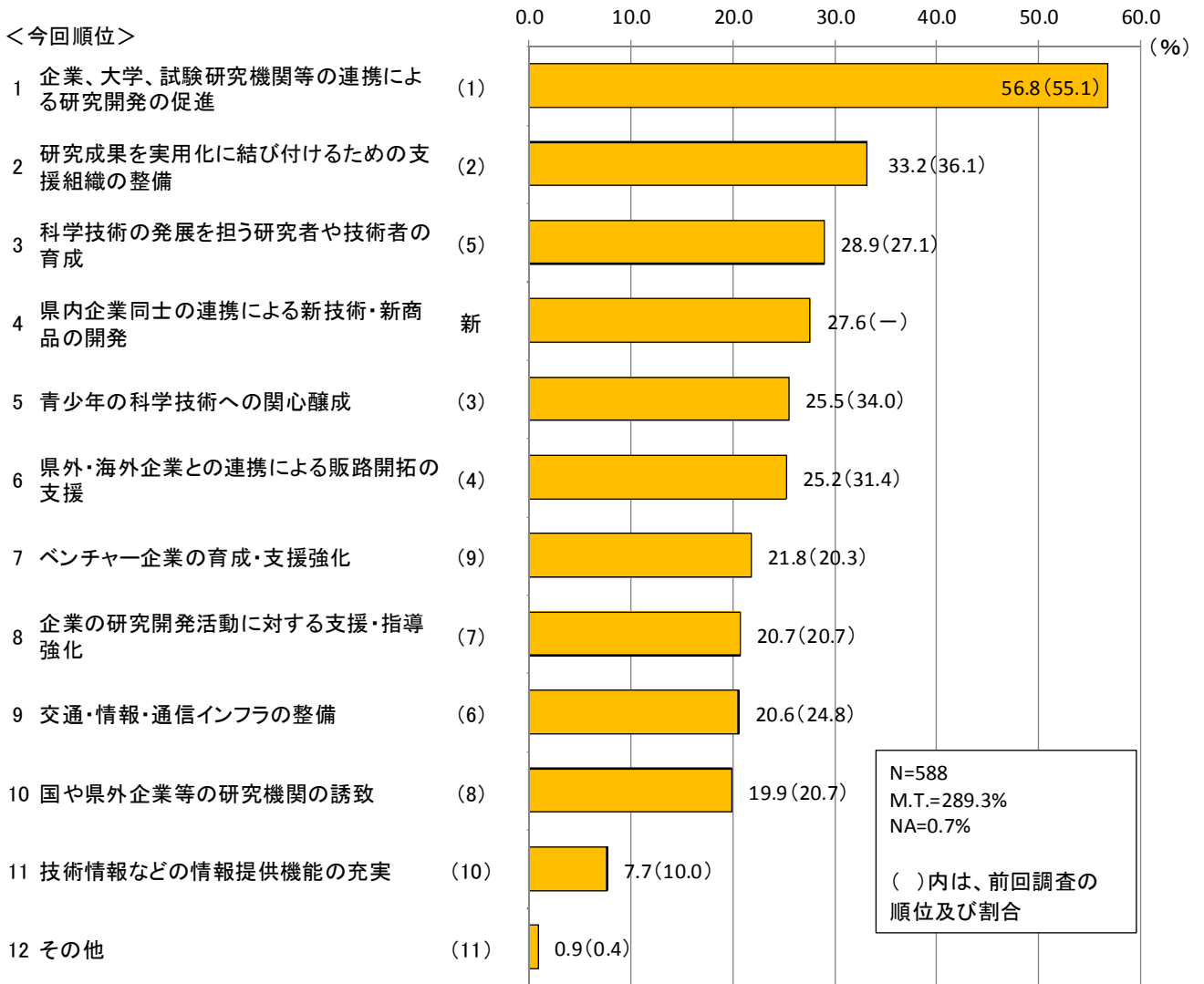
一方、「力を入れる必要はない」の割合が多かったものは順に「航空・宇宙産業」（38.6%）、「クリエイティブ産業（デザイン、アニメ、映画、ゲーム等）」（23.3%）、「住宅（住宅リフォーム、住宅設備関連機器、輸入住宅、新建材等）」（21.6%）、「ビジネス支援（事務代行等アウトソーシング、イベント企画等）」（20.4%）となっている。

前回調査と比較すると、「医療・バイオテクノロジー（抗体医薬品、核酸医薬品等）」を「重点的に力を入れていくべき」とする割合が大きく増加した。また、今回「力を入れる必要がない」が比較的高かった「航空・宇宙産業」や「クリエイティブ産業（デザイン、アニメ、映画、ゲーム等）」についても『力を入れていくべき』とする割合が前回よりも大きく増加しており、富山県の新たな産業として期待されていることがうかがわれる。

【新技術・新産業の創出】

問6 本県の新技術・新産業の創出の施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。  
次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

図表 新技術・新産業の創出



●新技術・新産業の創出は企業・大学・研究機関の連携による研究開発で

新技術・新産業創出の重要な施策として最も回答割合が高かったものは、「企業、大学、試験研究機関等の連携による研究開発の促進」(56.8%)で、次いで「研究成果を実用化に結び付けるための支援組織の整備」(33.2%)、「科学技術の発展を担う研究者や技術者の育成」(28.9%)、「県内企業同士の連携による新技術・新商品の開発」(27.6%)、「青少年の科学技術への関心醸成」(25.5%)となっている。

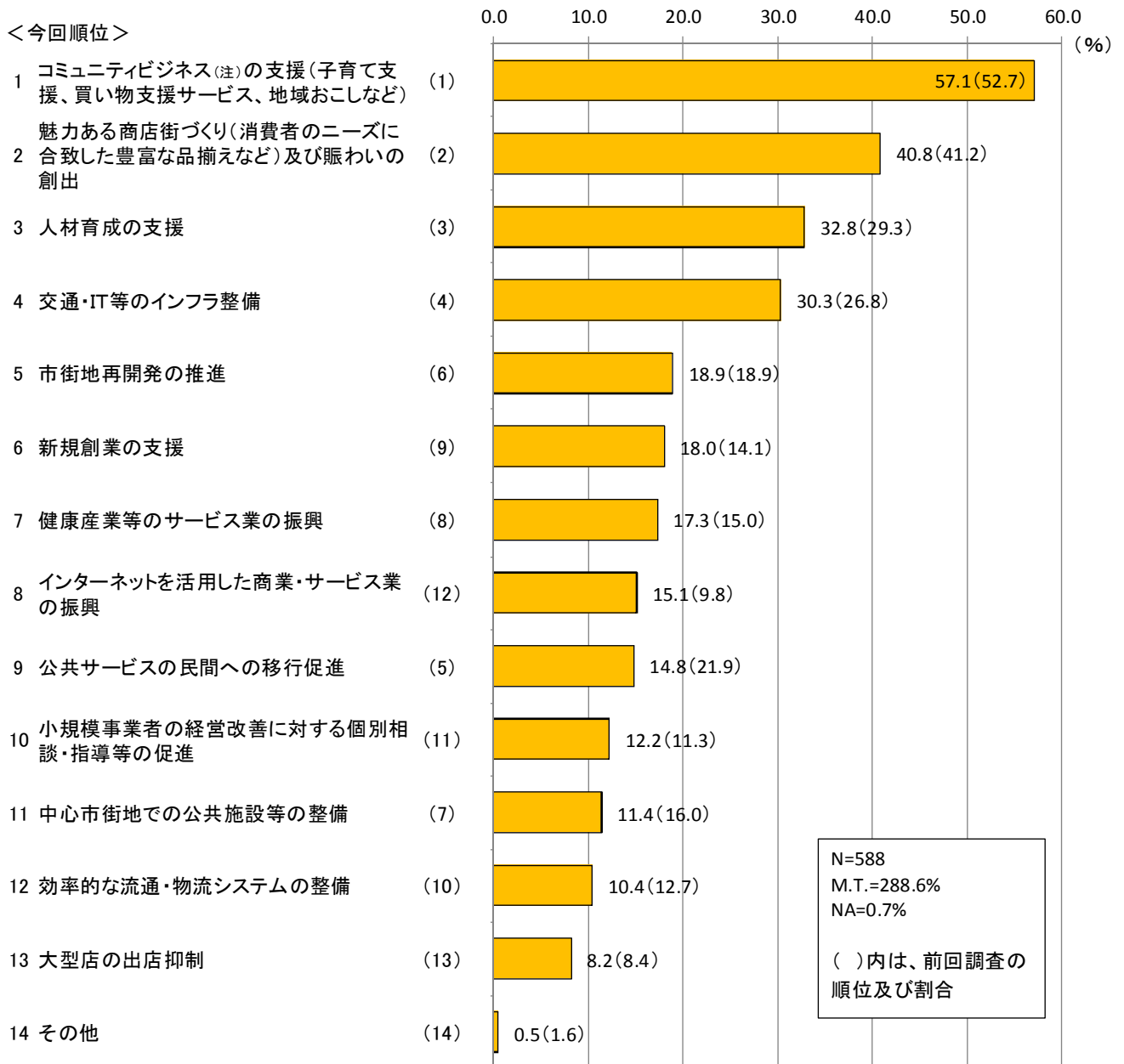
前回調査との比較では、割合の変動はあるが全体の傾向に大きな変化はない。ただし新項目の「県内企業同士の連携による新技術・新商品の開発」の回答が27.6%あり、個別企業単体でなく県内の企業が連携することによる新技術・新商品の開発の施策推進が期待されている。



【商業・サービス業施策】

問7 本県の商業・サービス業施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

図表 商業・サービス業に対する施策



(注) コミュニティビジネス：地域住民が主体となって、地域の課題を地域資源を活かしながら、ビジネス的な手法を用いて解決する取組み

●商業・サービス業では地域住民主体の「コミュニティビジネスの支援」が重要

商業・サービス業に対する重要施策として最も回答割合が高かったのは「コミュニティビジネスの支援（子育て支援、買い物支援サービス、地域おこしなど）」（57.1%）で、次いで「魅力ある商店街づくり（消費者のニーズに合致した豊富な品揃えなど）及び賑わいの創出」（40.8%）、「人材育成の支援」（32.8%）、「交通・IT等のインフラ整備」（30.3%）、「市街地再開発の推進」（18.9%）の順になっている。

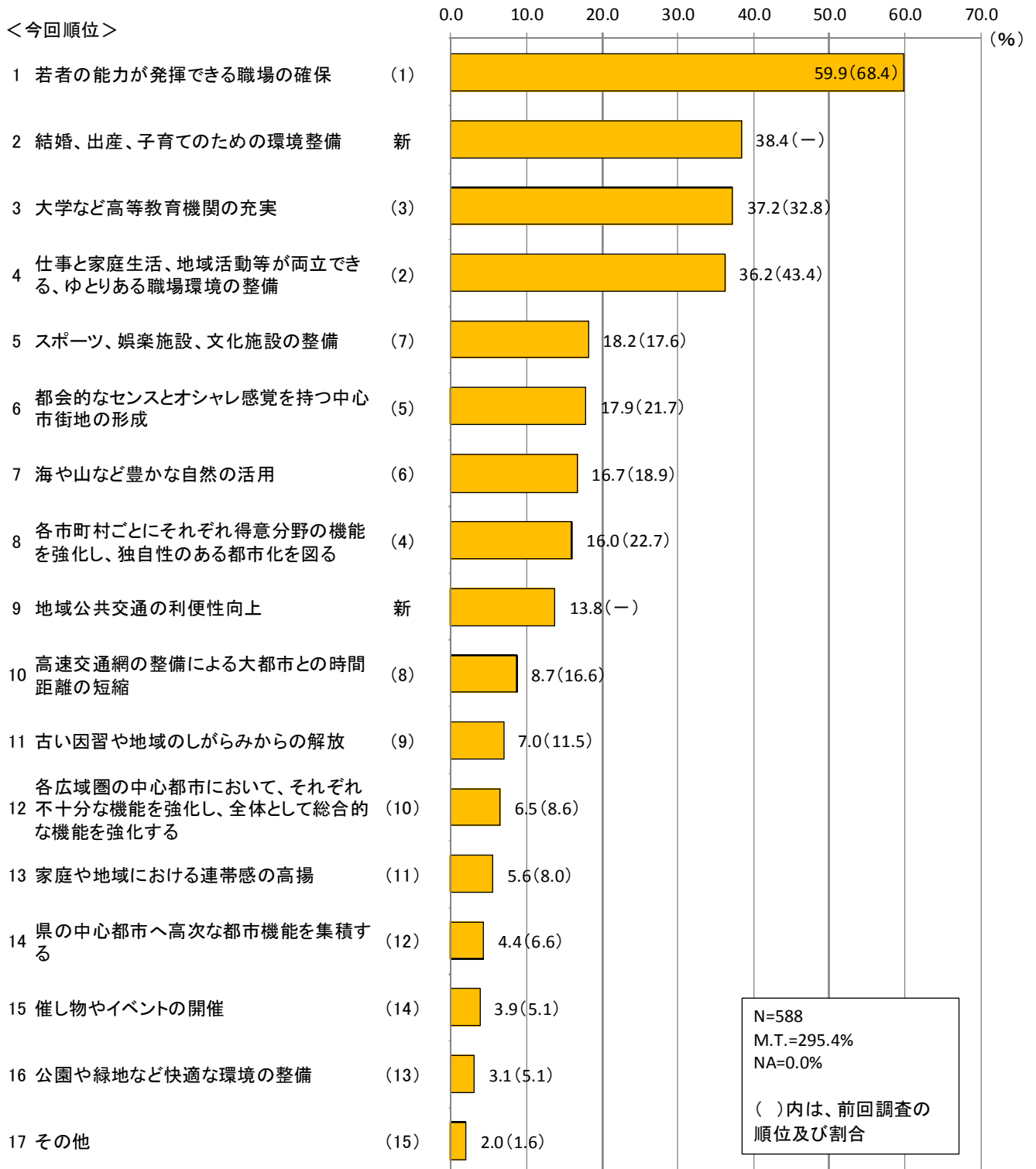
買い物が自由にできる人や、外出に制約がある人でも、地域において買い物ができるように、子育て支援、買い物サービス、地域おこしなどのコミュニティビジネスや、地域の商店街づくりといった施策が重要であることがみてとれる。

前回調査との比較では、概ね全体の傾向に変動はないが、8位の「インターネットを活用した商業・サービス業の振興」が前回より回答の割合が増加し、一方で「公共サービスの民間への移行促進」の回答割合が大きく減少している。

【若者の定着】

問8 本県に若者が定着・流入するためには、特にどのようなことが重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

図表 若者の定着に対する施策



●若者の定着には「能力の発揮できる職場の確保」「結婚などの家庭環境整備」「高等教育機関の充実」

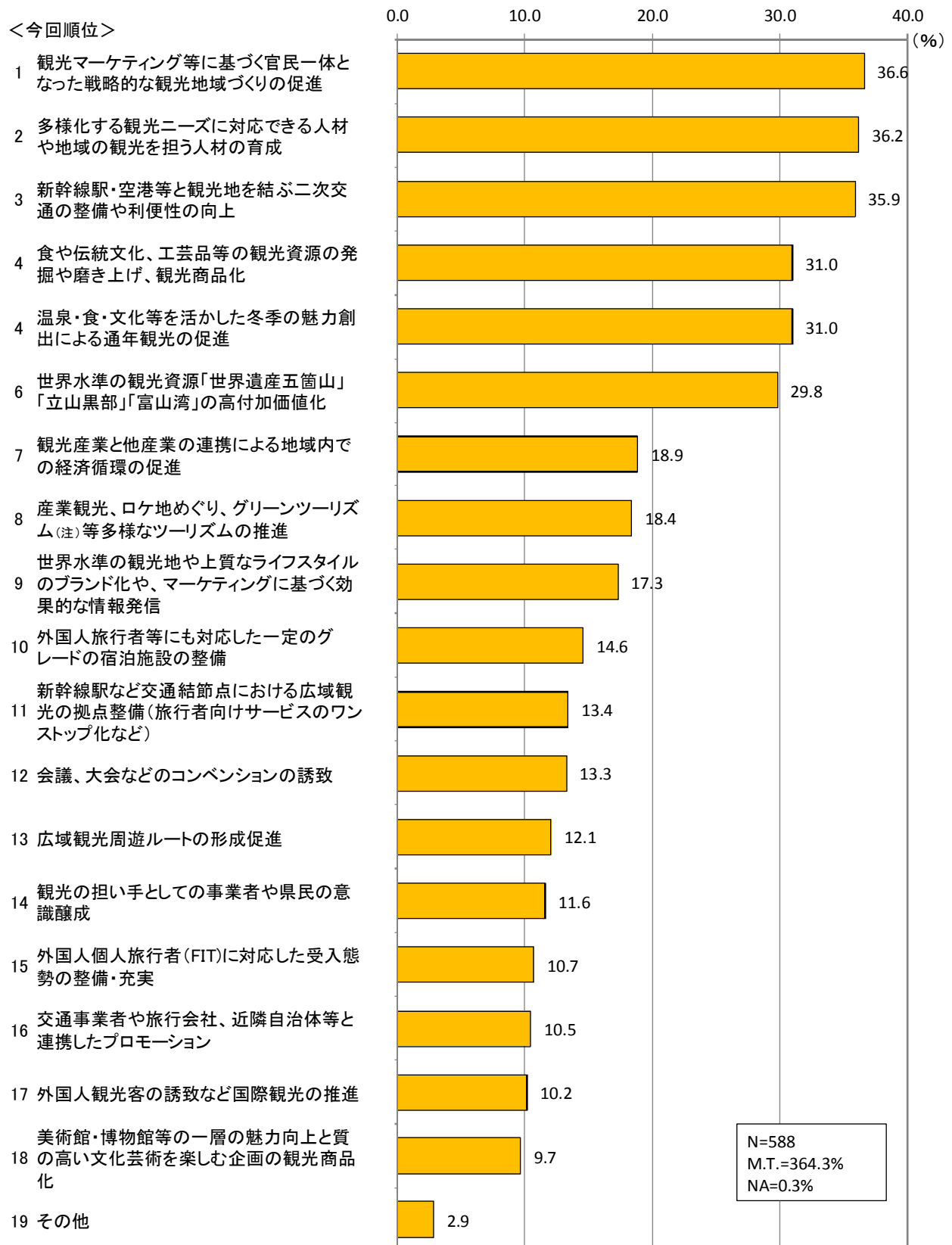
富山県に若者が定着・流入するために重要な施策は、回答の割合が高い順に「若者の能力が発揮できる職場の確保」(59.9%)、「結婚、出産、子育てのための環境整備」(38.4%)、「大学など高等教育機関の充実」(37.2%)、「仕事と家庭生活、地域活動等が両立できる、ゆとりある職場環境の整備」(36.2%)となっている。

前回調査との比較では、全体の回答の傾向については大きな変動はなく、「職場」「家庭」「学業」において若者が富山県で安心して活躍する環境の充実に期待が寄せられている。

【観光産業施策】

問9 本県の観光が振興するためには、今後10年間を通して特にどのようなことが重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを4つまで選んで○をつけてください。

図表 観光振興の施策



(注) グリーンツーリズム：農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動

●富山の観光発展には「官民一体の戦略的観光地域づくり」「人材の育成」「二次交通の整備」が重要

富山県の観光振興の重要な施策は、回答の割合の高い順に、「観光マーケティング等に基づく官民一体となった戦略的な観光地域づくりの促進」(36.6%)、「多様化する観光ニーズに対応できる人材や地域の観光を担う人材の育成」(36.2%)、「新幹線駅・空港等と観光地を結ぶ二次交通の整備や利便性の向上」(35.9%)となっている。

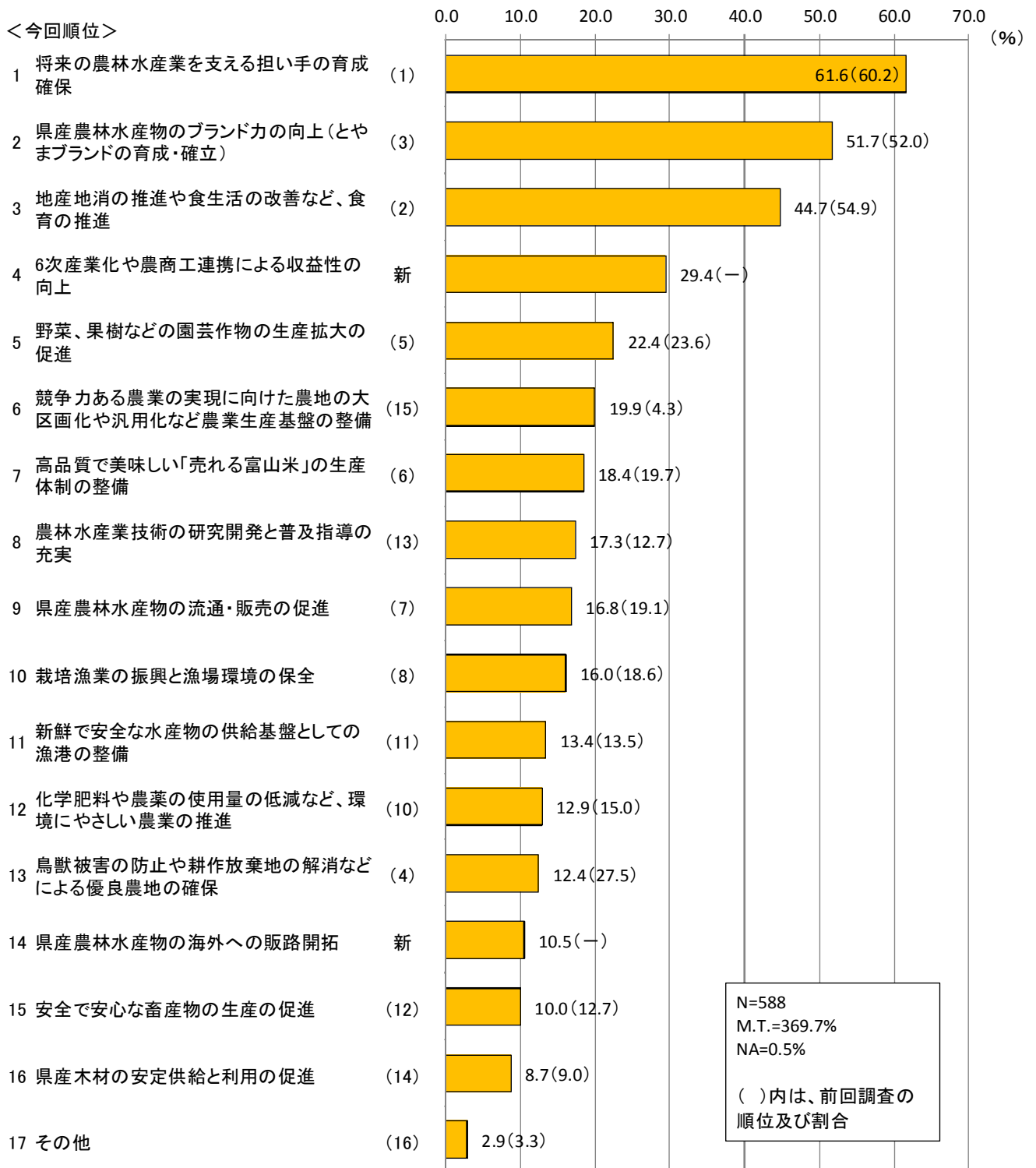
この中で、「戦略的観光地域づくり」や「人材の育成」からは、観光の活発化のためには「戦略」「人材」が重要であるとの考えがみてとれる。また、順位が高い「食や伝統文化、工芸品等の観光資源の発掘や磨き上げ、観光商品化」(31.0%)、「温泉・食・文化等を活かした冬季の魅力創出による通年観光の促進」(31.0%)、「世界水準の観光資源「世界遺産五箇山」「立山黒部」「富山湾」の高付加価値化」(29.8%)からは、既存の観光資源のブラッシュアップが重要と考える人が多いことを示している。

前回調査との比較はない。

【農林水産業施策】

問10 本県の農林水産業施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを4つまで選んで○をつけてください

図表 農林水産業施策



●農林水産業施策で重要なことは「担い手の育成」と「県産物のブランド力の向上」

富山県の農林水産業の重要な施策は、回答割合が高い順に「将来の農林水産業を支える担い手の育成確保」(61.6%)、「県産農林水産物のブランド力の向上(とやまブランドの育成・確立)」(51.7%)、「地産地消の推進や食生活の改善など、食育の推進」(44.7%)となっている。

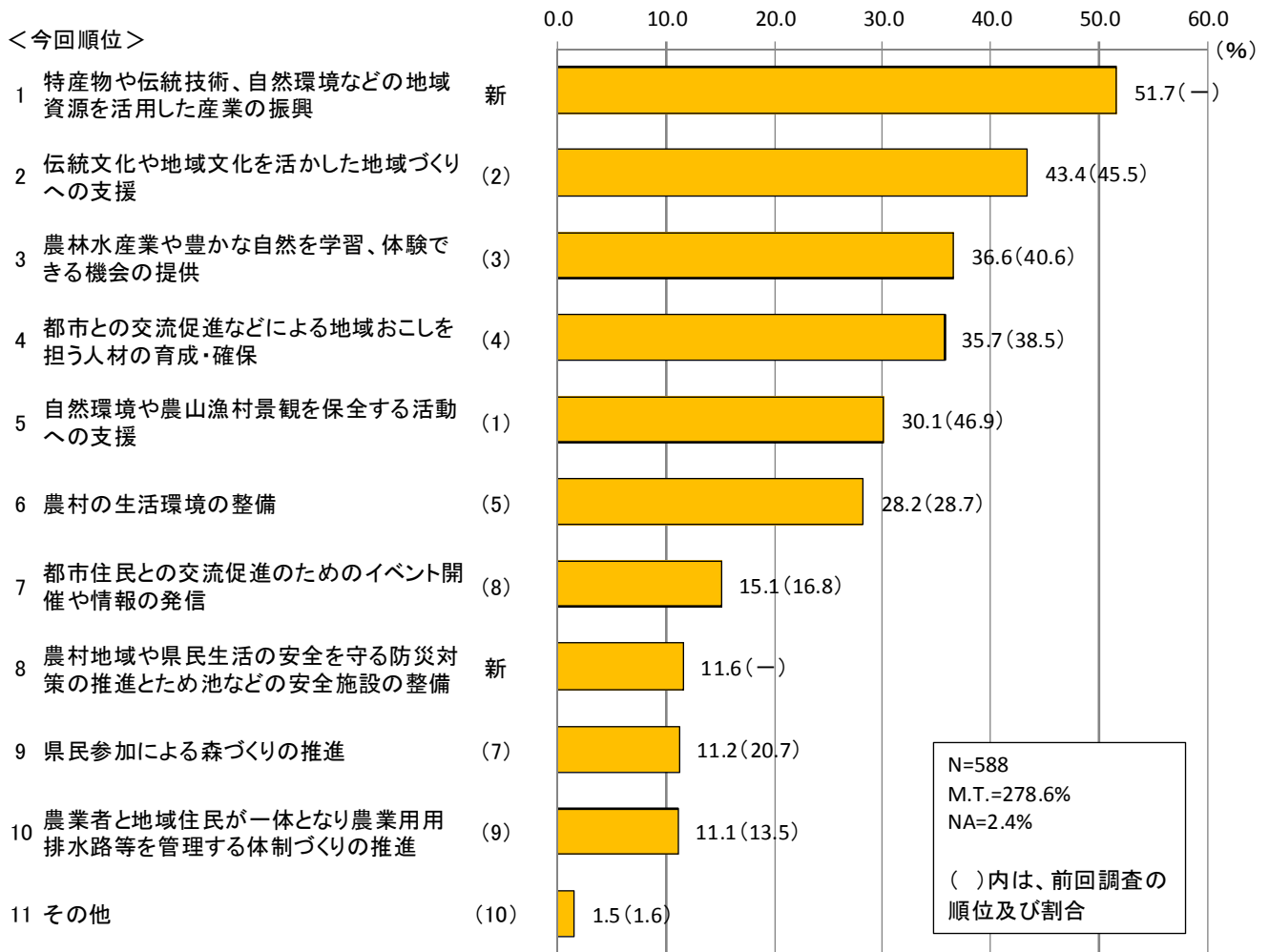
前回調査との比較では、「担い手の育成確保」については前回、前々回とも1位となっており、最重要課題であると考え人が多い。また、「競争力のある農業の実現に向けた農地の大区画化や汎用化など農業生産基盤の整備」が大きく回答の割合を伸ばすとともに、今回の新項目である「6次産業化や農商工連携による収益性の向上」(29.4%)が4位に入っている。



【農山漁村の課題】

問 1 1 本県の住みよい農山漁村をつくるための施策として、今後10年間を通して、基盤となる農林水産業の発展のほか、特にどのようなことが重要だとお考えですか。  
次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

図表 住みよい農山漁村をつくるための施策



●住みよい農山漁村をつくるためには特産物や伝統技術など地域資源を活用した産業の振興が重要

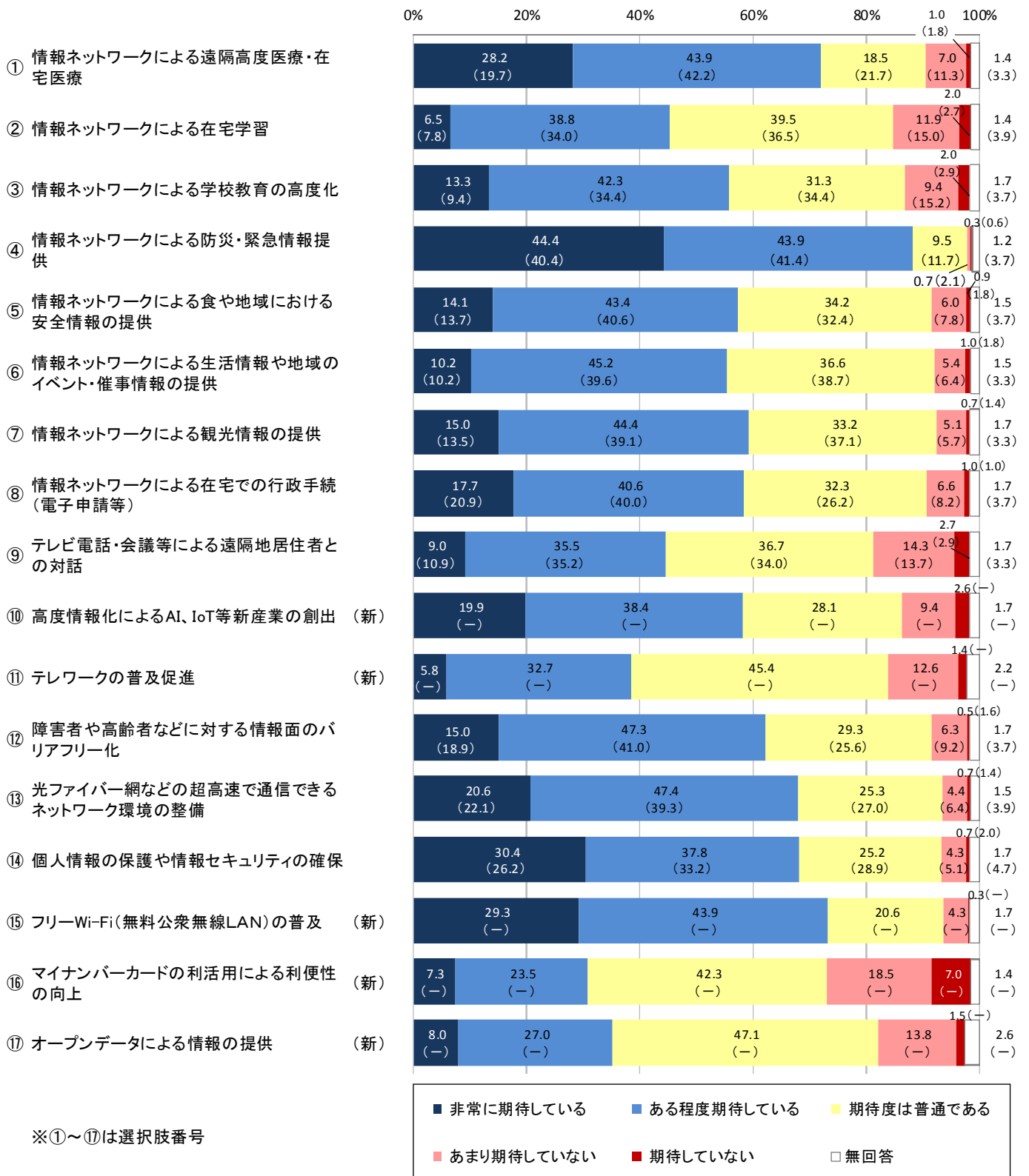
住みよい農山漁村をつくるための特に重要な施策は、回答の割合が高いものから順に「特産物や伝統技術、自然環境などの地域資源を活用した産業の振興」(51.7%)、「伝統文化や地域文化を活かした地域づくりへの支援」(43.4%)、「農林水産業や豊かな自然を学習、体験できる機会の提供」(36.6%)、「都市との交流促進などによる地域おこしを担う人材の育成・確保」(35.7%)となっている。

前回調査との比較では、1位であった「自然環境や農山漁村景観を保全する活動への支援」が5位であるのに対し、今回の新項目である「特産物や伝統技術、自然環境などの地域資源を活用した産業の振興」が1位となり、産業振興などの積極的な取組みの推進への期待の高さがうかがえる。

【情報化】

問 1 2 地域社会や県民の生活における情報通信技術に対するあなたの期待度はそれぞれの程度ですか。次のそれぞれの項目について、あなたのお考えに近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

図表 情報化に対する期待度



( )内は前回調査の割合

### ●情報ネットワークによる防災・緊急情報の提供に期待

情報通信技術への期待度（「非常に期待している」「ある程度期待している」の合計）が最も高いものは、「情報ネットワークによる防災・緊急情報提供」（88.3%）、次いで「フリーWi-Fi（無料公衆無線LAN）の普及」（73.2%）、「情報ネットワークによる遠隔高度医療・在宅医療」（72.1%）、「個人情報保護や情報セキュリティの確保」（68.2%）、「光ファイバー網などの超高速で通信できるネットワーク環境の整備」（68.0%）の順となっており、特に「防災・緊急情報」「遠隔高度医療・在宅医療」などの安全・安心に対する情報通信技術に高い期待がもたれている。また、Wi-Fi や光ファイバー網など情報インフラを整備してほしいという期待も高くなっている。

一方、「あまり期待していない」「期待していない」を合わせた期待度の低いものとしては「マイナンバーカードの利活用による利便性の向上」（25.5%）、「テレビ電話・会議等による遠隔地居住者との対話」（17.0%）、「オープンデータによる情報の提供」（15.3%）、「テレワークの普及促進」（14.0%）が挙げられる。

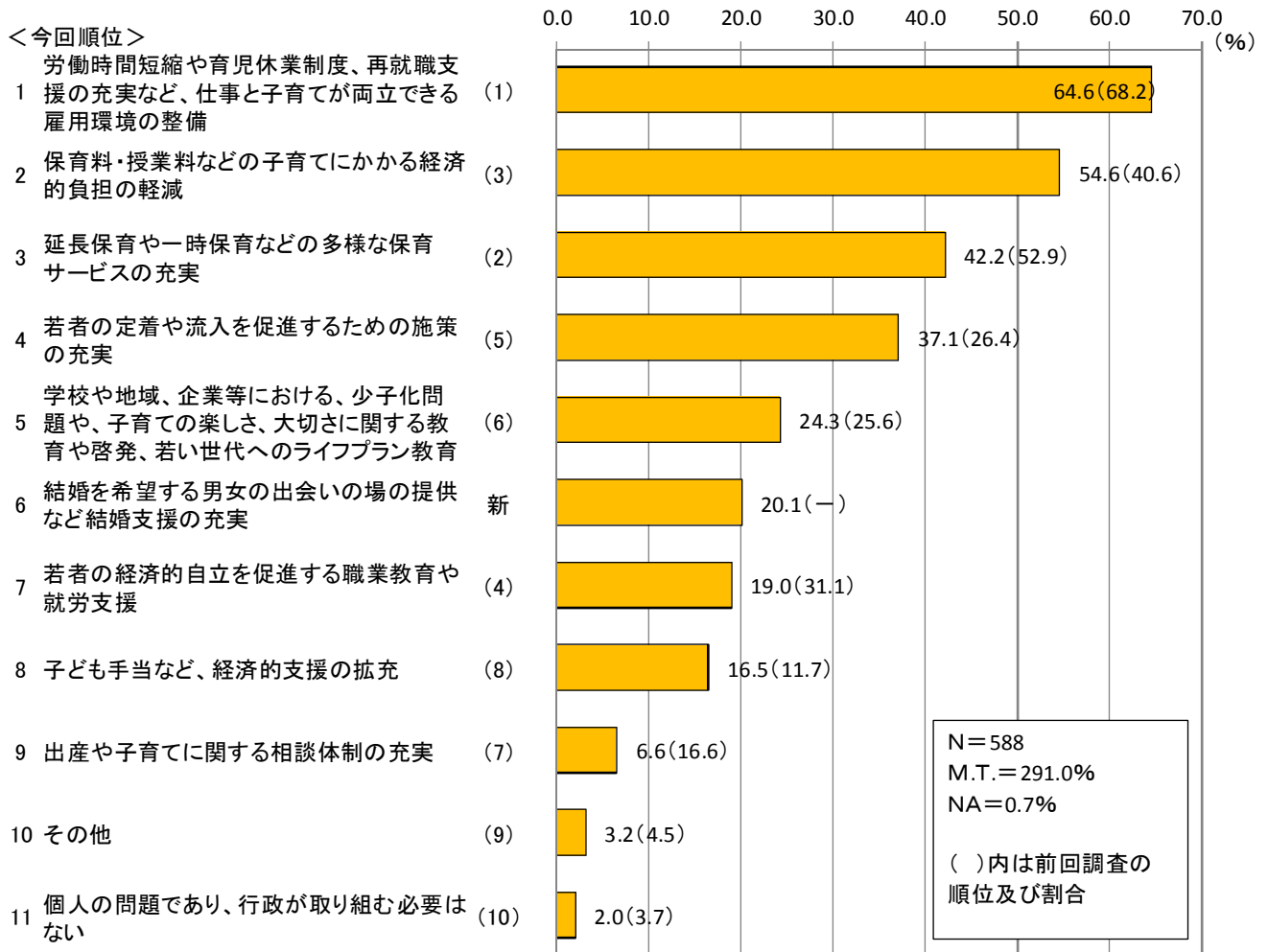
新しい追加項目が多く、単純に前回調査との比較はできないが、災害や事件・事故の情報をできるだけ正確に早く手元に欲しいという要望は前回と変わらず多い。また、学校教育の高度化への期待も大きく高まっており、今後のICT教育などへの期待の高さがうかがえる。

○未来

【少子化対策】

問 1 3 行政（国・県・市町村）が少子化対策に取り組むにあたって、今後 10 年間を通して、どのようなことが重要だとお考えですか。  
次の中からあなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

図表 少子化対策



●少子化対策には仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備が重要

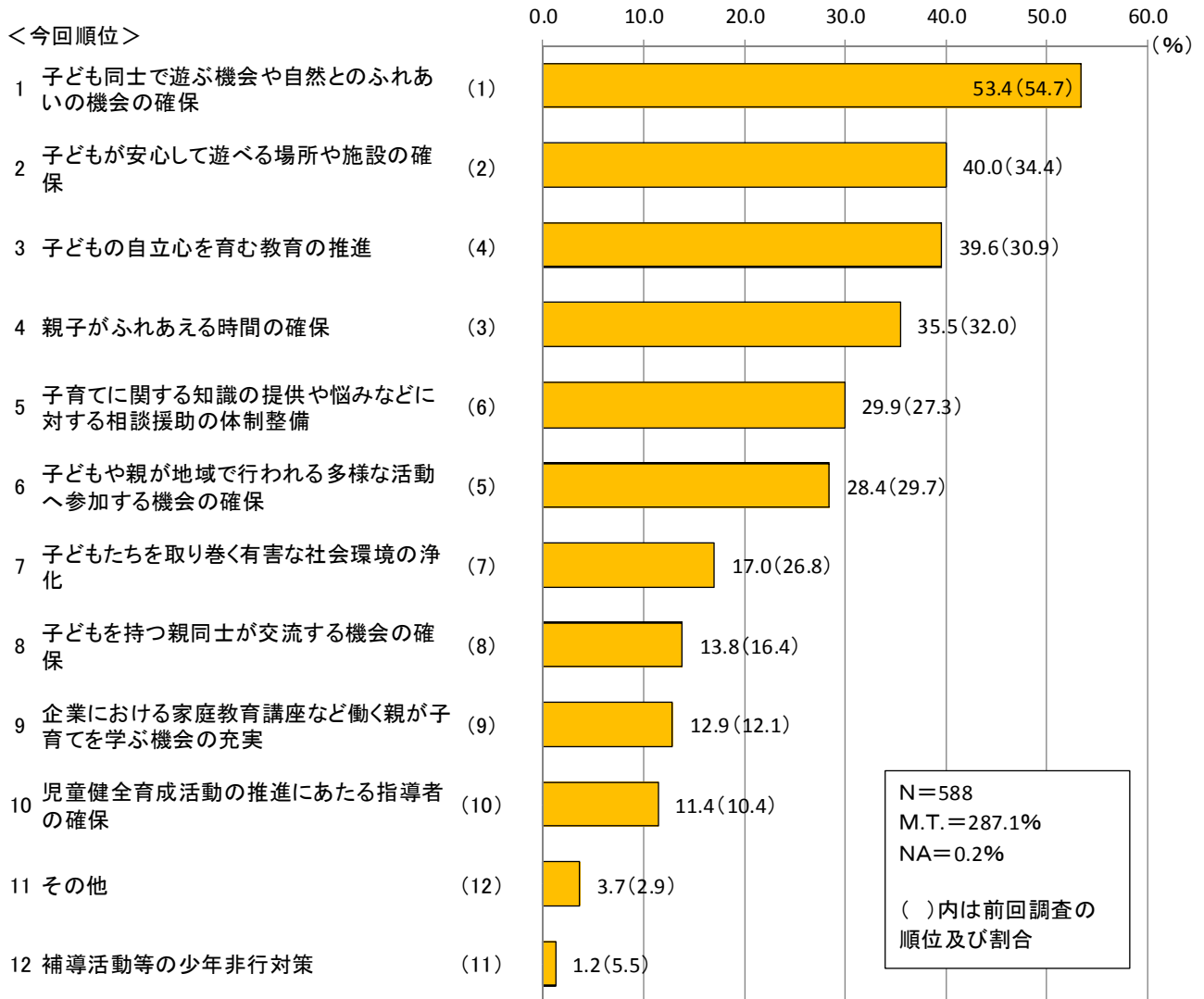
少子化対策に重要な施策で最も回答の割合が高いのは、「労働時間短縮や育児休業制度、再就職支援の充実など、仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備」(64.6%)、次いで「保育料・授業料などの子育てにかかる経済的負担の軽減」(54.6%)、「延長保育や一時保育などの多様な保育サービスの充実」(42.2%)、「若者の定着や流入を促進するための施策の充実」(37.1%)の順になっている。

前回調査との比較において、「若者の経済的自立を促進する職業教育や就労支援」の回答の割合が大きく減少した一方で、「若者の定着や流入を促進するための施策の充実」が割合を伸ばした。また「延長保育や一時保育などの多様な保育サービスの充実」の回答の割合は減少した反面、「保育料・授業料などの子育てにかかる経済的負担の軽減」の割合が増加した。

【児童の健全育成】

問14 子どもや家庭をめぐり様々な問題が生じていますが、家庭や地域で子どもの健全な育成を図るため、今後10年間を通して、どのようなことが必要だとお考えですか。  
次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

図表 家庭や地域での子どもの健全な育成に必要なこと



●子ども同士で遊ぶ機会、安心して遊べる環境の確保が必要

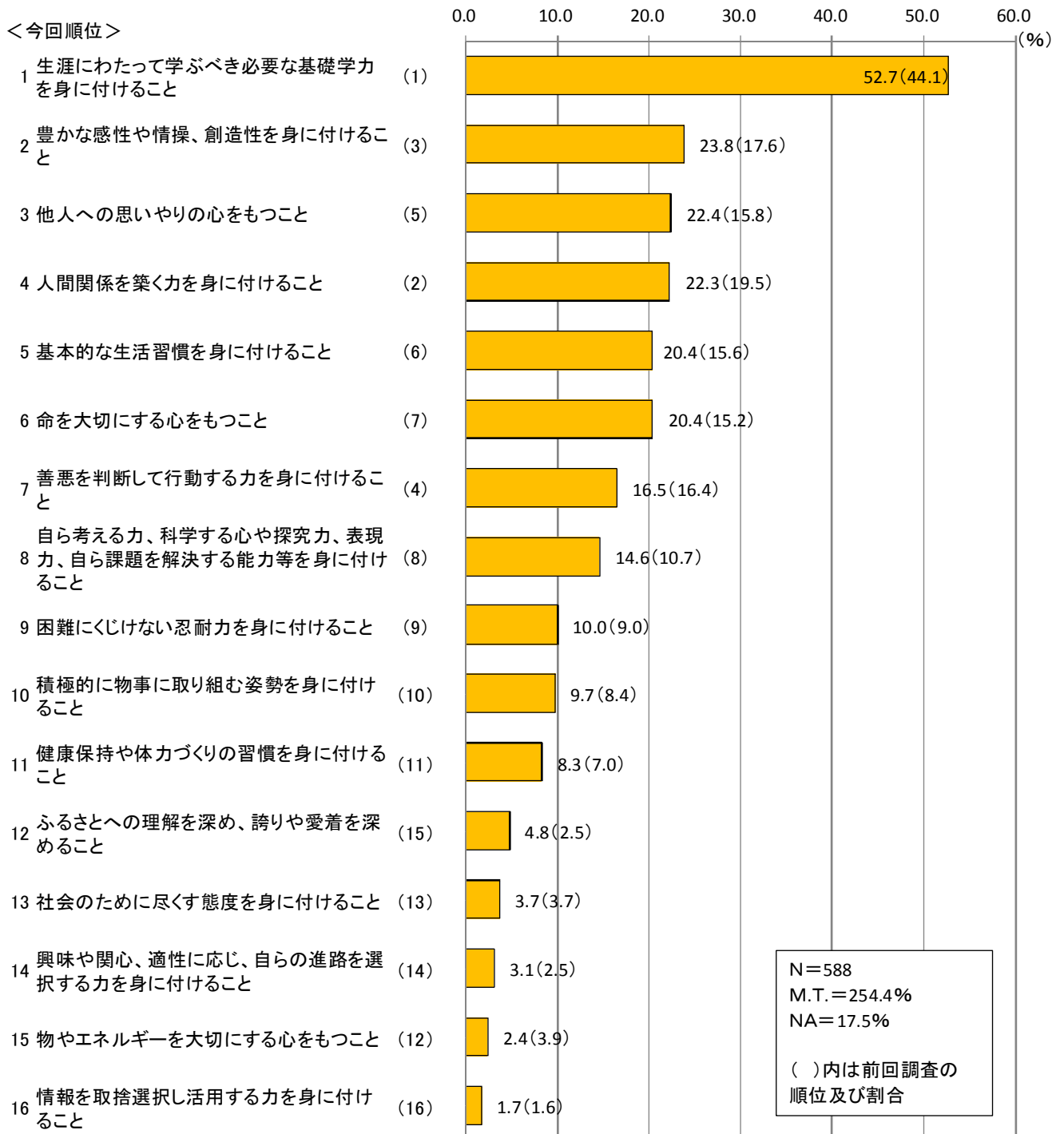
家庭や地域で子どもの健全な育成を図るために必要なことは、回答割合が高いものから「子ども同士で遊ぶ機会や自然とのふれあいの機会の確保」(53.4%)、「子どもが安心して遊べる場所や施設の確保」(40.0%)、「子どもの自立心を育む教育の推進」(39.6%)、「親子がふれあえる時間の確保」(35.5%)の順になっている。

前回調査との比較においては、「子どもたちを取り巻く有害な社会環境の浄化」の回答の割合が大きく減ったものの、全体の傾向としてはあまり変化はない。

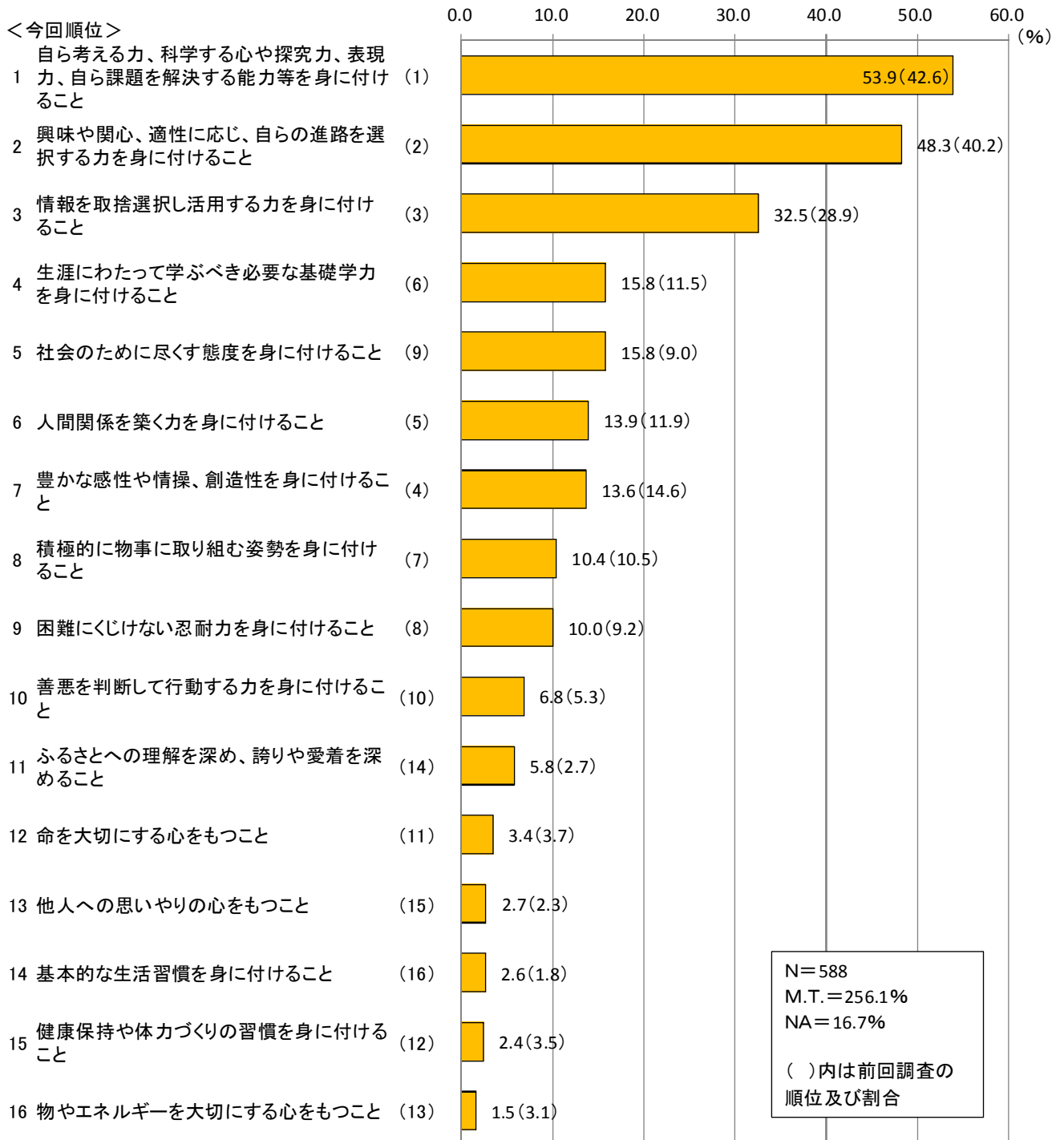
【学校・家庭・地域での教育】

問15 学校や家庭、地域では、どのようなことを身に付けることが必要だとお考えですか。あなたのお考えに近いものを、義務教育、高校教育、家庭、地域ごとに、それぞれ3つまで選んで○をつけてください。

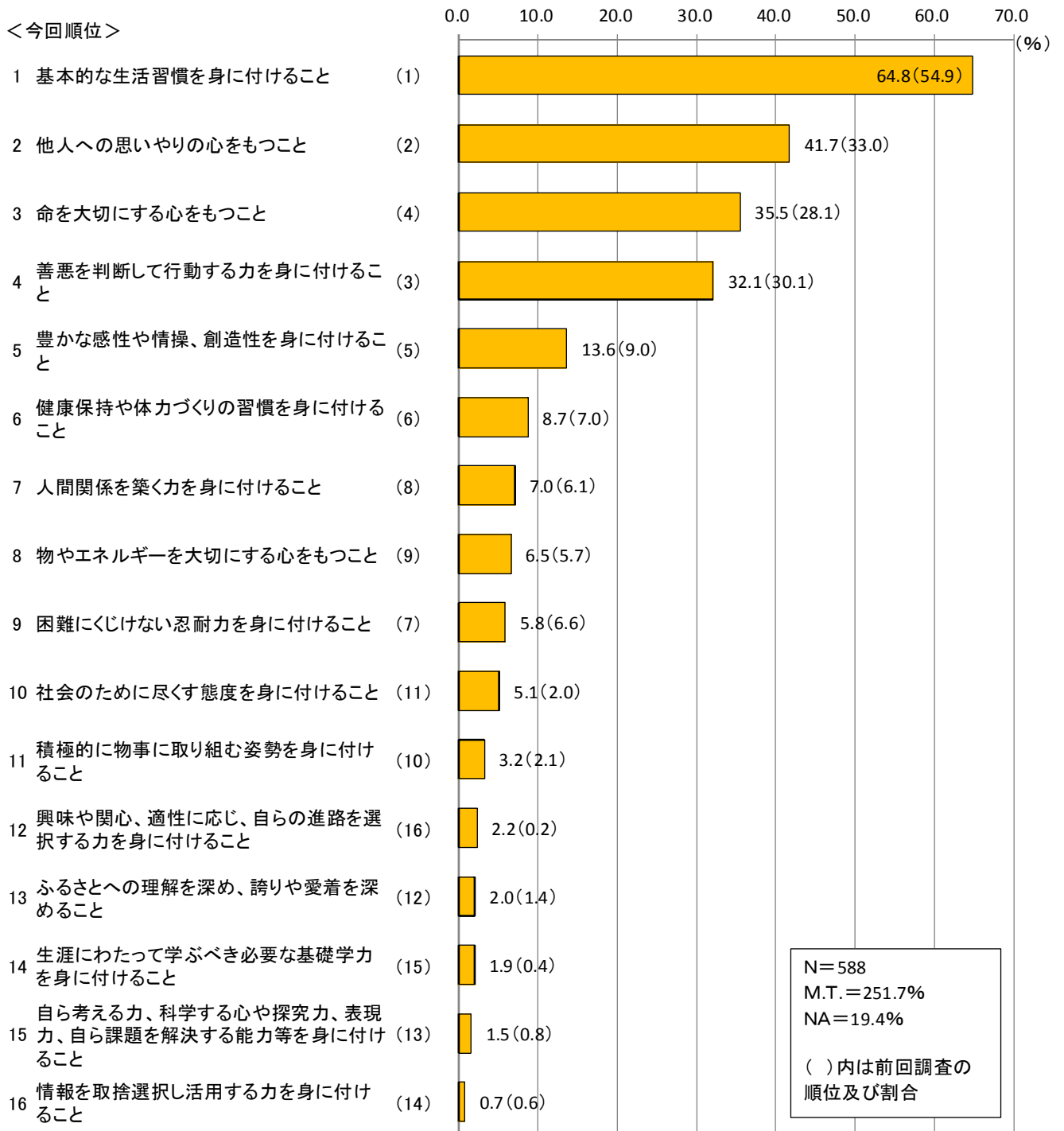
図表 「義務教育」で身に付けること



図表 「高校教育」で身に付けること

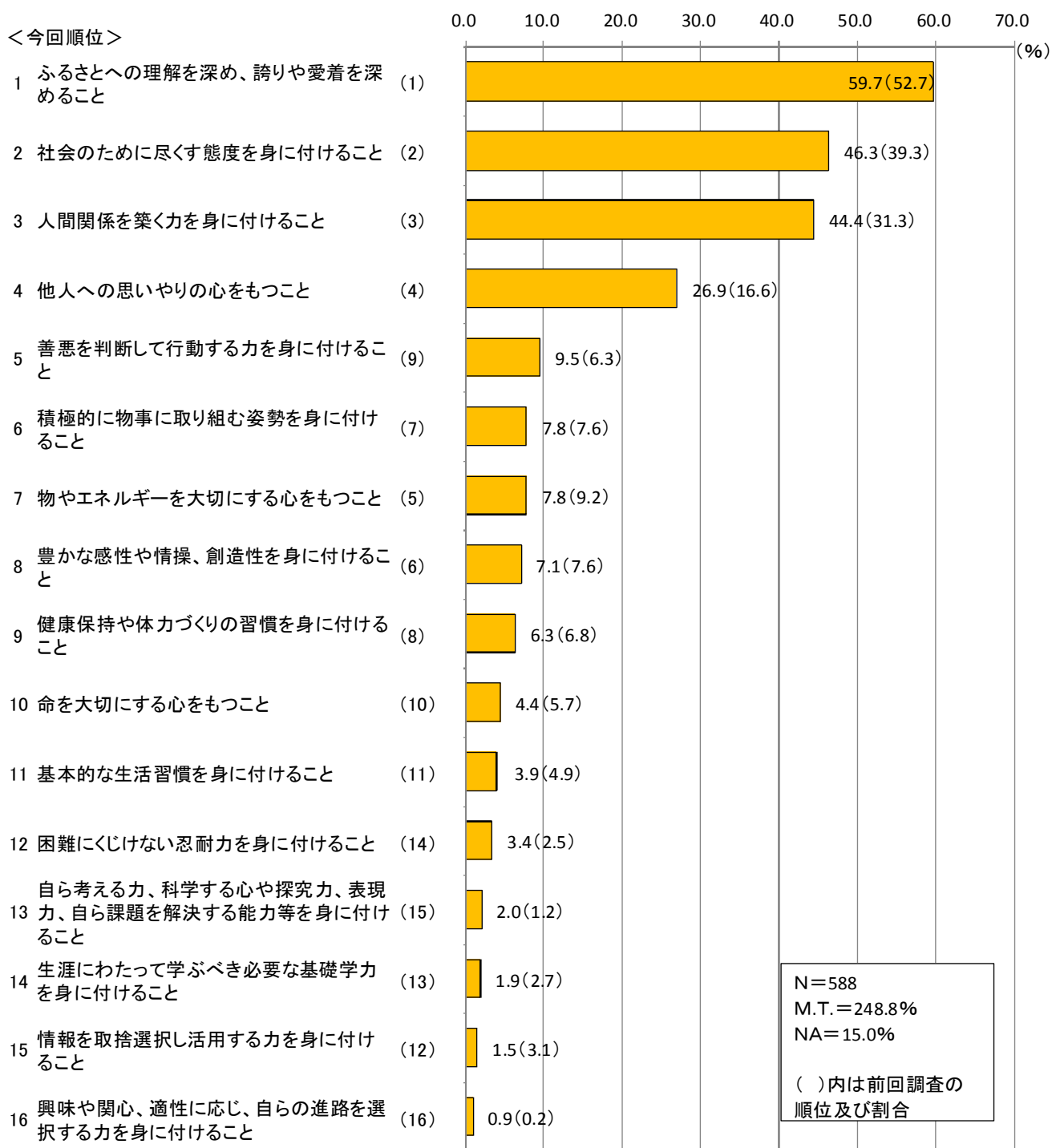


図表 「家庭」で身に付けること





図表 「地域」で身に付けること



- 義務教育では基礎学力、高校では自ら考える力・探究力・表現力・問題解決力、家庭では基本的な生活習慣、地域ではふるさとへの誇りと愛着を身に付けることが大切と、それぞれに求められる役割が異なる

**義務教育**で身に付けることでは「生涯にわたって学ぶべき必要な基礎学力を身に付けること」(52.7%)が回答者の割合が圧倒的に高く、次いで「豊かな感性や情操、創造性を身に付けること」(23.8%)となっている。

**高校教育**で身に付けることについては「自ら考える力、科学する心や探究力、表現力、自ら課題を解決する能力等を身に付けること」(53.9%)が最も割合が高く、「興味や関心、適性に応じ、自らの進路を選択する力を身に付けること」(48.3%)の順になっている。

**家庭**では「基本的な生活習慣を身に付けること」(64.8%)が最も重要と回答する割合が高く、次いで「他人への思いやりの心をもつこと」(41.7%)となっている。

**地域**では「ふるさとへの理解を深め、誇りや愛着を深めること」(59.7%)が最も重要と回答する割合が高く、次いで「社会のために尽くす態度を身に付けること」(46.3%)の順になっている。

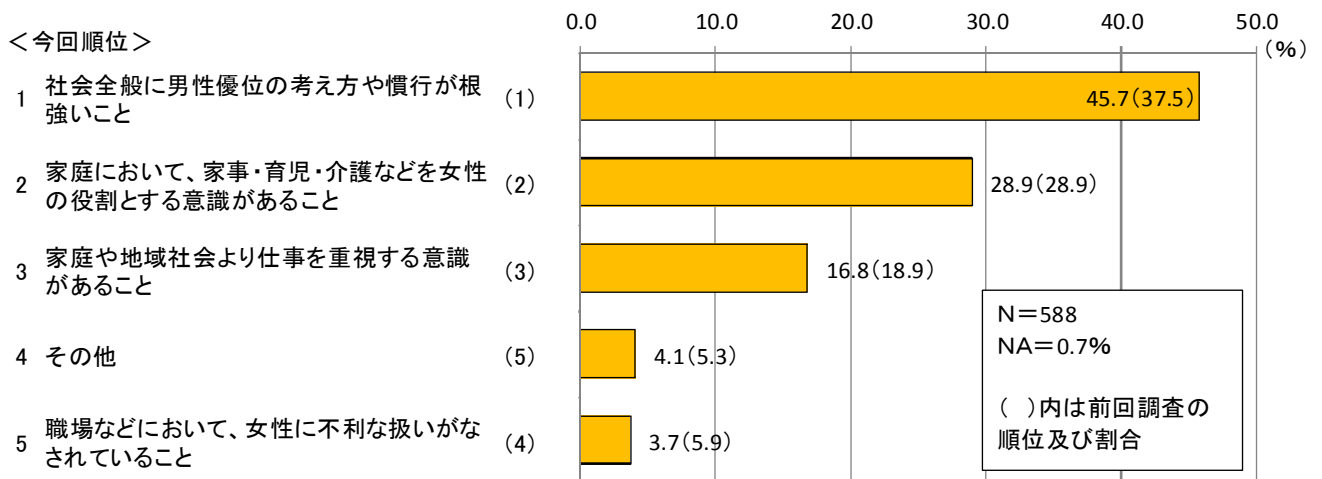
教育においては、学校・家庭・地域それぞれに求められる役割は大きく異なっており、また、学校においても子どもの成長度合いにより求められる役割が異なる。

前回調査との比較においては、全体的な傾向に大きな変化はない。

【男女共同参画の推進】

問16 本県で、男女共同参画社会の実現が十分に達成されていないとすれば、その主な要因は何であるとお考えでしょうか。  
次の中からあなたのお考えに最も近いものを1つ選んで○をつけてください。

図表 男女共同参画社会の課題



●男女共同参画社会達成実現には男性優位の考え方や慣行を見直すことが重要

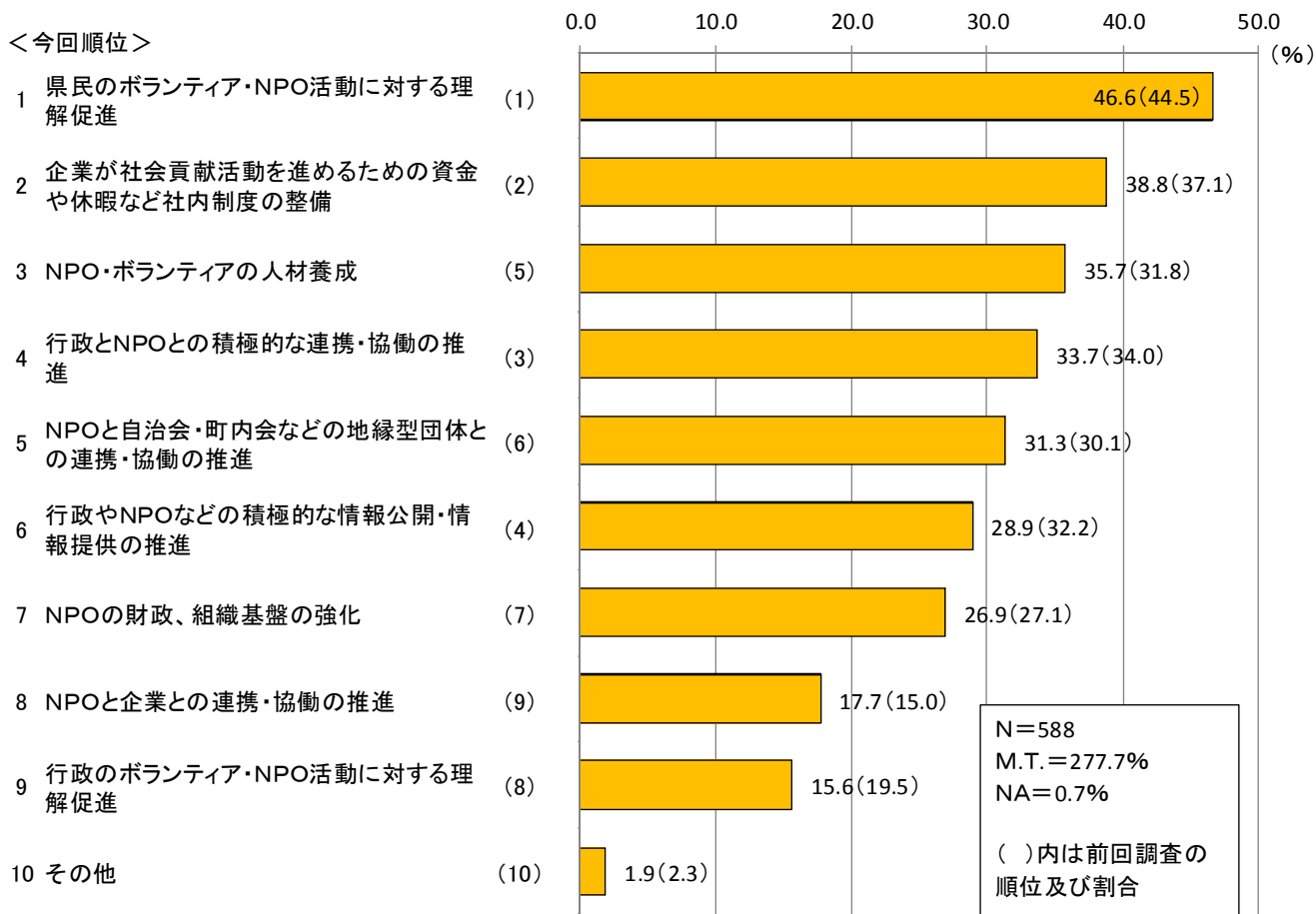
男女共同参画社会の実現が十分に達成されない理由として、回答者の割合の高い順に「社会全般に男性優位の考え方や慣行が根強いこと」(45.7%)、「家庭において、家事・育児・介護などを女性の役割とする意識があること」(28.9%)、「家庭や地域社会より仕事を重視する意識があること」(16.8%)となっている。

前回調査との比較では、全体の傾向に変動はないが、男性優位の考え方や慣行が根強いと考えた人の割合が増加した。

【地域の中での協働の推進】

問17 本県で、行政、ボランティア・NPO、企業などが、お互いの特性を活かして社会づくりを進めていくためには、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。次の中からあなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

図表 社会づくりのために重要なこと



●県民のボランティア・NPO活動に対する理解を推し進める施策を

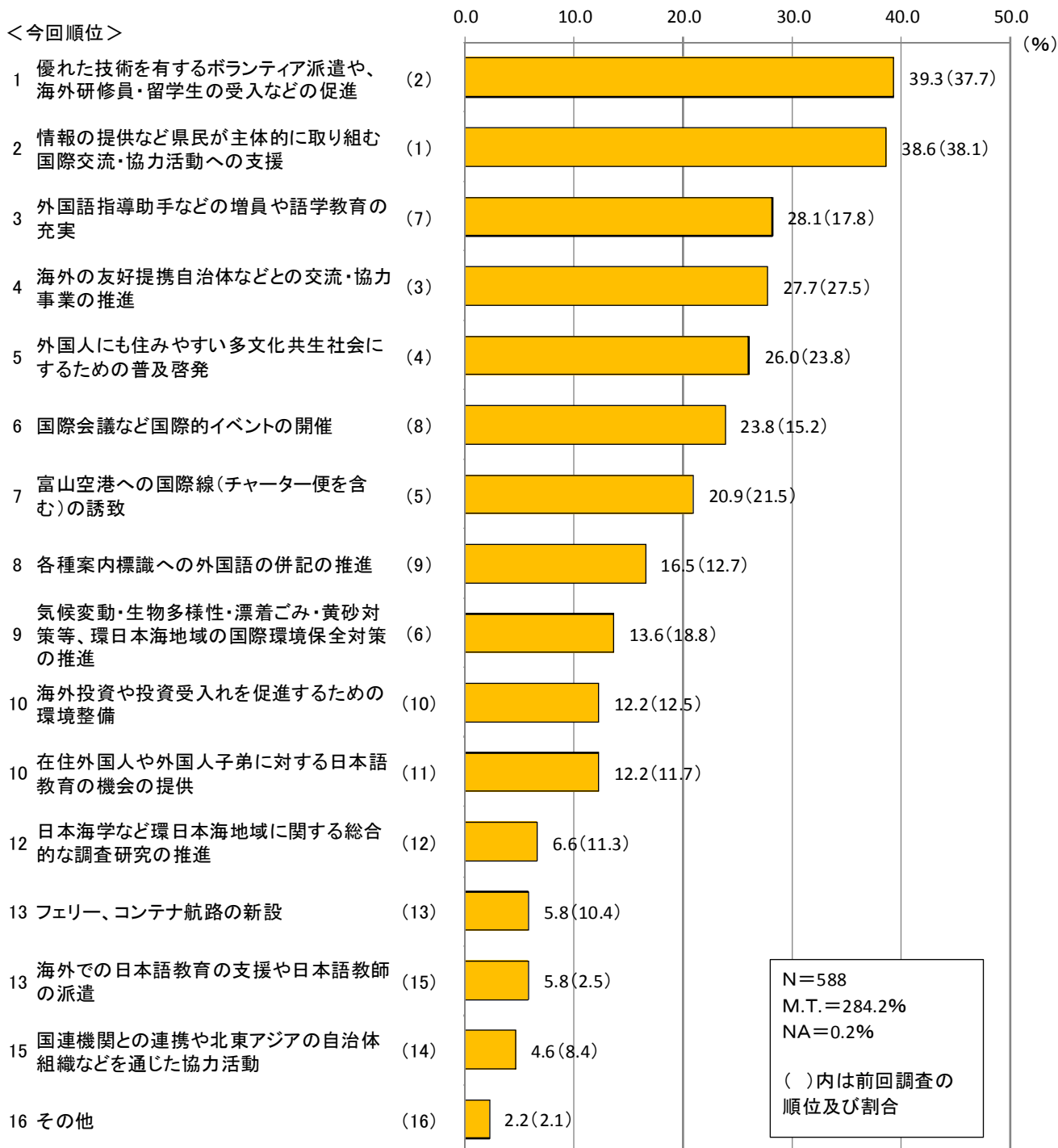
行政、ボランティア・NPO、企業などがお互いの特性を生かして社会づくりを進めていくために特に重要なことについては「県民のボランティア・NPO活動に対する理解促進」(46.6%)の回答割合が最も高くなっており、次いで「企業が社会貢献活動を進めるための資金や休暇など社内制度の整備」(38.8%)、「NPO・ボランティアの人材養成」(35.7%)、「行政とNPOとの積極的な連携・協働の推進」(33.7%)となっている。

前回調査との比較では、全体の傾向に大きな変化はない。

【国際交流・国際協力】

問 18 本県の国際交流・国際協力施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だ  
とお考えですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

図表 国際交流・国際協力における重要施策



●優れた技術を有するボランティア派遣、海外研修員などの受入促進で国際協力・国際交流を

本県の国際交流・国際協力に取り組むべき重要施策として最も回答割合が高かったのは「優れた技術を有するボランティア派遣や、海外研修員・留学生の受入などの促進」(39.3%)となっており、次いで「情報の提供など県民が主体的に取り組む国際交流・協力活動への支援」(38.6%)、「外国語指導助手などの増員や語学教育の充実」(28.1%)、「海外の友好提携自治体などとの交流・協力事業の推進」(27.7%)、「外国人にも住みやすい多文化共生社会にするための普及啓発」(26.0%)の順になっている。

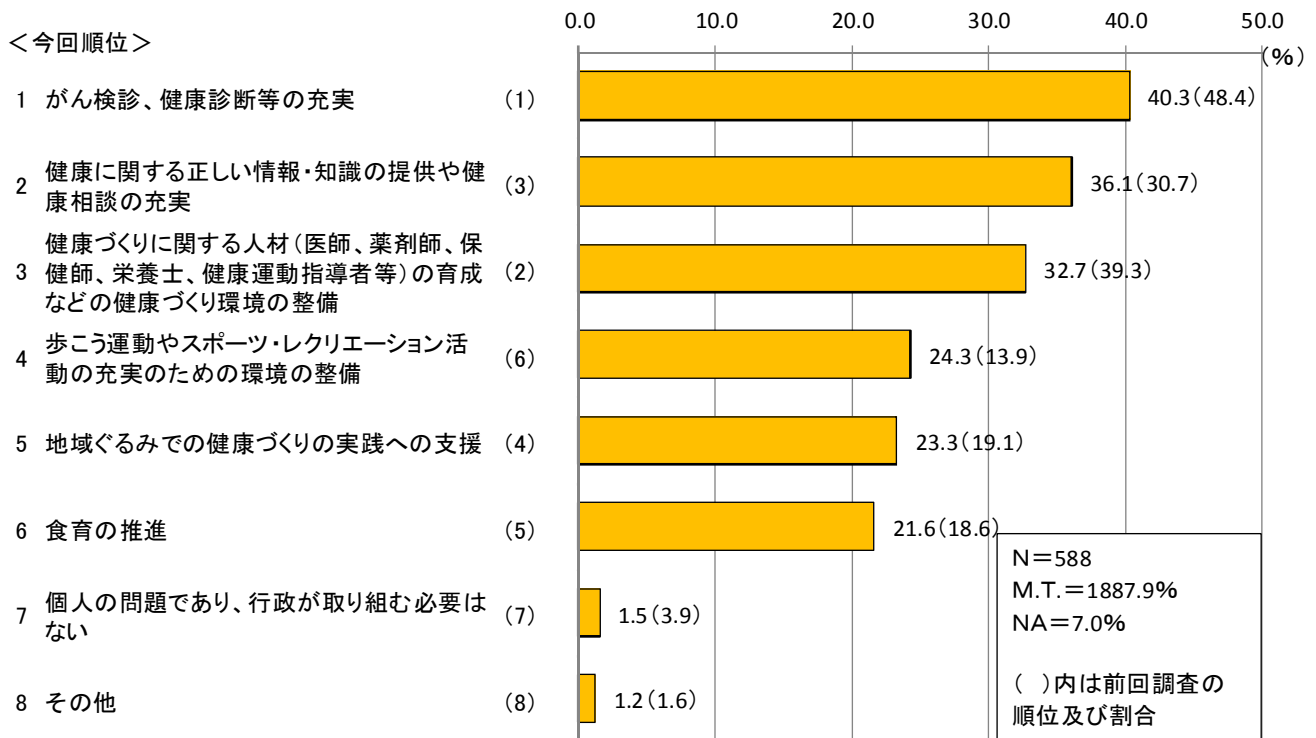
前回調査との比較は「外国語指導助手などの増員や語学教育の充実」の割合が大きく増加しており、小学校での英語の必修化や、今後増加するであろう外国人旅行者への対応が求められていると考えられる。

## ○安心

### 【健康づくり】

問19 本県の健康づくり施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを2つまで選んで○をつけてください。

図表 健康づくりの重要施策



#### ●健康づくりには、がん検診、健康診断の充実と正しい情報・知識の提供が重要

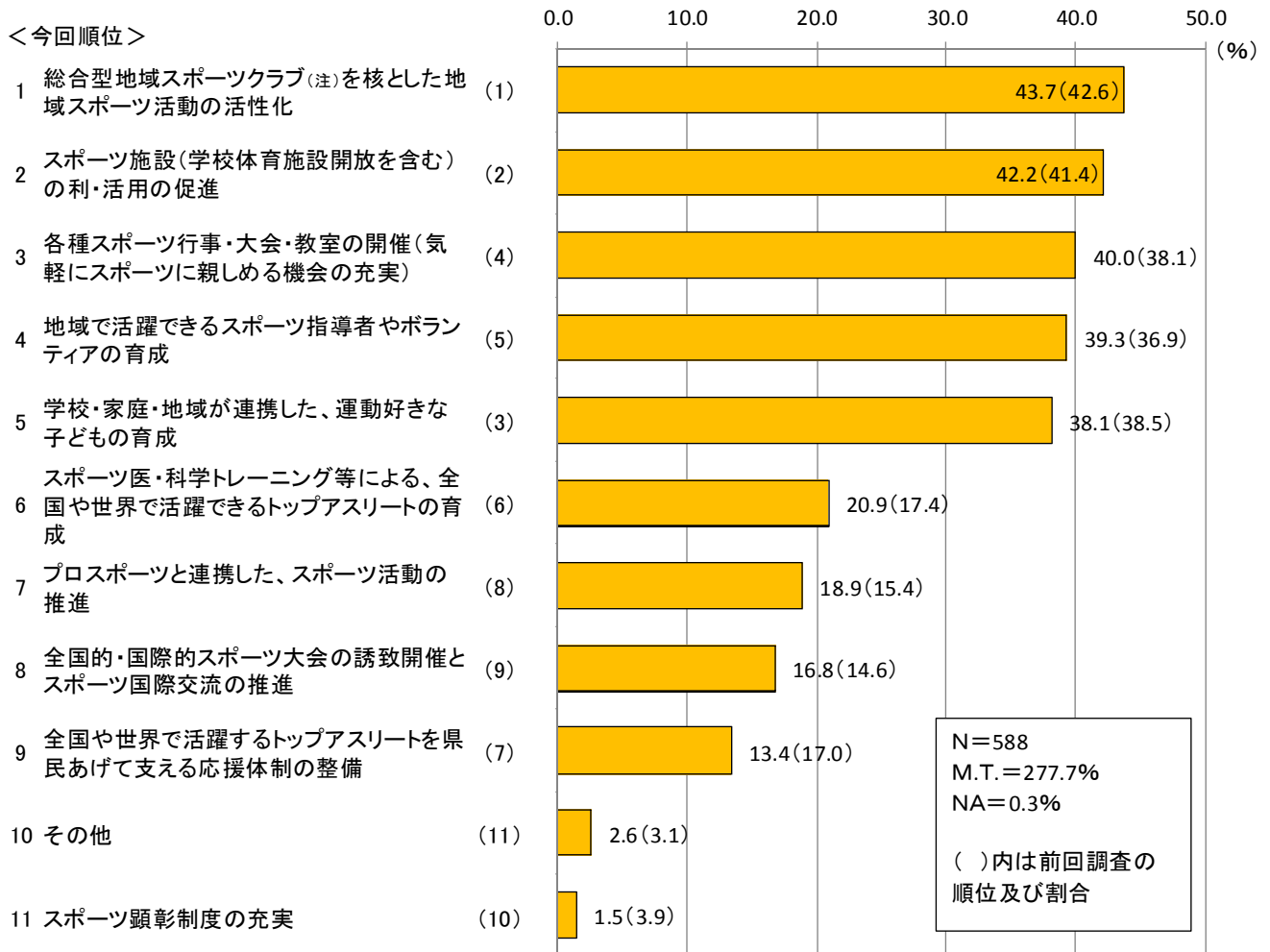
健康づくりの重要施策として最も回答割合が高かったのは「がん検診、健康診断等の充実」(40.3%)であり、次いで「健康に関する正しい情報・知識の提供や健康相談の充実」(36.1%)、「健康づくりに関する人材(医師、薬剤師、保健師、栄養士、健康運動指導者等)の育成などの健康づくり環境の整備」(32.7%)となっている。

前回調査との比較においては、「歩こう運動やスポーツ・レクリエーション活動の充実のための環境の整備」が大きく増加しており、運動習慣の定着に向けた環境づくりが重要と考える人が増えている。

【スポーツ振興】

問20 本県のスポーツ振興施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

図表 スポーツ振興のための重要施策



(注) 総合型地域スポーツクラブ：地域住民が主体的に運営するクラブで、複数の種目が用意されており、地域の誰もが、年齢、興味、関心、技術、技能レベルなどに応じて参加できるスポーツクラブ

●地域スポーツ活動の活性化でスポーツ振興

スポーツ振興のための重要施策としては「総合型地域スポーツクラブを核とした地域スポーツ活動の活性化」(43.7%)が最も割合が高く、次いで「スポーツ施設(学校体育施設開放を含む)の利・活用の促進」(42.2%)、「各種スポーツ行事・大会・教室の開催(気軽にスポーツに親しめる機会の充実)」(40.0%)、「地域で活躍できるスポーツ指導者やボランティアの育成」(39.3%)、「学校・家庭・地域が連携した、運動好きな子どもの育成」(38.1%)の順になっている。

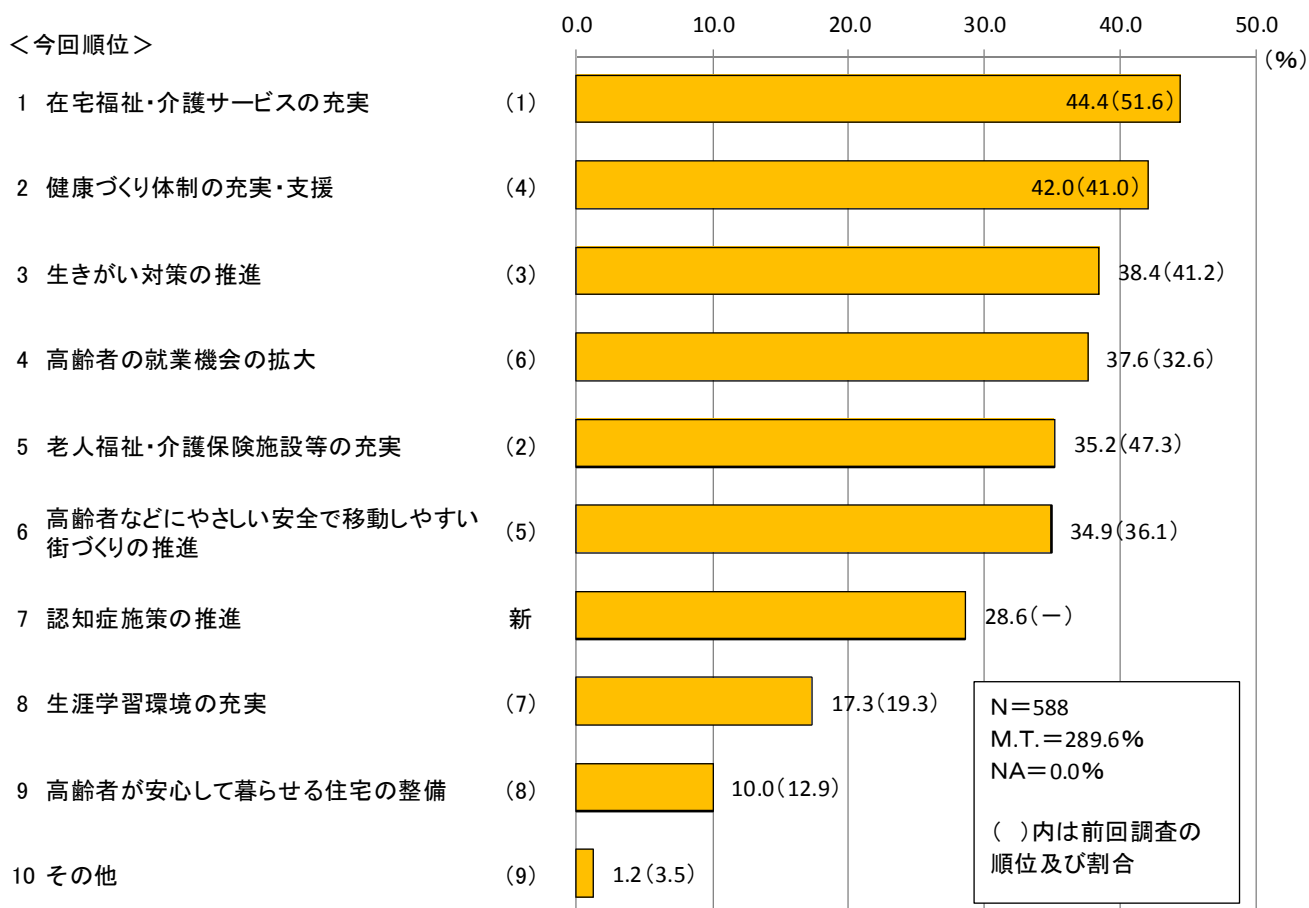
前回調査との比較では、全体の傾向として大きな変動はないが、スポーツを身近に感じられるような施策が上位5つを占めている。



【高齢社会対策】

問 2 1 高齢化が進展していく中で、本県の高齢社会対策の施策として、今後 10 年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。  
次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

図表 高齢社会対策のための重要施策



●高齢化社会対策は、「在宅福祉・介護サービスの充実」と「健康づくり体制の充実・支援」

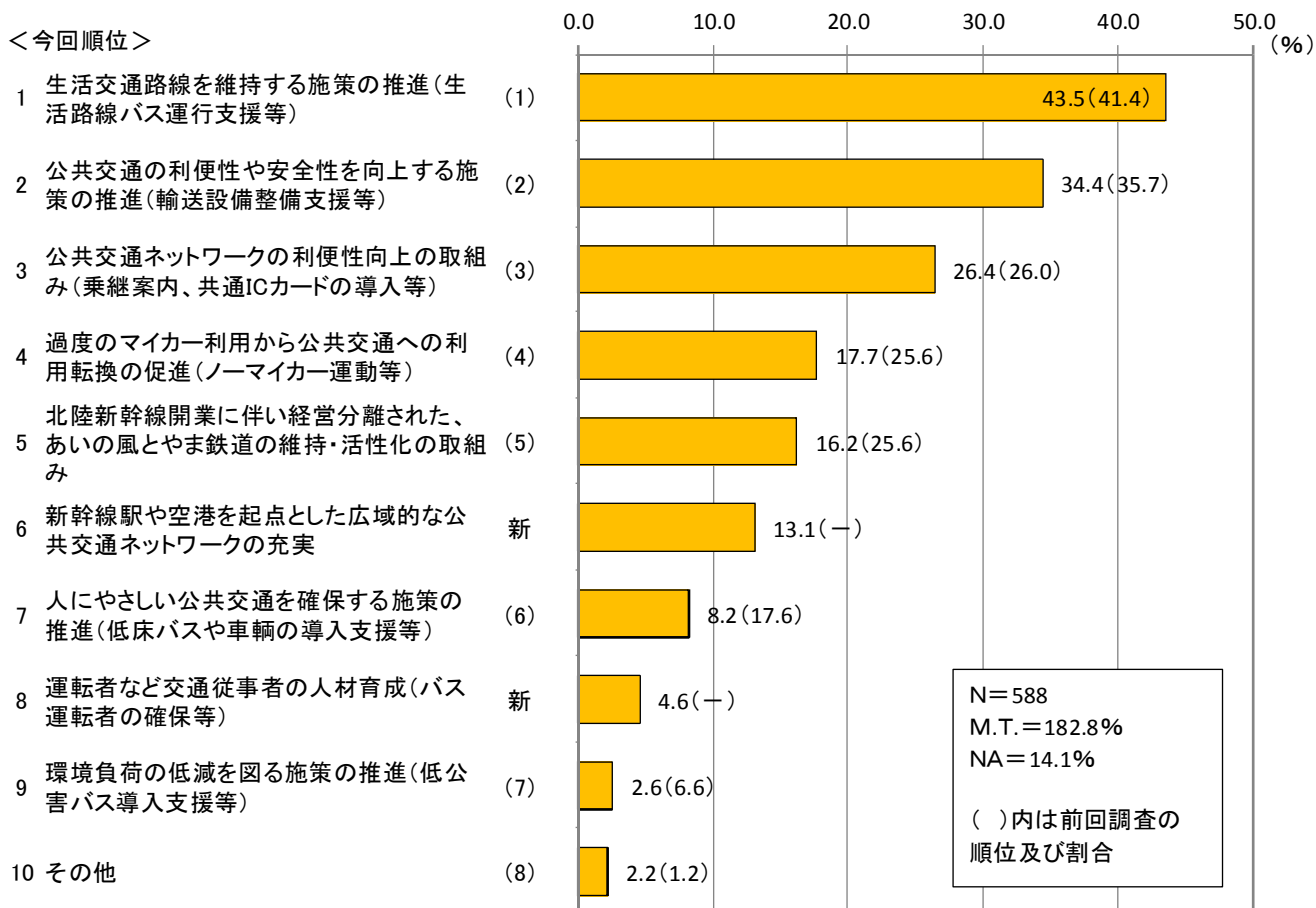
高齢社会対策の重要施策としては「在宅福祉・介護サービスの充実」(44.4%)を回答した割合が最も高く、次いで「健康づくり体制の充実・支援」(42.0%)、「生きがい対策の推進」(38.4%)、「高齢者の就業機会の拡大」(37.6%)となっている。

前回調査との比較では、「老人福祉・介護保険施設等の充実」が前回2位から今回5位に下降し、割合も大きく減少するなど、施設による介護から在宅による介護へと重要性が変化している。新たに項目が追加された関係からか、割合が低下している項目が多いが、2、4については、逆に増加しており、これらを重要と考える人が増えている。

【地域交通施策】

問 2 2 本県の鉄道、路面電車、バスなどの地域公共交通に対する施策として、今後 10 年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。  
次の中から、あなたのお考えに近いものを 2 つ選んで○をつけてください。

図表 地域公共交通に対する重要施策



●地域公共交通にとって重要な施策は生活交通路線の維持推進

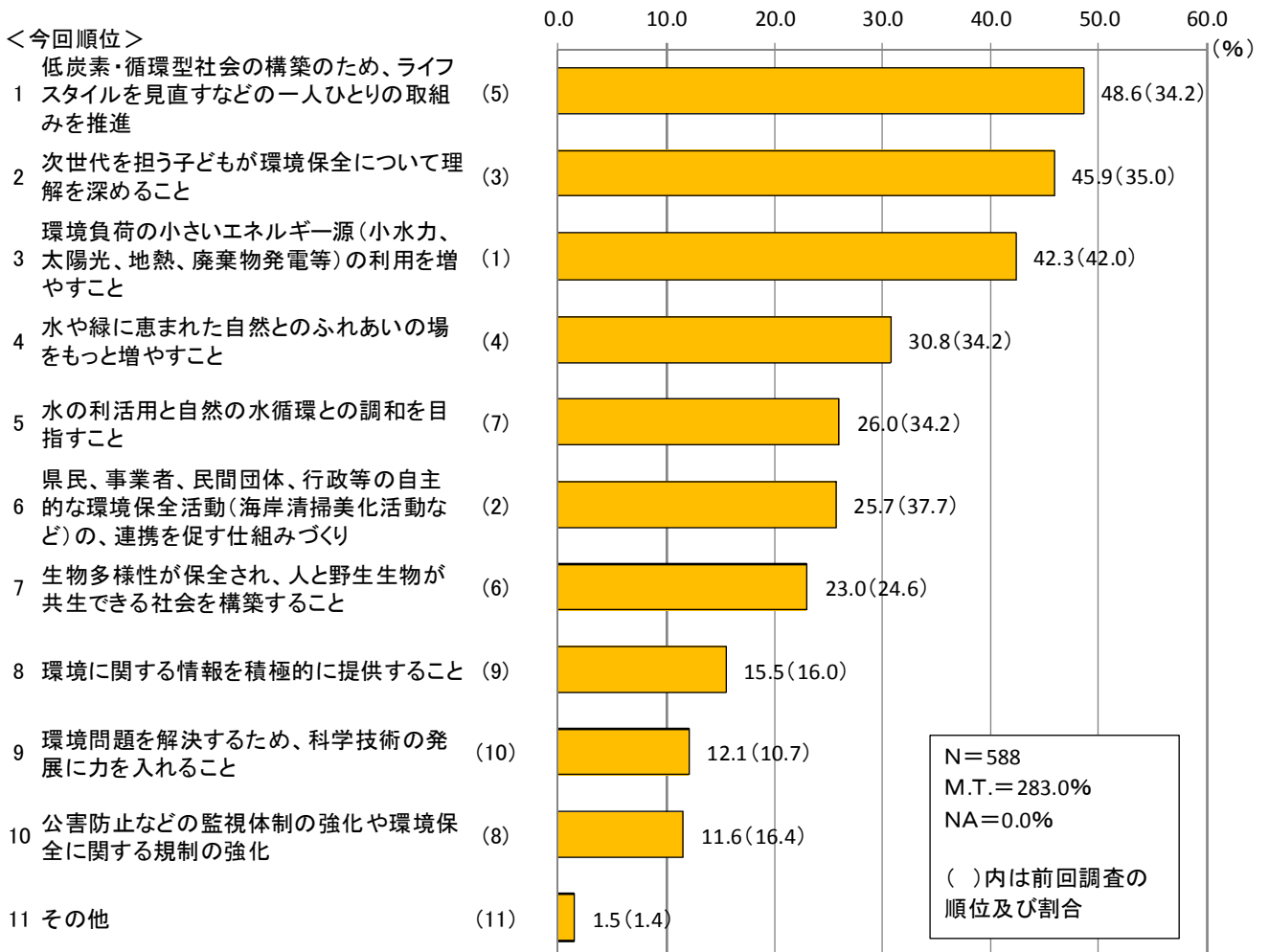
地域公共交通に対する重要施策として、最も回答の割合が高かったのは「生活交通路線を維持する施策の推進(生活路線バス運行支援等)」(43.5%)であり、次いで「公共交通の利便性や安全性を向上する施策の推進(輸送設備整備支援等)」(34.4%)、「公共交通ネットワークの利便性向上の取組み(乗継案内、共通ICカードの導入等)」(26.4%)となっている。

前回調査との比較では、全体の傾向として大きな変化はない。

【環境問題】

問 2 3 本県の環境施策として、今後 10 年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。次の中からあなたのお考えに近いものを 3 つまで選んで○をつけてください。

図表 環境に対する重要施策



●一人ひとりのライフスタイルの見直しによる低炭素・循環型社会の構築の推進

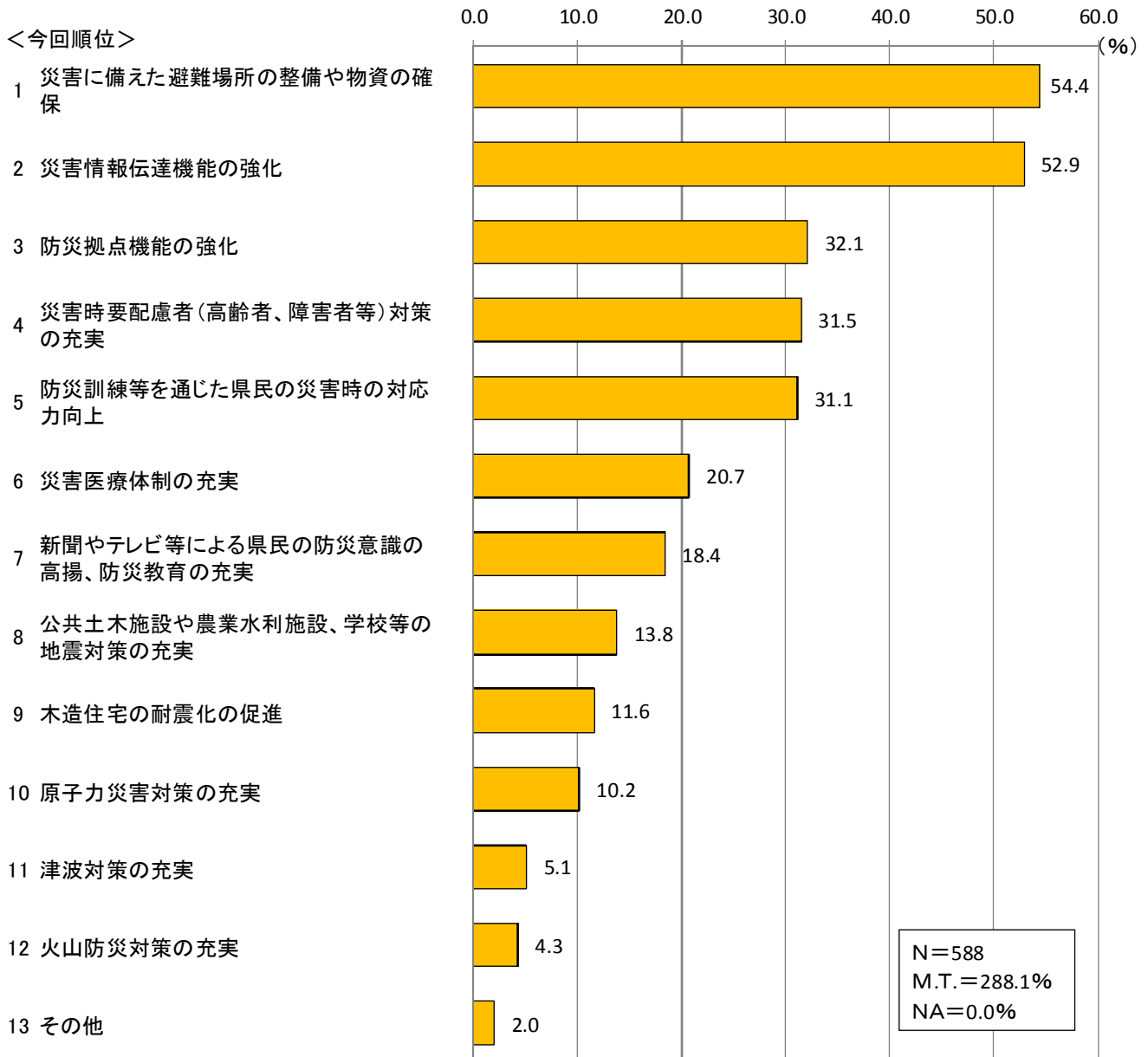
環境施策として重要な事項は、「低炭素・循環型社会の構築のため、ライフスタイルを見直すなど一人ひとりの取り組みを推進」(48.6%)が第一に挙げられている。次いで、「次世代を担う子どもが環境保全について理解を深めること」(45.9%)、「環境負荷の小さいエネルギー源(小水力、太陽光、地熱、廃棄物発電等)の利用を増やすこと」(42.3%)、「水や緑に恵まれた自然とのふれあいの場をもっと増やすこと」(30.8%)の順になっている。

前回調査との比較では、「低炭素・循環型社会の構築」「次世代を担う子どもが環境保全について理解を深めること」の回答割合が大きく増加したが、一方「県民、事業者、民間団体、行政等の自主的な環境保全活動の連携を促す仕組みづくり」の回答割合が減少するとともに、順位も大きく下がった。環境保全活動も重要だが、個々人の意識づけやそのための環境教育がより重要だと考えられている。

【防災対策】

問 2 4 本県の防災対策として、今後 10 年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。次の中からあなたのお考えに近いものを 3 つまで選んで○をつけてください。

図表 防災対策に関する重要施策



●避難場所の整備・物資の確保、災害情報伝達機能の強化で災害に備える

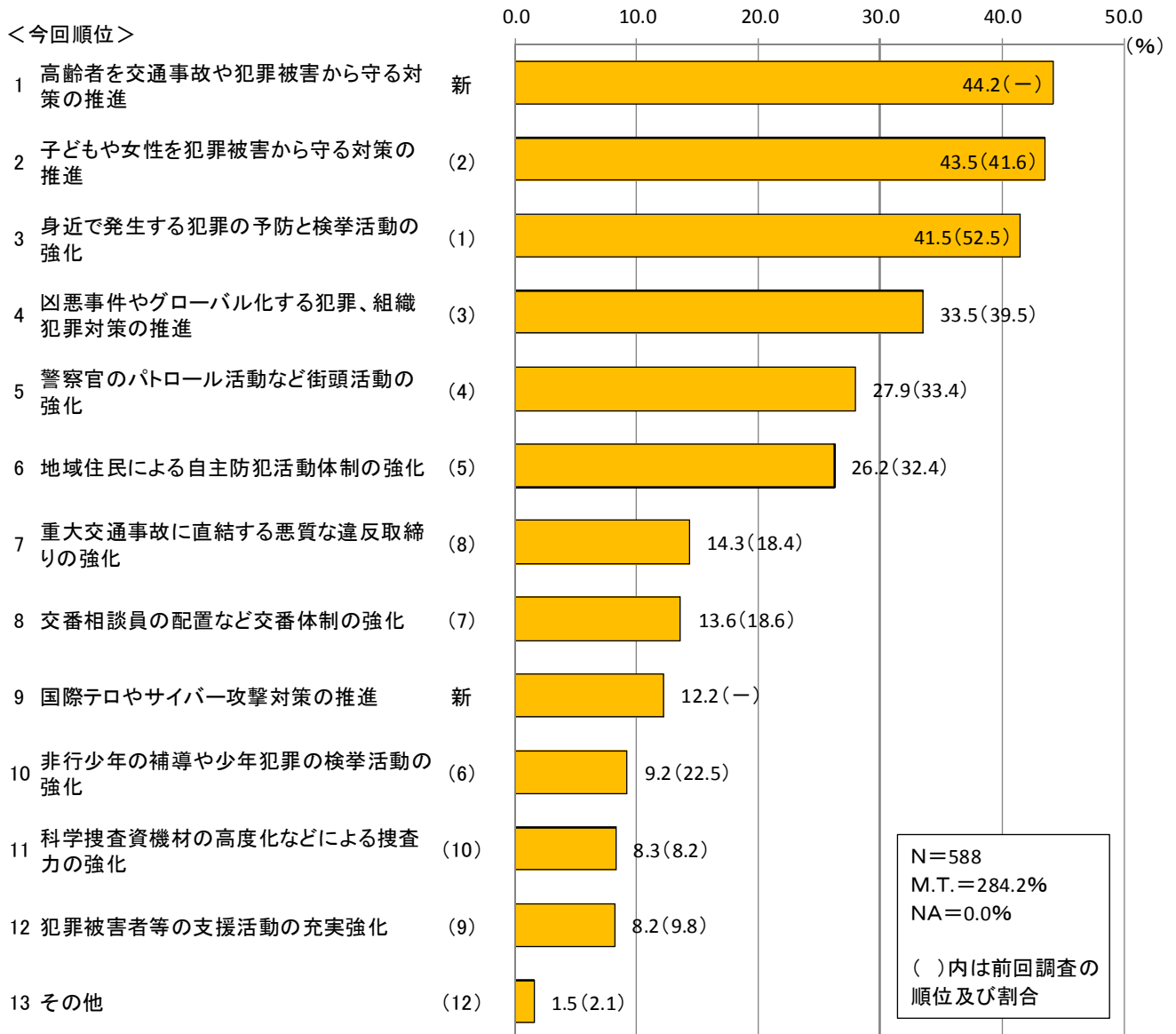
防災対策に関する施策として「災害に備えた避難場所の整備や物資の確保」(54.4%)と「災害情報伝達機能の強化」(52.9%)が特に重要だと考えられている。次いで「防災拠点機能の強化」(32.1%)、「災害時要配慮者(高齢者、障害者等)対策の充実」(31.5%)、「防災訓練等を通じた県民の災害時の対応力向上」(31.1%)が挙げられる。「災害情報伝達」については、その技術の発達については、問 12「情報化に対する期待度」の回答結果から非常に期待されていることがわかる。

前回調査との比較はない。

【安全なまちづくり】

問25 県民の治安に対する関心は高まっておりますが、本県の安全なまちづくりへの施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。  
次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

図表 安全なまちづくりに対する重要施策



●安全なまちづくりのために高齢者、子ども、女性を事故や犯罪被害から守る対策の推進

安全なまちづくりのための重要施策は「高齢者を交通事故や犯罪被害から守る対策の推進」(44.2%)が最も割合が高く、次いで「子どもや女性を犯罪被害から守る対策の推進」(43.5%)、「身近で発生する犯罪の予防と検挙活動の強化」(41.5%)となっており、高齢者や子ども、女性などを守る対策とともに身の回りで発生する犯罪防止対策が重要だと考える人が多い。

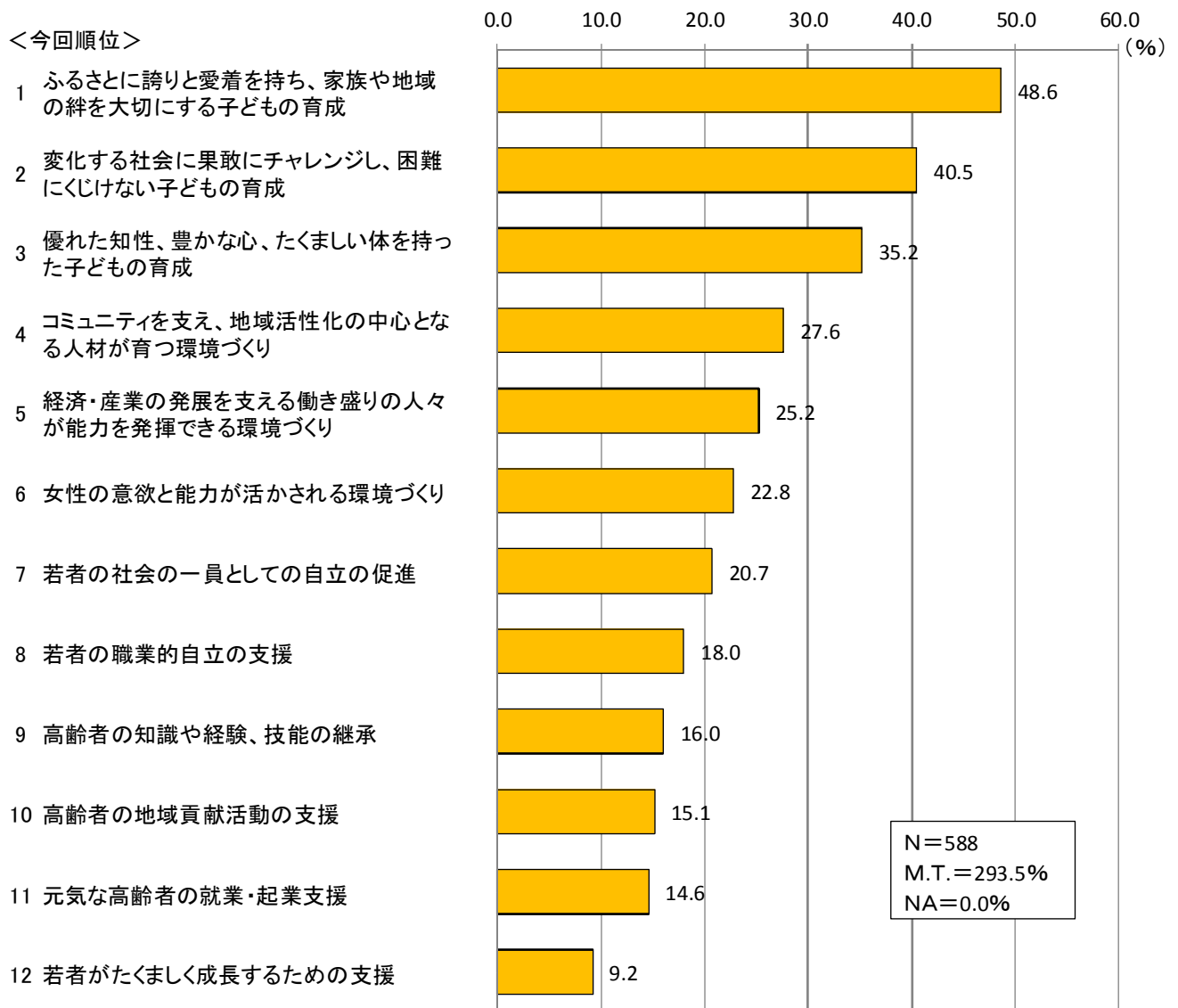
前回調査との比較では、今回新たに追加された項目である「高齢者を交通事故や犯罪被害から守る対策の推進」が最も割合が高くなり、昨今の高齢者が巻き込まれる事故や犯罪の頻発が影響していると考えられる。全体の傾向としては大きな変動はない。

### 3. 計画推進に向けた取組み

#### 【重点施策（人づくり）】

問26 現行計画において、目指すべき将来像の実現に当たっては、各分野を支え牽引する人材の存在が極めて重要となることから、「人づくり」を「活力」、「未来」、「安心」を支える重要施策として位置づけています。本県の目指す「人づくり」を進めるにあたっては、特にどのような施策が重要だとお考えですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

図表 人材育成のための重要施策



#### ●ふるさとに誇りと愛着を持ち、変化にチャレンジ、困難にくじけない子どもの育成に重点を

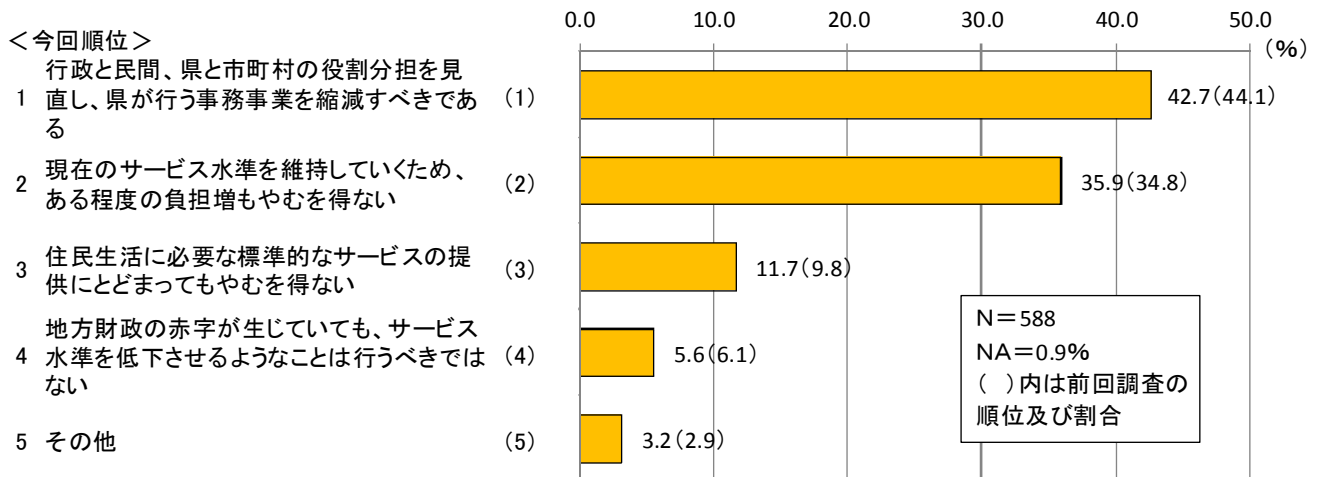
人づくりのために特に重要な施策は、回答の割合の高い順に「ふるさとに誇りと愛着を持ち、家族や地域の絆を大切にする子どもの育成」(48.6%)、「変化する社会に果敢にチャレンジし、困難にくじけない子どもの育成」(40.5%)、「優れた知性、豊かな心、たくましい体を持った子どもの育成」(35.2%)、「コミュニティを支え、地域活性化の中心となる人材が育つ環境づくり」(27.6%)となっている。

上位3項目はすべて将来を担う子どもたちの育成についての施策であり、子どもへの教育の重要性がうかがわれる。

【財政の健全化】

問27 地方財政は、国の「経済財政運営と改革の基本方針(H28.6閣議決定)」に基づき、引き続き地方交付税の削減が懸念される一方、高齢化等に伴い社会保障関係費その他の義務的経費が増加を続けるなど、極めて厳しい状況にあります。本県の財政健全化について、あなたはどのようにお考えですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

図表 財政健全化に対する考え



●民間、自治体の役割分担を見直し事務事業の縮減をする

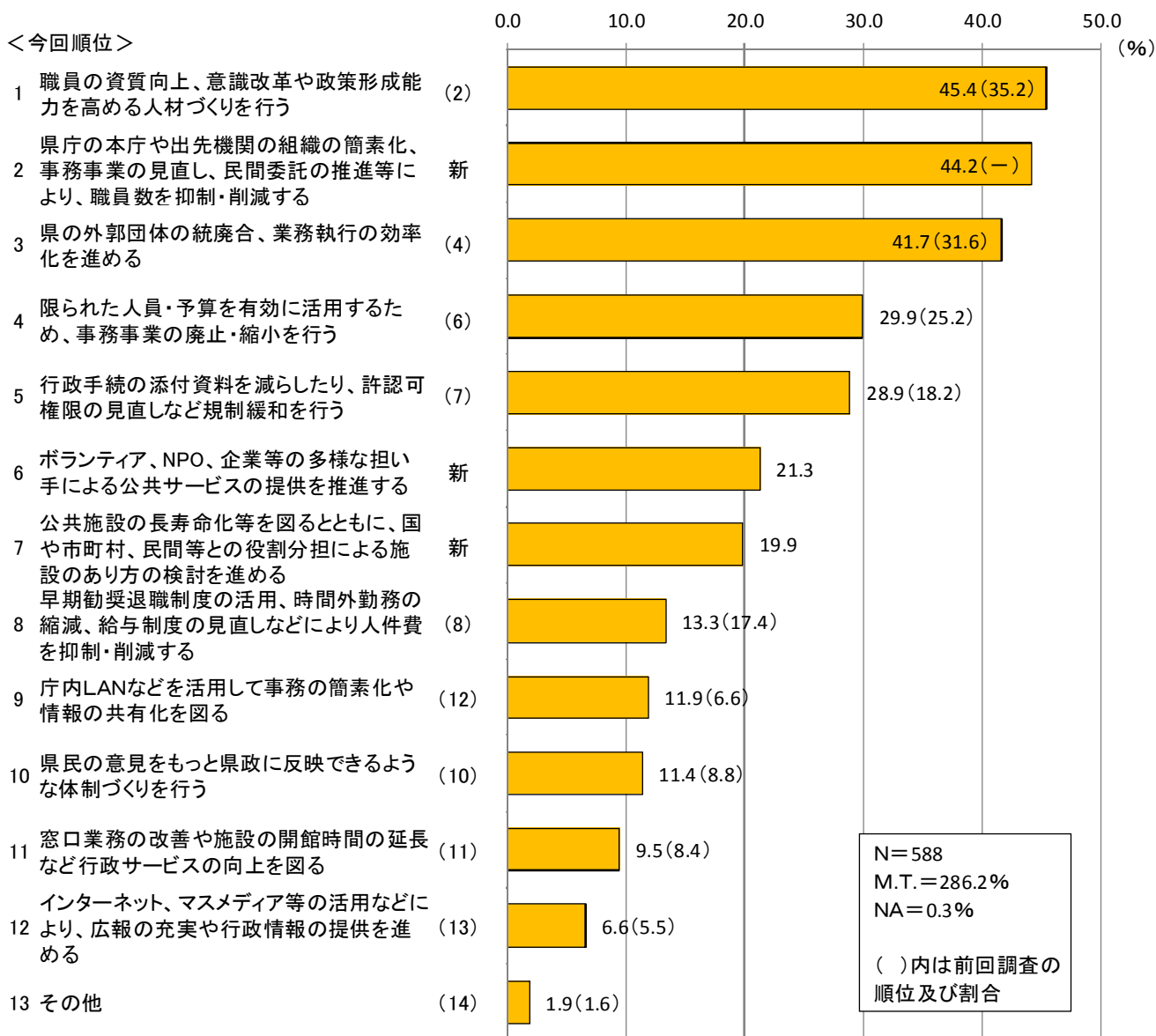
県の財政健全化については、「行政と民間、県と市町村の役割分担を見直し、県が行う事務事業を縮減すべきである」(42.7%)が最も回答の割合が高く、次いで「現在のサービス水準を維持していくため、ある程度の負担増もやむを得ない」(35.9%)となっている。

前回調査との比較では、ほとんど変動はない。

【行財政改革】

問28 本県では平成16年4月以降、一般行政部門の職員数を2.4%削減してきました。また、平成26年4月からの5年間でさらに同職員数を5%削減、その上で県政の重要施策や新たな行政需要に対応が必要な部門には2%の範囲内で必要な人員を措置し、純減としては3%以上の削減を目指すなど、さらなる徹底した行財政改革に取り組んでいますが、どのようなことをより優先すべきだとお考えですか。  
次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

図表 優先すべき行財政改革



●職員の資質向上、政策形成能力を高める人材づくり

行財政改革において優先的に取り組むべき事項は、「職員の資質向上、意識改革や政策形成能力を高める人材づくりを行う」(45.4%)が最も割合が高く、次いで「県庁の本庁や出先機関の組織の簡素化、事務事業の見直し、民間委託の推進等により、職員数を抑制・削減する」(44.2%)、「県の外郭団体の統廃合、業務執行の効率化を進める」(41.7%)、「限られた人員・予算を有効に活用するため、事務事業の廃止・縮小を行う」(29.9%)、「行政手続の添付資料を減らしたり、許認可権限の見直しなど規制緩和を行う」(28.9%)となっている。

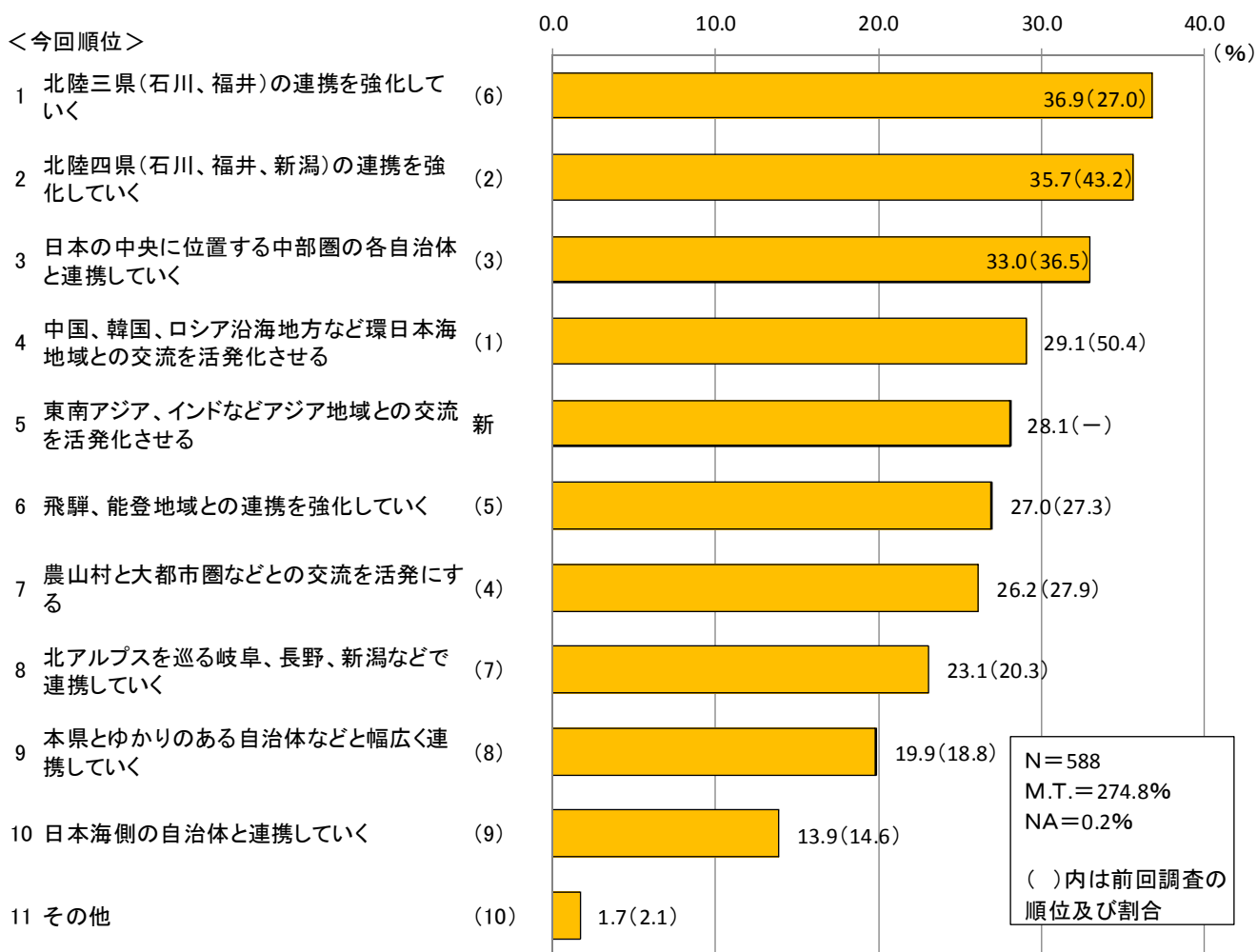
前回調査との比較では、全体の傾向に大きな変化はない。



【広域連携の推進】

問 2 9 本県が広域的な連携による地域づくりを行うためには、今後10年間を通して、特にどのような連携を重視していくべきとお考えですか。  
次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

図表 広域連携推進の形



●富山・石川・福井の北陸三県での連携強化

広域連携による地域づくりのために特に重要なこととして「北陸三県(石川、福井)の連携を強化していく」(36.9%)が最も割合が高かった。次いで「北陸四県(石川、福井、新潟)の連携を強化していく」(35.7%)、「日本の中央に位置する中部圏の各自治体と連携していく」(33.0%)となっている。

前回調査との比較では、前回6位だった「北陸三県の連携強化」が1位となり、北陸新幹線開業によって産業や観光業など三県で連携し、共に発展していくことを重視する人が多くなったと考えられる。また、「東南アジア、インドなどアジア地域との交流を活発化させる」も「中国、韓国、ロシア沿岸地方など環日本海地域との交流を活発化させる」とほぼ同じく重視すべきと考える人がおり、海外においても、よりグローバルな視点での連携を求められている。



#### 4. 自由意見（要約）

（件数）

《活力》	131
雇用の確保と人材の育成	19
県内での良質な雇用創出、確保 移住者やUターン・Iターンの支援、少子化対策としても特に女性のUターンを推進する施策	
富山のブランドカアップ	15
県外で富山をアピールできる広報ツールを利用したプロモーション活動。積極的なPR SNSや動画利用で若者たちに情報拡散してもらう。 民間パワー、民間企業の活用 修学旅行などのモデルコースにくすりの富山、立山黒部の自然、世界遺産、水力発電の見学など体験型資源の活用	
選ばれ続ける観光地づくり	13
北陸新幹線効果を高めるため北陸三県（富山、石川、福井）の連携と広域観光組織づくり 岐阜長野新潟との連携を含め観光資源の共同開発 四季折々の自然景観、豊かな食べ物、各地域の魅力ある伝統文化（祭りなど）の積極的な情報発信 観光施設や二次交通などの整備・充実	
企業立地の促進	12
全国・世界に通じる企業の誘致や育成 起業チャレンジ支援、ベンチャー企業の育成 少子高齢化、人口減少に耐えうる合理化投資への支援 医薬関係企業の誘致	
農業生産の振興	11
農業（米生産者）での収益確保対策 「農業、農村」が有する「市場に委ねてはならないもの」を維持し続けるために、農業生産を守っていく必要がある 若い担い手の発掘、育成	
森林の整備と林業の振興	8
林業としてだけでなく、県の財産として自然環境を保全しつつ活用していく施策 森林整備に国、県の補助	
国際観光の推進	7
雄大な自然を海外にPRし、外国人観光客を呼び込む、受入体制の整備 若者、移住者、外国人に良いと思うもの、面白いもの、かわいいもの等々、SNS利用で発信してもらえばよい 駅や観光地の外国語表記をいたずらに増やすと見にくくなるので、英語を基本とする。 総合医療の考え方をベースにヘルスツーリズムの拠点と医療機関や大学等との連携による研究機関としての役割を果たす	
新たな成長産業の育成	6
ものづくりの伝統を医療福祉分野で生かし、ICTなど新しい技術も加えた新たな成長産業の創出 1人当たり県民所得が大きくなるように産業構造を再構成する 若者が独立起業しやすい環境整備	
北陸新幹線の整備促進と新幹線駅を核とした交流拠点づくり	5
中心市街地の賑わい創出	5
産官学連携によるものづくり産業の高度化	4
中小企業の振興	4
水産業の振興	4
デザインの振興と活用	3
空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	3
情報通信基盤の充実と活用	3
快適で活力のあるコンパクトなまちづくりの推進	3
商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	2
利便性の高い道路ネットワークの整備	2
未来を拓く起業チャレンジへの支援	1
環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	1

《未来》	116
家庭・地域・職場における子育て支援	16
少子化に対して、経済的、人的な支援が必要 乳幼児期は安心して親が育児できる職場作り 児童の貧困対策 結婚支援	
子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	12
理工系への進学を望む環境づくり 学校教育の充実、教員の資質向上、優秀な教員(人材)確保	
大学教育・学術研究・科学技術の振興	10
地域、企業、大学との連携強化 富山県独自の特色ある高等教育	
男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	10
若い意欲ある女性の職場を県内で増やすとともに若い女性を引き付ける町づくり、社会づくりへの支援 家庭、地域、職場の男性たちへの教育が必要 女性のみを優遇するのではなく、性別を問わず働きやすい職場環境の整備	
農山漁村の活性化	9
自然や生活環境の保全、地域の活性化といった視点からの中山間地対策、兼業農家対策が必要 人材の確保、育成 農業での収入の確保(稼げる農業)	
学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援	7
学校、家庭のみでなく、地域との交流が大切。地域の発展にも子供の時から参加させる	
芸術文化の振興	7
芸術文化による国際交流を推進 さまざまな日本伝統文化が開催できる規模の施設を提供するなど、富山を総合芸術文化の発信基地にする	
自然・歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	7
富山県が誇れる歴史文化を県民のみならず、全国や国外からの来訪者にも分かりやすく情報発信する事業の充実	
ふるさとを学び楽しむ環境づくり	6
富山に生まれた誇り、富山で学び働く喜びが実感できるよう、家庭、地域、学校、企業による様々な教育支援などを推進	
地域の個性を活かした景観づくり、まち並みづくり	6
子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	5
元気な高齢者の活躍の場の拡大	5
交流人口の拡大、定住・半定住の促進	5
若者の自立促進とチャレンジ支援	4
生涯をととした学びの推進	3
グローバル社会における地域づくり、人づくり	2
多様な主体による社会貢献活動の推進	1
豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	1

(件数)

《安心》	87
地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	10
<p>障害者らも防災訓練に参加し、障害の内容に対応した救助の声掛け、避難誘導の方法など実地訓練をする</p> <p>公民協働し地域ぐるみで支え合う地域共生社会づくり</p> <p>IoTを活用し、医療、介護の充実など、より質の高い行政サービスの提供</p>	
生活交通の確保	10
<p>高齢者がマイカーに依存しなくてもよい生活交通の確保</p> <p>山間地など生活必需品の販売網や交通網の整備を地域に沿った形での施策、補助</p> <p>トラム拡大を検討すべき</p> <p>街中の駐車場不足の解消</p> <p>県の単独事業で先行し、路線廃止される前に、早急に維持充実に支援</p>	
スポーツの振興	9
<p>優秀な指導者の確保、育成への支援</p> <p>全天候型の人工芝の施設等を建設</p>	
防災・危機管理体制の充実	7
<p>地域コミュニティを活用した共助と、このための住民個々の意識改革を主体とした自助の積極的な推進が必要</p> <p>いつ災害が起こっても対応ができる体制を確立すべき</p> <p>構造物の維持管理体制の強化。橋梁やトンネル、電力施設等の構造物の老朽化の効率的な点検や補修が必要</p>	
健康づくりと疾病対策の推進	6
<p>地域をベースに身近な所で誰でもいつでも健康づくりに参加できる環境があれば、スポーツイベントなども</p> <p>減塩対策など県民あげての健康に対する啓蒙活動</p> <p>予防医療分野の充実</p>	
防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	6
<p>防犯カメラの設置個所の増設</p> <p>不法民泊は研修生失踪者などを匿ったり、テロリスト潜伏など犯罪の温床になりかねないので規制する条例を</p>	
自然環境の保全	5
高齢者福祉の充実	5
医療提供体制の充実	4
水資源の保全と活用	4
障害者福祉の充実	3
循環型社会と低炭素社会づくりの推進	3
生活環境の保全	3
地震防災対策の充実	3
食の安全確保と地産地消・食育の推進	2
多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	2
雪に強いまちづくり	2
消費生活の安全の確保	2
県土保全の推進	1

(件数)

《人づくり》	46
将来を担う子どもの基礎づくり	21
幼少時から基本的な生活と思いやり教育が必要 幼少時から地域の歴史、行事に触れさせ、富山県に誇りと愛着を持てる子供の育成 発達障害児、引きこもり、不登校、いじめなど様々な問題に対応できる人材の育成と登用、また機関の強化と充実 学校教育に携わる教員の資質向上と施策の充実	
若者の成長と自立、社会参加・社会貢献の促進	9
地域の活動や活性化を担う人材の育成と確保対策が必要 小さい時からの教育や、地域・様々な年代との多様な交流活動が必要 若者にもっと責任ある地位、立場を提供する。高齢者はサポートに廻れないか	
女性の意欲と能力が活かされる環境づくり	8
優秀な人材が子育てのため家庭に入り、その能力が活かせない。職場環境の整備を	
高齢者の活躍の場の拡大	5
若者の社会の一員としての自立の促進	3

(件数)

《行財政改革の推進》	38
現場重視で効率的な県政	10
市町村・民間委託等の推進や、外郭団体、業務の削減・合理化でコスト削減を推進すべき 福祉、文教関係など強化すべきところや、橋梁の維持補修や更新など必要なところには費用をかけていただきたい 農業・農村の健全な保全のため、行政と土地改良区が連携し農村環境行政を推進すべき	
市町村、地域の自立と支援	10
市町村、地域と協働して人口減少、災害時対策、住民サービスの充実向上を図るべき 市町村合併で閉鎖される公共施設でも、役割を果たす施設に対しては県で支援して欲しい 市町村、地域に役割分担できるもの、NPO・ボランティア団体の積極的活用で、県の行政負担を軽減すべき	
オープンで分かりやすい県政	6
複雑な書類が多いので、行政手続きを明確にし、分かりやすい行政サービスに改革すべき 予算の使われ方にムダがないか、利権がはたらいっていないか、県民に広報すべき	
「とやまから日本を変える」改革と創造	6
富山から財政改革をし、徹底的に無駄を省く	
スピード重視の県政	5
県民の自立と幸せを重視する県政	1

### ●自由意見

自由意見については《活力》131件、《未来》116件、《安心》87件、《行財政改革》38件、《人づくり》46件（重複回答含む）の回答となっている。

《活力》の分野においては、意見の多い順に「雇用の確保と人材の育成」（19件）「富山のブランドカアップ」（15件）「選ばれ続ける観光地づくり」（13件）、《未来》の分野については「家庭・地域・職場における子育て支援」（16件）「子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進」（12件）「大学教育・学術研究・科学技術の振興」（10件）、《安心》の分野では「地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成」（10件）「生活交通の確保」（10件）「スポーツの振興」（9件）、《行財政改革の推進》分野では「現場重視で効率的な県政」（10件）「市町村、地域の自立と支援」（10件）、《人づくり》分野では「将来を担う子どもの基礎づくり」（21件）「若者の成長と自立、社会参加・社会貢献の促進」（9件）となった。

## 結果の数表





【10年後のイメージ】

問1-1 北陸新幹線や富山きとときと空港、伏木富山港の機能の充実に伴い、国内外からビジネスや観光などで、人、モノが活発に行き来するなど県内経済が活性化している (SA)

	件数	%
そう思う	102	17.3
どちらかと言えばそう思う	326	55.4
どちらとも言えない	106	18.0
どちらかと言えばそう思わない	43	7.3
そう思わない	8	1.4
無回答	3	0.5
合計	588	100

問1-2 安心して働ける職場が確保されている (SA)

	件数	%
そう思う	39	6.6
どちらかと言えばそう思う	254	43.2
どちらとも言えない	232	39.5
どちらかと言えばそう思わない	52	8.8
そう思わない	8	1.4
無回答	3	0.5
合計	588	100

問1-3 女性・高齢者・障害者などが、自分にあった働き方を選択できる環境が整っている (SA)

	件数	%
そう思う	16	2.7
どちらかと言えばそう思う	167	28.4
どちらとも言えない	271	46.1
どちらかと言えばそう思わない	108	18.4
そう思わない	24	4.1
無回答	2	0.3
合計	588	100

問1-4 環日本海地域の拠点として、県内企業と海外企業との取引や交流が活発となり、多くの県内企業が海外に販路を持っている (SA)

	件数	%
そう思う	19	3.2
どちらかと言えばそう思う	241	41.0
どちらとも言えない	243	41.3
どちらかと言えばそう思わない	68	11.6
そう思わない	11	1.9
無回答	6	1.0
合計	588	100

問1-5 情報通信技術の活用により、生活関連情報や行政・災害関連情報などがいつでもどこでもだれでも入手し利用できるようになっている (SA)

	件数	%
そう思う	135	23.0
どちらかと言えばそう思う	335	57.0
どちらとも言えない	84	14.3
どちらかと言えばそう思わない	28	4.8
そう思わない	4	0.7
無回答	2	0.3
合計	588	100

問1-6 仕事と子育てが両立しやすいなど、安心して子どもを産み育てることができる社会となり、少子化に歯止めがかかっている (SA)

	件数	%
そう思う	7	1.2
どちらかと言えばそう思う	80	13.6
どちらとも言えない	249	42.3
どちらかと言えばそう思わない	182	31.0
そう思わない	65	11.1
無回答	5	0.9
合計	588	100

問1-7 基礎的な学力を身につける教育に加え、子どもの個性・創造性を伸ばす教育が行われている (SA)

	件数	%
そう思う	39	6.6
どちらかと言えばそう思う	250	42.5
どちらとも言えない	197	33.5
どちらかと言えばそう思わない	79	13.4
そう思わない	18	3.1
無回答	5	0.9
合計	588	100

問1-8 学術研究や科学技術、スポーツ、文化等の分野で国内外で活躍する人が増えている (SA)

	件数	%
そう思う	59	10.0
どちらかと言えばそう思う	289	49.1
どちらとも言えない	191	32.5
どちらかと言えばそう思わない	39	6.6
そう思わない	5	0.9
無回答	5	0.9
合計	588	100

問1-9 音楽会や演劇、美術展など、様々な文化を楽しむ機会が増えている (SA)

	件数	%
そう思う	64	10.9
どちらかと言えばそう思う	295	50.2
どちらとも言えない	173	29.4
どちらかと言えばそう思わない	44	7.5
そう思わない	9	1.5
無回答	3	0.5
合計	588	100

問1-10 地域づくりや福祉、生涯学習、国際交流・協力などのボランティア、NPO(民間非営利組織)などの活動が盛んになっている (SA)

	件数	%
そう思う	40	6.8
どちらかと言えばそう思う	289	49.1
どちらとも言えない	207	35.2
どちらかと言えばそう思わない	43	7.3
そう思わない	5	0.9
無回答	4	0.7
合計	588	100

問1-11 医療・介護サービスの充実や年金の支給などにより、安定した老後の生活を送ることができる (SA)

	件数	%
そう思う	8	1.4
どちらかと言えばそう思う	83	14.1
どちらとも言えない	232	39.5
どちらかと言えばそう思わない	189	32.1
そう思わない	73	12.4
無回答	3	0.5
合計	588	100

問1-12 高齢者、障害者をはじめ誰もが住み慣れた地域で自立して生活できる社会が実現している (SA)

	件数	%
そう思う	6	1.0
どちらかと言えばそう思う	85	14.5
どちらとも言えない	264	44.9
どちらかと言えばそう思わない	176	29.9
そう思わない	54	9.2
無回答	3	0.5
合計	588	100

問1-13 環境に対する意識が高まり、環境にやさしいライフスタイルが定着している (SA)

	件数	%
そう思う	24	4.1
どちらかと言えばそう思う	302	51.4
どちらとも言えない	192	32.7
どちらかと言えばそう思わない	60	10.2
そう思わない	7	1.2
無回答	3	0.5
合計	588	100

問1-14 犯罪や消費者被害が減り、安心して暮らせる社会となっている (SA)

	件数	%
そう思う	18	3.1
どちらかと言えばそう思う	156	26.5
どちらとも言えない	295	50.2
どちらかと言えばそう思わない	95	16.2
そう思わない	20	3.4
無回答	4	0.7
合計	588	100

## 【富山の魅力】

問2 富山ならではの魅力の形成として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。 (MA:3)

	件数	%
様々な働く場所があり、所得水準が高いこと	219	37.2
環日本海・アジア地域の交流拠点として、活発な活動を展開していること	61	10.4
サービス産業等も含めた都市集積がみられること	28	4.8
新鮮、良質、安全な食材が地元から供給される豊かな食生活ができること	218	37.1
地域公共交通の利便性が充実していること	147	25.0
空間的にゆとりがあり、質の高い住宅が確保しやすいこと	24	4.1
公園、上・下水道など生活環境基盤が充実していること	13	2.2
恵まれた教育環境のもとで、子どもが伸び伸びと育ち、個性が生かされること	256	43.5
様々な教養を身に付けたり、学ぶ機会が多いこと	36	6.1
自然と共生し、豊かな緑や水辺と身近にふれあう暮らしができること	125	21.3
富山ならではの自然や文化を体験できる場が多いこと	109	18.5
富山固有の文化に容易にふれ、参加できること	30	5.1
高齢者や障害者など、社会的弱者の人たちに対するきめ細かな福祉サービスが行き届いていること	140	23.8
保健・医療・福祉が充実しており、健康に暮らせること	233	39.6
犯罪や交通事故が少なく、自然災害の不安が少ないこと	90	15.3
その他	11	1.9
無回答	4	0.7
合計	588	100

## 【県土づくり】

問3 本県の県土づくり(社会資本整備)施策として、今後10年間を通して、どのような成果を重視して整備を進めるべきとお考えですか。 (MA:3)

	件数	%
国内外の交流の活発化(新幹線・空港・港湾施設整備・観光インフラ)	208	35.4
国際的な競争力の確保(産業の集積、産業支援機関の設備等)	123	20.9
災害に対する安全性の確保(公共施設の耐震化、長寿命化等)	177	30.1
生活の快適性、利便性の向上(道路ネットワークの整備等)	161	27.4
美しい街並みや景観の形成(無電柱化等)	50	8.5
高齢社会への対応(バリアフリー化等)	129	21.9
少子化、子育て支援への対応(保育サービスの充実等)	257	43.7
人と自然との共生(自然環境の保全等)	112	19.0
低炭素社会の構築(省エネ・再生可能エネルギーへの転換)	55	9.4
人口減少への対応・地域の自立、活性化(県立大学の整備等)	278	47.3
循環型社会の構築(廃棄物の適正処理等)	33	5.6
地域公共交通の充実	153	26.0
その他	10	1.7
無回答	4	0.7
合計	588	100

【重点施策】

問4 本県が、今後10年間を通して、特に重点的に推進していくことが求められる施策は何だとお考えですか。

現行計画「新・元気とやま創造計画」の柱として掲げる各施策について、あなたのお考えに近いものを選んでください。

問4-1 重点施策《活力》

(MA:3)

	件数	%
新たな成長産業の育成	115	19.6
未来を拓く起業チャレンジへの支援	63	10.7
産学官連携によるものづくり産業の高度化	143	24.3
企業立地の促進	72	12.2
中小企業の振興	115	19.6
デザインの振興と活用	13	2.2
商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	70	11.9
雇用の確保と人材の育成	254	43.2
環日本海・アジアなど国際ビジネス展開の促進	41	7.0
農業生産の振興	82	13.9
森林の整備と林業の振興	36	6.1
水産業の振興	30	5.1
北陸新幹線の整備促進と新幹線駅を核とした交流拠点づくり	75	12.8
空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	31	5.3
利便性の高い道路ネットワークの整備	49	8.3
情報通信基盤の充実と活用	54	9.2
快適で活力ある魅力的なまちづくり	192	32.7
中心市街地の賑わいの創出	60	10.2
選ばれ続ける観光地づくり	61	10.4
国際観光の推進	27	4.6
富山のブランドカアップ	160	27.2
この中にあてはまるものはない	1	0.2
無回答	0	0.0
合計	588	100

問4-2 重点施策《未来》

(MA:3)

	件数	%
家庭・地域・職場における子育て支援	159	27.0
学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援	120	20.4
子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	144	24.5
子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	114	19.4
大学教育・学術研究・科学技術の振興	81	13.8
生涯をととした学びの推進	61	10.4
ふるさとを学び楽しむ環境づくり	40	6.8
芸術文化の振興	38	6.5
多様な主体による社会貢献活動の推進	52	8.8
若者の自立促進とチャレンジ支援	106	18.0
男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	100	17.0
元気な高齢者の活躍の場の拡大	176	29.9
人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	58	9.9
グローバル社会における地域づくり・人づくり	99	16.8
交流人口の拡大、定住・半定住の促進	141	24.0
自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	103	17.5
地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	53	9.0
農山漁村の活性化	64	10.9
豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	22	3.7
この中にあてはまるものはない	0	0.0
無回答	2	0.3
合計	588	100

## 問4-3 重点施策《安心》

(MA:3)

No.		件数	%
1	地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	288	49.0
2	医療提供体制の充実	116	19.7
3	健康づくりと疾病対策の推進	115	19.6
4	高齢者福祉の充実	132	22.4
5	障害者福祉の充実	41	7.0
6	食の安全確保と地産地消・食育の推進	163	27.7
7	スポーツの振興	46	7.8
8	循環型社会と低炭素社会づくりの推進	48	8.2
9	自然環境の保全	64	10.9
10	生活環境の保全	51	8.7
11	水資源の保全と活用	56	9.5
12	多様化・効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	39	6.6
13	生活交通の確保	152	25.9
14	住環境の向上	21	3.6
15	雪に強いまちづくり	30	5.1
16	県土保全の推進	31	5.3
17	防災・危機管理体制の充実	162	27.6
18	地震防災対策の充実	46	7.8
19	防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	79	13.4
20	消費生活の安全の確保	33	5.6
21	この中にあてはまるものはない	0	0.0
	無回答	1	0.2
	合計	588	100

## 問4-4 重点施策《行財政改革》

(SA)

	件数	%
オープンで分かりやすい県政	158	26.9
現場重視で効率的な県政	116	19.7
スピード重視の県政	34	5.8
民間の知恵・創意工夫の活用	129	21.9
市町村、地域の自立と支援	71	12.1
「とよまから日本を変える」改革と創造	65	11.1
この中にあてはまるものはない	3	0.5
無回答	12	2.0
合計	588	100

## 問4-5 重点施策《人づくり》

(MA:2)

	件数	%
将来を担う子どもの基礎づくり	362	61.6
若者の成長と自立、社会参加・社会貢献の促進	257	43.7
働き盛りの人々が能力を発揮できる環境づくり	152	25.9
女性の意欲と能力が活かされる環境づくり	174	29.6
高齢者の活躍の場の拡大	173	29.4
この中にあてはまるものはない	1	0.2
無回答	4	0.7
合計	588	100

【新規成長産業】

問5 成長が期待される産業分野について、本県として、今後10年間を通して、どのような分野に力をいれて取り組むべきだとお考えですか。

問5-1 IoT、ビッグデータ、AI(人工知能)

(SA)

	件数	%
重点的に力をいれていくべき	130	22.1
力をいれていくべき	305	51.9
力をいれる必要はない	54	9.2
わからない	82	13.9
無回答	17	2.9
合計	588	100

問5-2 医療・バイオテクノロジー(抗体医薬品、核酸医薬品等)

(SA)

	件数	%
重点的に力をいれていくべき	287	48.8
力をいれていくべき	263	44.7
力をいれる必要はない	7	1.2
わからない	15	2.6
無回答	16	2.7
合計	588	100

問5-3 ロボット(生産性向上、社会インフラ、メンテナンス、農作業省力化等)

(SA)

	件数	%
重点的に力をいれていくべき	158	26.9
力をいれていくべき	359	61.1
力をいれる必要はない	22	3.7
わからない	30	5.1
無回答	19	3.2
合計	588	100

問5-4 観光(国際観光、広域観光)

(SA)

	件数	%
重点的に力をいれていくべき	204	34.7
力をいれていくべき	313	53.2
力をいれる必要はない	36	6.1
わからない	20	3.4
無回答	15	2.6
合計	588	100

問5-5 健康・福祉(医薬工連携、介護福祉機器、スポーツ等)

(SA)

	件数	%
重点的に力をいれていくべき	236	40.1
力をいれていくべき	311	52.9
力をいれる必要はない	12	2.0
わからない	15	2.6
無回答	14	2.4
合計	588	100

## 問5-6 環境(廃棄物処理、リサイクル関連、環境関連装置等)

(SA)

	件数	%
重点的に力をいれていくべき	141	24.0
力を入れていくべき	368	62.6
力を入れる必要はない	29	4.9
わからない	34	5.8
無回答	16	2.7
合計	588	100

## 問5-7 エネルギー(再生可能エネルギー、次世代自動車、水素エネルギー等)

(SA)

	件数	%
重点的に力をいれていくべき	153	26.0
力を入れていくべき	320	54.4
力を入れる必要はない	49	8.3
わからない	51	8.7
無回答	15	2.6
合計	588	100

## 問5-8 新製造技術(デジタルものづくり、高性能素材等)

(SA)

	件数	%
重点的に力をいれていくべき	119	20.2
力を入れていくべき	339	57.7
力を入れる必要はない	47	8.0
わからない	65	11.1
無回答	18	3.1
合計	588	100

## 問5-9 航空・宇宙産業

(SA)

	件数	%
重点的に力をいれていくべき	31	5.3
力を入れていくべき	187	31.8
力を入れる必要はない	227	38.6
わからない	130	22.1
無回答	13	2.2
合計	588	100

## 問5-10 クリエイティブ産業(デザイン、アニメ、映画、ゲーム等)

(SA)

	件数	%
重点的に力をいれていくべき	73	12.4
力を入れていくべき	261	44.4
力を入れる必要はない	137	23.3
わからない	102	17.3
無回答	15	2.6
合計	588	100



## 問5-11 食・ファッション

(SA)

	件数	%
重点的に力をいれていくべき	80	13.6
力を入れていくべき	316	53.7
力を入れる必要はない	95	16.2
わからない	83	14.1
無回答	14	2.4
合計	588	100

## 問5-12 住宅(住宅リフォーム、住宅設備関連機器、輸入住宅、新建材等)

(SA)

	件数	%
重点的に力をいれていくべき	28	4.8
力を入れていくべき	325	55.3
力を入れる必要はない	127	21.6
わからない	94	16.0
無回答	14	2.4
合計	588	100

## 問5-13 ビジネス支援(事務代行等アウトソーシング、イベント企画等)

(SA)

	件数	%
重点的に力をいれていくべき	49	8.3
力を入れていくべき	277	47.1
力を入れる必要はない	120	20.4
わからない	115	19.6
無回答	27	4.6
合計	588	100

## 【新産業の創出】

問6 本県の新技術・新産業の創出の施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。(MA:3)

	件数	%
企業、大学、試験研究機関等の連携による研究開発の促進	334	56.8
企業の研究開発活動に対する支援・指導強化	122	20.7
県内企業同士の連携による新技術・新商品の開発	162	27.6
研究成果を実用化に結び付けるための支援組織の整備	195	33.2
県外・海外企業との連携による販路開拓の支援	148	25.2
国や県外企業等の研究機関の誘致	117	19.9
交通・情報・通信インフラの整備	121	20.6
ベンチャー企業の育成・支援強化	128	21.8
技術情報などの情報提供機能の充実	45	7.7
科学技術の発展を担う研究者や技術者の育成	170	28.9
青少年の科学技術への関心醸成	150	25.5
その他	5	0.9
無回答	4	0.7
合計	588	100

【商業・サービス業施策】

問7 本県の商業・サービス業施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。(MA:3)

	件数	%
コミュニティビジネスの支援(子育て支援、買い物支援サービス、地域おこしなど)	336	57.1
健康産業等のサービス業の振興	102	17.3
市街地再開発の推進	111	18.9
魅力ある商店街づくり(消費者のニーズに合致した豊富な品揃えなど)及び賑わいの創出	240	40.8
中心市街地での公共施設等の整備	67	11.4
交通・IT等のインフラ整備	178	30.3
大型店の出店抑制	48	8.2
効率的な流通・物流システムの整備	61	10.4
公共サービスの民間への移行促進	87	14.8
人材育成の支援	193	32.8
小規模事業者の経営改善に対する個別相談・指導等の促進	72	12.2
新規創業の支援	106	18.0
インターネットを活用した商業・サービス業の振興	89	15.1
その他	3	0.5
無回答	4	0.7
合計	588	100

【若者の定着】

問8 本県に若者が定着・流入するためには、特にどのようなことが重要だとお考えですか。(MA:3)

	件数	%
大学など高等教育機関の充実	219	37.2
スポーツ、娯楽施設、文化施設の整備	107	18.2
公園や緑地など快適な環境の整備	18	3.1
都会的なセンスとオシャレ感覚を持つ中心市街地の形成	105	17.9
催し物やイベントの開催	23	3.9
海や山など豊かな自然の活用	98	16.7
若者の能力が発揮できる職場の確保	352	59.9
仕事と家庭生活、地域活動等が両立できる、ゆとりある職場環境の整備	213	36.2
結婚、出産、子育てのための環境整備	226	38.4
家庭や地域における連帯感の高揚	33	5.6
古い因習や地域のしがらみからの解放	41	7.0
県の中心都市へ高次な都市機能を集積する	26	4.4
各広域圏の中心都市において、それぞれ不十分な機能を強化し、全体として総合的な機能を強化する	38	6.5
各市町村ごとにそれぞれ得意分野の機能を強化し、独自性のある都市化を図る	94	16.0
高速交通網の整備による大都市との時間距離の短縮	51	8.7
地域公共交通の利便性向上	81	13.8
その他	12	2.0
無回答	0	0.0
合計	588	100

【観光産業施策】

問9 本県の観光が振興するためには、今後10年間を通して特にどのようなことが重要だとお考えですか。(MA:4)

	件数	%
観光マーケティング等に基づく官民一体となった戦略的な観光地域づくりの促進	215	36.6
多様化する観光ニーズに対応できる人材や地域の観光を担う人材の育成	213	36.2
外国人旅行者等にも対応した一定のグレードの宿泊施設の整備	86	14.6
観光産業と他産業の連携による地域内での経済循環の促進	111	18.9
観光の担い手としての事業者や県民の意識醸成	68	11.6
新幹線駅など交通結節点における広域観光の拠点整備(旅行者向けサービスのワンストップ化など)	79	13.4
新幹線駅・空港等と観光地を結ぶ二次交通の整備や利便性の向上	211	35.9
世界水準の観光資源「世界遺産五箇山」「立山黒部」「富山湾」の高付加価値化	175	29.8
食や伝統文化、工芸品等の観光資源の発掘や磨き上げ、観光商品化	182	31.0
産業観光、ロケ地めぐり、グリーンツーリズム等多様なツーリズムの推進	108	18.4
美術館・博物館等の一層の魅力向上と質の高い文化芸術を楽しむ企画の観光商品化	57	9.7
温泉・食・文化等を活かした冬季の魅力創出による通年観光の促進	182	31.0
世界水準の観光地や上質なライフスタイルのブランド化や、マーケティングに基づく効果的な情報発信	102	17.3
交通事業者や旅行会社、近隣自治体等と連携したプロモーション	62	10.5
外国人観光客の誘致など国際観光の推進	60	10.2
広域観光周遊ルートの形成促進	71	12.1
外国人個人旅行者(FIT)に対応した受入態勢の整備・充実	63	10.7
会議、大会などのコンベンションの誘致	78	13.3
その他	17	2.9
無回答	2	0.3
合計	588	100

【農林水産業施策】

問10 本県の農林水産業施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。(MA:4)

	件数	%
地産地消の推進や食生活の改善など、食育の推進	263	44.7
高品質で美味しい「売れる富山米」の生産体制の整備	108	18.4
野菜、果樹などの園芸作物の生産拡大の促進	132	22.4
安全で安心な畜産物の生産の促進	59	10.0
県産農林水産物のブランド力の向上(とやまブランドの育成・確立)	304	51.7
6次産業化や農商工連携による収益性の向上	173	29.4
県産農林水産物の流通・販売の促進	99	16.8
将来の農林水産業を支える担い手の育成確保	362	61.6
化学肥料や農薬の使用量の低減など、環境にやさしい農業の推進	76	12.9
農林水産業技術の研究開発と普及指導の充実	102	17.3
鳥獣被害の防止や耕作放棄地の解消などによる優良農地の確保	73	12.4
競争力ある農業の実現に向けた農地の大区画化や汎用化など農業生産基盤の整備	117	19.9
県産木材の安定供給と利用の促進	51	8.7
新鮮で安全な水産物の供給基盤としての漁港の整備	79	13.4
栽培漁業の振興と漁場環境の保全	94	16.0
県産農林水産物の海外への販路開拓	62	10.5
その他	17	2.9
無回答	3	0.5
合計	588	100

【農山漁村の課題】

問11 本県の住みよい農山漁村をつくるための施策として、今後10年間を通して、基盤となる農林水産業の発展のほか、特にどのようなことが重要だとお考えですか。(MA:3)

	件数	%
伝統文化や地域文化を活かした地域づくりへの支援	255	43.4
農業者と地域住民が一体となり農業用排水路等を管理する体制づくりの推進	65	11.1
県民参加による森づくりの推進	66	11.2
自然環境や農山漁村景観を保全する活動への支援	177	30.1
都市との交流促進などによる地域おこしを担う人材の育成・確保	210	35.7
都市住民との交流促進のためのイベント開催や情報の発信	89	15.1
農林水産業や豊かな自然を学習、体験できる機会の提供	215	36.6
農村地域や県民生活の安全を守る防災対策の推進とため池などの安全施設の整備	68	11.6
農村の生活環境の整備	166	28.2
特産物や伝統技術、自然環境などの地域資源を活用した産業の振興	304	51.7
その他	9	1.5
無回答	14	2.4
合計	588	100

【情報化】

問 12 地域社会や県民の生活における情報通信技術に対するあなたの期待度はそれぞれどの程度ですか。

問12-1 情報ネットワークによる遠隔高度医療・在宅医療

(SA)

	件数	%
非常に期待している	166	28.2
ある程度期待している	258	43.9
期待度は普通である	109	18.5
あまり期待していない	41	7.0
期待していない	6	1.0
無回答	8	1.4
合計	588	100

問12-2 情報ネットワークによる在宅学習

(SA)

	件数	%
非常に期待している	38	6.5
ある程度期待している	228	38.8
期待度は普通である	232	39.5
あまり期待していない	70	11.9
期待していない	12	2.0
無回答	8	1.4
合計	588	100

問12-3 情報ネットワークによる学校教育の高度化

(SA)

	件数	%
非常に期待している	78	13.3
ある程度期待している	249	42.3
期待度は普通である	184	31.3
あまり期待していない	55	9.4
期待していない	12	2.0
無回答	10	1.7
合計	588	100

問12-4 情報ネットワークによる防災・緊急情報提供

(SA)

	件数	%
非常に期待している	261	44.4
ある程度期待している	258	43.9
期待度は普通である	56	9.5
あまり期待していない	4	0.7
期待していない	2	0.3
無回答	7	1.2
合計	588	100

問12-5 情報ネットワークによる食や地域における安全情報の提供

(SA)

	件数	%
非常に期待している	83	14.1
ある程度期待している	255	43.4
期待度は普通である	201	34.2
あまり期待していない	35	6.0
期待していない	5	0.9
無回答	9	1.5
合計	588	100

## 問12-6 情報ネットワークによる生活情報や地域のイベント・催事情報の提供

(SA)

	件数	%
非常に期待している	60	10.2
ある程度期待している	266	45.2
期待度は普通である	215	36.6
あまり期待していない	32	5.4
期待していない	6	1.0
無回答	9	1.5
合計	588	100

## 問12-7 情報ネットワークによる観光情報の提供

(SA)

	件数	%
非常に期待している	88	15.0
ある程度期待している	261	44.4
期待度は普通である	195	33.2
あまり期待していない	30	5.1
期待していない	4	0.7
無回答	10	1.7
合計	588	100

## 問12-8 情報ネットワークによる在宅での行政手続(電子申請等)

(SA)

	件数	%
非常に期待している	104	17.7
ある程度期待している	239	40.6
期待度は普通である	190	32.3
あまり期待していない	39	6.6
期待していない	6	1.0
無回答	10	1.7
合計	588	100

## 問12-9 テレビ電話・会議等による遠隔地居住者との対話

(SA)

	件数	%
非常に期待している	53	9.0
ある程度期待している	209	35.5
期待度は普通である	216	36.7
あまり期待していない	84	14.3
期待していない	16	2.7
無回答	10	1.7
合計	588	100

## 問12-10 高度情報化によるAI、IoT等新産業の創出

(SA)

	件数	%
非常に期待している	117	19.9
ある程度期待している	226	38.4
期待度は普通である	165	28.1
あまり期待していない	55	9.4
期待していない	15	2.6
無回答	10	1.7
合計	588	100

## 問12-11 テレワークの普及促進

(SA)

	件数	%
非常に期待している	34	5.8
ある程度期待している	192	32.7
期待度は普通である	267	45.4
あまり期待していない	74	12.6
期待していない	8	1.4
無回答	13	2.2
合計	588	100

## 問12-12 障害者や高齢者などに対する情報面のバリアフリー化

(SA)

	件数	%
非常に期待している	88	15.0
ある程度期待している	278	47.3
期待度は普通である	172	29.3
あまり期待していない	37	6.3
期待していない	3	0.5
無回答	10	1.7
合計	588	100

## 問12-13 光ファイバー網などの超高速で通信できるネットワーク環境の整備

(SA)

	件数	%
非常に期待している	121	20.6
ある程度期待している	279	47.4
期待度は普通である	149	25.3
あまり期待していない	26	4.4
期待していない	4	0.7
無回答	9	1.5
合計	588	100

## 問12-14 個人情報の保護や情報セキュリティの確保

(SA)

	件数	%
非常に期待している	179	30.4
ある程度期待している	222	37.8
期待度は普通である	148	25.2
あまり期待していない	25	4.3
期待していない	4	0.7
無回答	10	1.7
合計	588	100

## 問12-15 フリーWi-Fi(無料公衆無線LAN)の普及

(SA)

	件数	%
非常に期待している	172	29.3
ある程度期待している	258	43.9
期待度は普通である	121	20.6
あまり期待していない	25	4.3
期待していない	2	0.3
無回答	10	1.7
合計	588	100

## 問12-16 マイナンバーカードの利活用による利便性の向上

(SA)

	件数	%
非常に期待している	43	7.3
ある程度期待している	138	23.5
期待度は普通である	249	42.3
あまり期待していない	109	18.5
期待していない	41	7.0
無回答	8	1.4
合計	588	100

## 問12-17 オープンデータによる情報の提供

(SA)

	件数	%
非常に期待している	47	8.0
ある程度期待している	159	27.0
期待度は普通である	277	47.1
あまり期待していない	81	13.8
期待していない	9	1.5
無回答	15	2.6
合計	588	100

【少子化対策】

問13 行政(国・県・市町村)が少子化対策に取り組むにあたって、今後10年間を通して、どのようなことが重要だとお考えですか。(MA:3)

	件数	%
労働時間短縮や育児休業制度、再就職支援の充実など、仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備	380	64.6
延長保育や一時保育などの多様な保育サービスの充実	248	42.2
出産や子育てに関する相談体制の充実	39	6.6
保育料・授業料などの子育てにかかる経済的負担の軽減	321	54.6
子ども手当など、経済的支援の拡充	97	16.5
学校や地域、企業等における、少子化問題や、子育ての楽しさ、大切さに関する教育や啓発、若い世代へのライフプラン教育の推進	143	24.3
若者の経済的自立を促進する職業教育や就労支援	112	19.0
若者の定着や流入を促進するための施策の充実	218	37.1
結婚を希望する男女の出会いの場の提供など結婚支援の充実	118	20.1
個人の問題であり、行政が取り組む必要はない	12	2.0
その他	19	3.2
無回答	4	0.7
合計	588	100

【児童の健全育成】

問14 子どもや家庭をめぐる様々な問題が生じていますが、家庭や地域で子どもの健全な育成を図るため、今後10年間を通して、どのようなことが必要だとお考えですか。(MA:3)

	件数	%
子ども同士で遊ぶ機会や自然とのふれあいの機会の確保	314	53.4
子どもが安心して遊べる場所や施設の確保	235	40.0
子どもの自立心を育む教育の推進	233	39.6
子どもや親が地域で行われる多様な活動へ参加する機会の確保	167	28.4
親子がふれあえる時間の確保	209	35.5
子どもを持つ親同士が交流する機会の確保	81	13.8
児童健全育成活動の推進にあたる指導者の確保	67	11.4
補導活動等の少年非行対策	7	1.2
子どもたちを取り巻く有害な社会環境の浄化	100	17.0
子育てに関する知識の提供や悩みなどに対する相談援助の体制整備	176	29.9
企業における家庭教育講座など働く親が子育てを学ぶ機会の充実	76	12.9
その他	22	3.7
無回答	1	0.2
合計	588	100



【学校・家庭・地域での教育】

問 15 学校や家庭、地域では、どのようなことを身に付けることが必要だとお考えですか。

問15-1 義務教育

(MA:3)

	件数	%
基本的な生活習慣を身に付けること	120	20.4
生涯にわたって学ぶべき必要な基礎学力を身に付けること	310	52.7
豊かな感性や情操、創造性を身に付けること	140	23.8
人間関係を築く力を身に付けること	131	22.3
自ら考える力、科学する心や探究力、表現力、自ら課題を解決する能力等を身に付けること	86	14.6
他人への思いやりの心をもつこと	132	22.4
困難にくじけない忍耐力を身に付けること	59	10.0
善悪を判断して行動する力を身に付けること	97	16.5
社会のために尽くす態度を身に付けること	22	3.7
ふるさとへの理解を深め、誇りや愛着を深めること	28	4.8
命を大切にすることを	120	20.4
情報を取捨選択し活用する力を身に付けること	10	1.7
積極的に物事に取り組む姿勢を身に付けること	57	9.7
興味や関心、適性に応じ、自らの進路を選択する力を身に付けること	18	3.1
健康保持や体力づくりの習慣を身に付けること	49	8.3
物やエネルギーを大切にすることを	14	2.4
無回答	103	17.5
合計	588	100

問15-2 高校教育

(MA:3)

	件数	%
基本的な生活習慣を身に付けること	15	2.6
生涯にわたって学ぶべき必要な基礎学力を身に付けること	93	15.8
豊かな感性や情操、創造性を身に付けること	80	13.6
人間関係を築く力を身に付けること	82	13.9
自ら考える力、科学する心や探究力、表現力、自ら課題を解決する能力等を身に付けること	317	53.9
他人への思いやりの心をもつこと	16	2.7
困難にくじけない忍耐力を身に付けること	59	10.0
善悪を判断して行動する力を身に付けること	40	6.8
社会のために尽くす態度を身に付けること	93	15.8
ふるさとへの理解を深め、誇りや愛着を深めること	34	5.8
命を大切にすることを	20	3.4
情報を取捨選択し活用する力を身に付けること	191	32.5
積極的に物事に取り組む姿勢を身に付けること	61	10.4
興味や関心、適性に応じ、自らの進路を選択する力を身に付けること	284	48.3
健康保持や体力づくりの習慣を身に付けること	14	2.4
物やエネルギーを大切にすることを	9	1.5
無回答	98	16.7
合計	588	100

## 問15-3 家庭

(MA:3)

	件数	%
基本的な生活習慣を身に付けること	381	64.8
生涯にわたって学ぶべき必要な基礎学力を身に付けること	11	1.9
豊かな感性や情操、創造性を身に付けること	80	13.6
人間関係を築く力を身に付けること	41	7.0
自ら考える力、科学する心や探究力、表現力、自ら課題を解決する能力等を身に付けること	9	1.5
他人への思いやりの心をもつこと	245	41.7
困難にくじけない忍耐力を身に付けること	34	5.8
善悪を判断して行動する力を身に付けること	189	32.1
社会のために尽くす態度を身に付けること	30	5.1
ふるさとへの理解を深め、誇りや愛着を深めること	12	2.0
命を大切にする心をもつこと	209	35.5
情報を取捨選択し活用する力を身に付けること	4	0.7
積極的に物事に取り組む姿勢を身に付けること	19	3.2
興味や関心、適性に応じ、自らの進路を選択する力を身に付けること	13	2.2
健康保持や体力づくりの習慣を身に付けること	51	8.7
物やエネルギーを大切にする心をもつこと	38	6.5
無回答	114	19.4
合計	588	100

## 問15-4 地域

(MA:3)

	件数	%
基本的な生活習慣を身に付けること	23	3.9
生涯にわたって学ぶべき必要な基礎学力を身に付けること	11	1.9
豊かな感性や情操、創造性を身に付けること	42	7.1
人間関係を築く力を身に付けること	261	44.4
自ら考える力、科学する心や探究力、表現力、自ら課題を解決する能力等を身に付けること	12	2.0
他人への思いやりの心をもつこと	158	26.9
困難にくじけない忍耐力を身に付けること	20	3.4
善悪を判断して行動する力を身に付けること	56	9.5
社会のために尽くす態度を身に付けること	272	46.3
ふるさとへの理解を深め、誇りや愛着を深めること	351	59.7
命を大切にする心をもつこと	26	4.4
情報を取捨選択し活用する力を身に付けること	9	1.5
積極的に物事に取り組む姿勢を身に付けること	46	7.8
興味や関心、適性に応じ、自らの進路を選択する力を身に付けること	5	0.9
健康保持や体力づくりの習慣を身に付けること	37	6.3
物やエネルギーを大切にする心をもつこと	46	7.8
無回答	88	15.0
合計	588	100

### 【男女共同参画の推進】

問16 本県で、男女共同参画社会の実現が十分に達成されていないとすれば、その主な要因は何であるとお考えでしょうか。(SA)

	件数	%
家庭において、家事・育児・介護などを女性の役割とする意識があること	170	28.9
職場などにおいて、女性に不利な扱いがなされていること	22	3.7
社会全般に男性優位の考え方や慣行が根強いこと	269	45.7
家庭や地域社会より仕事を重視する意識があること	99	16.8
その他	24	4.1
無回答	4	0.7
合計	588	100

### 【地域の中での協働の推進】

問17 本県で、行政、ボランティア・NPO、企業などが、お互いの特性を活かして社会づくりを進めていくためには、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。(MA:3)

	件数	%
県民のボランティア・NPO活動に対する理解促進	274	46.6
行政のボランティア・NPO活動に対する理解促進	92	15.6
行政やNPOなどの積極的な情報公開・情報提供の推進	170	28.9
NPO・ボランティアの人材養成	210	35.7
NPOの財政、組織基盤の強化	158	26.9
企業が社会貢献活動を進めるための資金や休暇など社内制度の整備	228	38.8
行政とNPOとの積極的な連携・協働の推進	198	33.7
NPOと企業との連携・協働の推進	104	17.7
NPOと自治会・町内会などの地縁型団体との連携・協働の推進	184	31.3
その他	11	1.9
無回答	4	0.7
合計	588	100

### 【国際交流・国際協力】

問18 本県の国際交流・国際協力施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。(MA:3)

	件数	%
情報の提供など県民が主体的に取り組む国際交流・協力活動への支援	227	38.6
海外の友好提携自治体などとの交流・協力事業の推進	163	27.7
海外投資や投資受入れを促進するための環境整備	72	12.2
富山空港への国際線(チャーター便を含む)の誘致	123	20.9
フェリー、コンテナ航路の新設	34	5.8
国際会議など国際的イベントの開催	140	23.8
優れた技術を有するボランティア派遣や、海外研修員・留学生の受入などの促進	231	39.3
海外での日本語教育の支援や日本語教師の派遣	34	5.8
外国語指導助手などの増員や語学教育の充実	165	28.1
各種案内標識への外国語の併記の推進	97	16.5
在住外国人や外国人子弟に対する日本語教育の機会の提供	72	12.2
外国人にも住みやすい多文化共生社会にするための普及啓発	153	26.0
国連機関との連携や北東アジアの自治体組織などを通じた協力活動	27	4.6
日本海学など環日本海地域に関する総合的な調査研究の推進	39	6.6
気候変動・生物多様性・漂着ごみ・黄砂対策等、環日本海地域の国際環境保全対策の推進	80	13.6
その他	13	2.2
無回答	1	0.2
合計	588	100

### 【健康づくり】

問19 本県健康づくり施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。 (MA:2)

	件数	%
がん検診、健康診断等の充実	237	40.3
健康に関する正しい情報・知識の提供や健康相談の充実	212	36.1
地域ぐるみでの健康づくりの実践への支援	137	23.3
健康づくりに関する人材(医師、薬剤師、保健師、栄養士、健康運動指導者等)の育成などの健康づくり環境の整備	192	32.7
歩こう運動やスポーツ・レクリエーション活動の充実のための環境の整備	143	24.3
食育の推進	127	21.6
個人の問題であり、行政が取り組む必要はない	9	1.5
その他	7	1.2
無回答	41	7.0
合計	588	100

### 【スポーツ振興】

問20 本県のスポーツ振興施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。 (MA:3)

	件数	%
総合型地域スポーツクラブを核とした地域スポーツ活動の活性化	257	43.7
各種スポーツ行事・大会・教室の開催(気軽にスポーツに親しめる機会の充実)	235	40.0
スポーツ施設(学校体育施設開放を含む)の利・活用の促進	248	42.2
地域で活躍できるスポーツ指導者やボランティアの育成	231	39.3
学校・家庭・地域が連携した、運動好きな子どもの育成	224	38.1
プロスポーツと連携した、スポーツ活動の推進	111	18.9
スポーツ顕彰制度の充実	9	1.5
スポーツ医・科学トレーニング等による、全国や世界で活躍できるトップアスリートの育成	123	20.9
全国的・国際的スポーツ大会の誘致開催とスポーツ国際交流の推進	99	16.8
全国や世界で活躍するトップアスリートを県民あげて支える応援体制の整備	79	13.4
その他	15	2.6
無回答	2	0.3
合計	588	100

### 【高齢社会対策】

問21 高齢化が進展していく中で、本県の高齢社会対策の施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。 (MA:3)

	件数	%
健康づくり体制の充実・支援	247	42.0
生きがい対策の推進	226	38.4
高齢者の就業機会の拡大	221	37.6
生涯学習環境の充実	102	17.3
在宅福祉・介護サービスの充実	261	44.4
高齢者などにやさしい安全で移動しやすい街づくりの推進	205	34.9
高齢者が安心して暮らせる住宅の整備	59	10.0
老人福祉・介護保険施設等の充実	207	35.2
認知症施策の推進	168	28.6
その他	7	1.2
無回答	0	0.0
合計	588	100

### 【地域交通施策】

問22 本県の鉄道、路面電車、バスなどの地域公共交通に対する施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。 (MA:2)

	件数	%
過度のマイカー利用から公共交通への利用転換の促進(ノーマイカー運動等)	104	17.7
公共交通の利便性や安全性を向上する施策の推進(輸送設備整備支援等)	202	34.4
生活交通路線を維持する施策の推進(生活路線バス運行支援等)	256	43.5
人にやさしい公共交通を確保する施策の推進(低床バスや車両の導入支援等)	48	8.2
環境負荷の低減を図る施策の推進(低公害バス導入支援等)	15	2.6
公共交通ネットワークの利便性向上の取組み(乗継案内、共通ICカードの導入等)	155	26.4
北陸新幹線開業に伴い経営分離された、あいの風とやま鉄道の維持・活性化の取組み	95	16.2
新幹線駅や空港を起点とした広域的な公共交通ネットワークの充実	77	13.1
運転者など交通従事者の人材育成(バス運転者の確保等)	27	4.6
その他	13	2.2
無回答	83	14.1
合計	588	100

### 【環境問題】

問23 本県の環境施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。 (MA:3)

	件数	%
生物多様性が保全され、人と野生生物が共生できる社会を構築すること	135	23.0
水や緑に恵まれた自然とのふれあいの場をもっと増やすこと	181	30.8
低炭素・循環型社会の構築のため、ライフスタイルを見直す(食品ロス・食品廃棄物の削減、節電・省エネ)などの一人ひとりの取組みを推進	286	48.6
水の利活用と自然の水循環との調和を目指すこと	153	26.0
公害防止などの監視体制の強化や環境保全に関する規制の強化	68	11.6
県民、事業者、民間団体、行政等がそれぞれ実施する自主的な環境保全活動(海岸清掃美化活動など)の、連携を促す仕組みづくり	151	25.7
次世代を担う子どもが環境保全について理解を深めること	270	45.9
環境に関する情報を積極的に提供すること	91	15.5
環境問題を解決するため、科学技術の発展に力を入れること	71	12.1
環境負荷の小さいエネルギー源(小水力、太陽光、地熱、廃棄物発電等)の利用を増やすこと	249	42.3
その他	9	1.5
無回答	0	0.0
合計	588	100

## 【防災対策】

問24 本県の防災対策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。 (MA:3)

	件数	%
防災拠点機能の強化	189	32.1
災害情報伝達機能の強化	311	52.9
災害に備えた避難場所の整備や物資の確保	320	54.4
災害時要配慮者(高齢者、障害者等)対策の充実	185	31.5
津波対策の充実	30	5.1
原子力災害対策の充実	60	10.2
火山防災対策の充実	25	4.3
災害医療体制の充実	122	20.7
公共土木施設や農業水利施設、学校等の地震対策の充実	81	13.8
木造住宅の耐震化の促進	68	11.6
新聞やテレビ等による県民の防災意識の高揚、防災教育の充実	108	18.4
防災訓練等を通じた県民の災害時の対応力向上	183	31.1
その他	12	2.0
無回答	0	0.0
合計	588	100

## 【安全なまちづくり】

問25 県民の治安に対する関心は高まっておりますが、本県の安全なまちづくりへの施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。 (MA:3)

	件数	%
凶悪事件やグローバル化する犯罪、組織犯罪対策の推進	197	33.5
身近で発生する犯罪の予防と検挙活動の強化	244	41.5
子どもや女性を犯罪被害から守る対策の推進	256	43.5
高齢者を交通事故や犯罪被害から守る対策の推進	260	44.2
非行少年の補導や少年犯罪の検挙活動の強化	54	9.2
交番相談員の配置など交番体制の強化	80	13.6
警察官のパトロール活動など街頭活動の強化	164	27.9
地域住民による自主防犯活動体制の強化	154	26.2
犯罪被害者等の支援活動の充実強化	48	8.2
重大交通事故に直結する悪質な違反取締りの強化	84	14.3
国際テロやサイバー攻撃対策の推進	72	12.2
科学捜査資機材の高度化などによる捜査力の強化	49	8.3
その他	9	1.5
無回答	0	0.0
合計	588	100

【重点施策（人づくり）】

問26 現行計画において、目指すべき将来像の実現に当たっては、各分野を支え牽引する人材の存在が極めて重要となることから、「人づくり」を「活力」、「未来」、「安心」を支える重要施策として位置づけています。本県の目指す「人づくり」を進めるにあたっては、特にどのような施策が重要だとお考えですか。 (MA:3)

	件数	%
優れた知性、豊かな心、たくましい体を持った子どもの育成	207	35.2
変化する社会に果敢にチャレンジし、困難にくじけない子どもの育成	238	40.5
ふるさとに誇りと愛着を持ち、家族や地域の絆を大切にする子どもの育成	286	48.6
若者がたくましく成長するための支援	54	9.2
若者の職業的自立の支援	106	18.0
若者の社会の一員としての自立の促進	122	20.7
経済・産業の発展を支える働き盛りの人々が能力を発揮できる環境づくり	148	25.2
コミュニティを支え、地域活性化の中心となる人材が育つ環境づくり	162	27.6
女性の意欲と能力が活かされる環境づくり	134	22.8
元気な高齢者の就業・起業支援	86	14.6
高齢者の地域貢献活動の支援	89	15.1
高齢者の知識や経験、技能の継承	94	16.0
無回答	0	0.0
合計	588	100

【財政の健全化】

問27 地方財政は、国の「経済財政運営と改革の基本方針(H28.6閣議決定)」に基づき、引き続き地方交付税の削減が懸念される一方、高齢化等に伴い社会保障関係費その他の義務的経費が増加を続けるなど、極めて厳しい状況にあります。本県の財政健全化について、あなたはどのようにお考えですか。 (SA)

	件数	%
住民生活に必要な標準的なサービスの提供にとどまってもやむを得ない(県独自の医療費助成や少人数教育などのサービスは縮減してもやむを得ない)	69	11.7
現在のサービス水準を維持していくため、ある程度の負担増もやむを得ない(施設の利用率のアップ、地方消費税の引上げや地方環境税などの導入も検討する必要がある)	211	35.9
地方財政の赤字が生じていても、サービス水準を低下させるようなことは行うべきではない	33	5.6
民間委託や市町村への権限移譲を進めるなど、行政と民間、県と市町村の役割分担を見直し、県が行う事務事業を縮減すべきである	251	42.7
その他	19	3.2
無回答	5	0.9
合計	588	100

## 【行財政改革】

問28 本県では平成16年4月以降、一般行政部門の職員数を22.4%削減してきました。また、平成26年4月からの5年間でさらに同職員数を5%削減、その上で県政の重要施策や新たな行政需要に対応が必要な部門には2%の範囲内で必要な人員を措置し、純減としては3%以上の削減を目指すなど、さらなる徹底した行財政改革に取り組んでいますが、どのようなことをより優先すべきだとお考えですか。 (MA:3)

	件数	%
県庁の本庁(部局室課)や出先機関の組織の簡素化、事務事業の見直し、民間委託の推進等により、職員数を抑制・削減する	260	44.2
早期勤奨退職制度の活用、時間外勤務の縮減、給与制度の見直しなどにより人件費を抑制・削減する	78	13.3
職員の資質向上、意識改革や政策形成能力を高める人材づくりを行う	267	45.4
限られた人員・予算を有効に活用するため、事務事業の廃止・縮小を行う	176	29.9
ボランティア、NPO、企業等の多様な担い手による公共サービスの提供を推進する	125	21.3
県の外郭団体の統廃合、業務執行の効率化を進める	245	41.7
公共施設の長寿命化等を図るとともに、国や市町村、民間等との役割分担による施設のあり方の検討を進める	117	19.9
県民の意見をもっと県政に反映できるような体制づくりを行う	67	11.4
インターネット、マスメディア等の活用などにより、広報の充実や行政情報の提供を進める	39	6.6
庁内LANなどを活用して事務の簡素化や情報の共有化を図る	70	11.9
行政手続の添付資料を減らしたり、許認可権限の見直しなど規制緩和を行う	170	28.9
窓口業務の改善や施設の開館時間の延長など行政サービスの向上を図る	56	9.5
その他	11	1.9
無回答	2	0.3
合計	588	100

## 【広域連携の推進】

問29 本県が広域的な連携による地域づくりを行うためには、今後10年間を通して、特にどのような連携を重視していくべきとお考えですか。 (MA:3)

	件数	%
北陸三県(石川、福井)の連携を強化していく	217	36.9
北陸四県(石川、福井、新潟)の連携を強化していく	210	35.7
飛騨、能登地域との連携を強化していく	159	27.0
北アルプスを巡る岐阜、長野、新潟などで連携していく	136	23.1
日本の中央に位置する中部圏の各自治体と連携していく	194	33.0
日本海側の自治体と連携していく	82	13.9
本県とゆかりのある自治体などと幅広く連携していく	117	19.9
農山村と大都市圏などとの交流を活発にする	154	26.2
中国、韓国、ロシア沿海地方など環日本海地域との交流を活発化させる	171	29.1
東南アジア、インドなどアジア地域との交流を活発化させる	165	28.1
その他	10	1.7
無回答	1	0.2
合計	588	100



使用した調査票



平成29年1月

各 位

調査主体 富山県知事政策局  
 (調査受託者 (一財) 北陸経済研究所)

## 総合計画の策定にあたっての 「有識者アンケート調査」へのご協力について (お願い)

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より県政の発展に何かとご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

富山県では、平成38年度を目標年次とする総合計画の見直しに取り組んでいるところです。

この調査はその一環として、県内外の各分野でご活躍され、日頃富山県の発展のため、ご支援・ご協力いただいております方々(本県の各審議会・協議会委員にご就任の方々、各団体の事務局長の皆様など)に、新たな総合計画の策定にあたってご意見を賜りたく実施するものです。

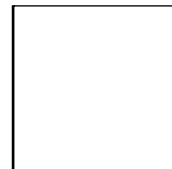
なにとぞ調査の趣旨をご理解賜り、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

### 調査にあたって

- ご回答いただきました調査票は、計画策定の参考資料としてのみ使用されるものであり、それ以外に使用されることは、絶対にありません。  
 なお、調査の集計・分析は、富山県から委託された、一般財団法人北陸経済研究所で行ったうえで、その結果が富山県へ提出されることとなりますので、ご了承ください。
- この調査では、個人としてのご意見を伺いたいと考えております。ご回答は、選択肢のうち、ご自身の意見に最も近いと思われる番号を選んで○を付けてください。また、自由記述欄を設けていますので、自由なご意見やご提言もお書きいただければ幸いです。
- ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて 1月20日(金)までに、富山県知事政策局あてにご返送ください。
- 本アンケートはインターネットでも回答が可能です。下記 URL にアクセスし、回答番号と、パスワードを入力して下さい。回答は1回限りです。右のQRコードからもアクセス可能です。

<https://enquete.cc/q/yushikisya>

パスワード



- 調査の集計結果については、富山県総合計画審議会やその部会に報告するとともに、ホームページ (<http://www.pref.toyama.jp/>) でも公開させていただく予定としておりますので、よろしくお願い申し上げます。(平成29年春頃予定)

### 【調査実施主体】

富山県知事政策局 担当 竹部  
 電話 076-444-9609 FAX 076-444-3473

### 【お問い合わせ先】

一般財団法人北陸経済研究所 担当 小谷  
 〒930-8507 富山市丸の内1丁目8番10号  
 電話 076-433-1134 FAX 076-433-1164

## 総合計画の見直しにかかる有識者アンケート

### 【10年後のイメージ】

問1 10年後の県民生活はどのようになるとお考えですか。次のそれぞれの項目について、あなたのお考えに近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
1 北陸新幹線や富山きときと空港、伏木富山港の機能の充実に伴い、国内外からビジネスや観光などで、人、モノが活発に行き来するなど県内経済が活性化している	1	2	3	4	5
2 安心して働ける職場が確保されている	1	2	3	4	5
3 女性・高齢者・障害者などが、自分にあった働き方を選択できる環境が整っている	1	2	3	4	5
4 環日本海地域の拠点として、県内企業と海外企業との取引や交流が活発となり、多くの県内企業が海外に販路を持っている	1	2	3	4	5
5 情報通信技術の活用により、生活関連情報や行政・災害関連情報などがいつでもどこでもだれでも入手し利用できるようになっている	1	2	3	4	5
6 仕事と子育てが両立しやすいなど、安心して子どもを生み育てることができる社会となり、少子化に歯止めがかかっている	1	2	3	4	5
7 基礎的な学力を身につける教育に加え、子どもの個性・創造性を伸ばす教育が行われている	1	2	3	4	5
8 学術研究や科学技術、スポーツ、文化等の分野で国内外で活躍する人が増えている	1	2	3	4	5
9 音楽会や演劇、美術展など、様々な文化を楽しむ機会が増えている	1	2	3	4	5
10 地域づくりや福祉、生涯学習、国際交流・協力などのボランティア、NPO（民間非営利組織）などの活動が盛んになっている	1	2	3	4	5
11 医療・介護サービスの充実や年金の支給などにより、安定した老後の生活を送ることができる	1	2	3	4	5
12 高齢者、障害者をはじめ誰もが住み慣れた地域で自立して生活できる社会が実現している	1	2	3	4	5
13 環境に対する意識が高まり、環境にやさしいライフスタイルが定着している	1	2	3	4	5
14 犯罪や消費者被害が減り、安心して暮らせる社会となっている	1	2	3	4	5
15 その他（ <span style="float: right;">）</span>					

【富山の魅力】

問2 富山ならではの魅力の形成として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

1	様々な働く場所があり、所得水準が高いこと
2	環日本海・アジア地域の交流拠点として、活発な活動を展開していること
3	サービス産業等も含めた都市集積がみられること
4	新鮮、良質、安全な食材が地元から供給される豊かな食生活ができること
5	地域公共交通の利便性が充実していること
6	空間的にゆとりがあり、質の高い住宅が確保しやすいこと
7	公園、上・下水道など生活環境基盤が充実していること
8	恵まれた教育環境のもとで、子どもが伸び伸びと育ち、個性が生かされること
9	様々な教養を身に付けたり、学ぶ機会が多いこと
10	自然と共生し、豊かな緑や水辺と身近にふれあう暮らしができること
11	富山ならではの自然や文化を体験できる場が多いこと
12	富山固有の文化に容易にふれ、参加できること
13	高齢者や障害者など、社会的弱者の人たちに対するきめ細かな福祉サービスが行き届いていること
14	保健・医療・福祉が充実しており、健康に暮らせること
15	犯罪や交通事故が少なく、自然災害の不安が少ないこと
16	その他 ( )

【県土づくり】

問3 本県の県土づくり（社会資本整備）施策として、今後10年間を通して、どのような成果を重視して整備を進めるべきとお考えですか。

次の中から、あなたの考えに近いものを3つ選んで○をつけてください。

1	国内外の交流の活発化（新幹線・空港・港湾施設整備・観光インフラ）
2	国際的な競争力の確保（産業の集積、産業支援機関の設備等）
3	災害に対する安全性の確保（公共施設の耐震化、長寿命化等）
4	生活の快適性、利便性の向上（道路ネットワークの整備等）
5	美しい街並みや景観の形成（無電柱化等）
6	高齢社会への対応（バリアフリー化等）
7	少子化、子育て支援への対応(保育サービスの充実等)
8	人と自然との共生（自然環境の保全等）
9	低炭素社会の構築（省エネ・再生可能エネルギーへの転換）
10	人口減少への対応・地域の自立、活性化（県立大学の整備等）
11	循環型社会の構築（廃棄物の適正処理等）
12	地域公共交通の充実
13	その他（ <span style="float: right;">）</span>

【重点施策】

問4 本県が、今後10年間を通して、特に重点的に推進していくことが求められる施策は何だとお考えですか。現行計画「新・元気とやま創造計画」の柱として掲げる各施策について、あなたのお考えに近いものを選んでください。

《活力》について、3つまで選んで○をつけてください。

1 新たな成長産業の育成	12 水産業の振興
2 未来を拓く起業チャレンジへの支援	13 北陸新幹線の整備促進と新幹線駅を核とした交流拠点づくり
3 産学官連携によるものづくり産業の高度化	14 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成
4 企業立地の促進	15 利便性の高い道路ネットワークの整備
5 中小企業の振興	16 情報通信基盤の充実と活用
6 デザインの振興と活用	17 快適で活力ある魅力的なまちづくり
7 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	18 中心市街地の賑わいの創出
8 雇用の確保と人材の育成	19 選ばれ続ける観光地づくり
9 環日本海・アジアなど国際ビジネス展開の促進	20 国際観光の推進
10 農業生産の振興	21 富山のブランド力アップ
11 森林の整備と林業の振興	

《未来》について、3つまで選んで○をつけてください。

1 家庭・地域・職場における子育て支援	11 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮
2 学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援	12 元気な高齢者の活躍の場の拡大
3 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	13 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成
4 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	14 グローバル社会における地域づくり・人づくり
5 大学教育・学術研究・科学技術の振興	15 交流人口の拡大、定住・半定住の促進
6 生涯をとおした学びの推進	16 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見
7 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	17 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり
8 芸術文化の振興	18 農山漁村の活性化
9 多様な主体による社会貢献活動の推進	19 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり
10 若者の自立促進とチャレンジ支援	

《安心》について、3つまで選んで○をつけてください。

1	地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	11	水資源の保全と活用
2	医療提供体制の充実	12	多様化・効率化を通じたエネルギー需給の安定確保
3	健康づくりと疾病対策の推進	13	生活交通の確保
4	高齢者福祉の充実	14	住環境の向上
5	障害者福祉の充実	15	雪に強いまちづくり
6	食の安全確保と地産地消・食育の推進	16	県土保全の推進
7	スポーツの振興	17	防災・危機管理体制の充実
8	循環型社会と低炭素社会づくりの推進	18	地震防災対策の充実
9	自然環境の保全	19	防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり
10	生活環境の保全	20	消費生活の安全の確保

《行財政改革の推進》について、1つ選んで○をつけてください。

1	オープンで分かりやすい県政	4	民間の知恵・創意工夫の活用
2	現場重視で効率的な県政	5	市町村、地域の自立と支援
3	スピード重視の県政	6	「とやまから日本を変える」改革と創造

《人づくり》について、2つ選んで○をつけてください。

1	将来を担う子どもの基礎づくり	4	女性の意欲と能力が活かされる環境づくり
2	若者の成長と自立、社会参加・社会貢献の促進	5	高齢者の活躍の場の拡大
3	働き盛りの人々が能力を発揮できる環境づくり		



【新規成長産業】

問5 成長が期待される産業分野について、本県として、今後10年間を通して、どのような分野に力をいれて取り組むべきだとお考えですか。

次のそれぞれの分野について、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

	重点的に力をいれていくべき	力を入れていくべき	力を入れる必要はない	わからない
1 IoT <sup>(注1)</sup> 、ビッグデータ、AI（人工知能） <sup>(注2)</sup>	1	2	3	4
2 医療・バイオテクノロジー（抗体医薬品、核酸医薬品等）	1	2	3	4
3 ロボット（生産性向上、社会インフラ、メンテナンス、農作業省力化等）	1	2	3	4
4 観光（国際観光、広域観光）	1	2	3	4
5 健康・福祉（医薬工連携、介護福祉機器、スポーツ等）	1	2	3	4
6 環境（廃棄物処理、リサイクル関連、環境関連装置等）	1	2	3	4
7 エネルギー（再生可能エネルギー、次世代自動車、水素エネルギー等）	1	2	3	4
8 新製造技術（デジタルものづくり、高機能素材等）	1	2	3	4
9 航空・宇宙産業	1	2	3	4
10 クリエイティブ産業（デザイン、アニメ、映画、ゲーム等）	1	2	3	4
11 食・ファッション	1	2	3	4
12 住宅（住宅リフォーム、住宅設備関連機器、輸入住宅、新建材等）	1	2	3	4
13 ビジネス支援（事務代行等アウトソーシング、イベント企画等）	1	2	3	4
14 その他（ ）				

(注1) IoT: Internet of Things の略で、「モノのインターネット」と呼ばれる。自動車、家電、ロボット、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出すもの。

(注2) AI: Artificial Intelligence の略で、人工知能のこと。

**【新産業の創出】**

問6 本県の新技術・新産業の創出の施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。

次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

1	企業、大学、試験研究機関等の連携による研究開発の促進
2	企業の研究開発活動に対する支援・指導強化
3	県内企業同士の連携による新技術・新商品の開発
4	研究成果を実用化に結び付けるための支援組織の整備
5	県外・海外企業との連携による販路開拓の支援
6	国や県外企業等の研究機関の誘致
7	交通・情報・通信インフラの整備
8	ベンチャー企業の育成・支援強化
9	技術情報などの情報提供機能の充実
10	科学技術の発展を担う研究者や技術者の育成
11	青少年の科学技術への関心醸成
12	その他（ ）

**【商業・サービス業施策】**

問7 本県の商業・サービス業施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

1	コミュニティビジネス <sup>(注)</sup> の支援（子育て支援、買い物支援サービス、地域おこしなど）
2	健康産業等のサービス業の振興
3	市街地再開発の推進
4	魅力ある商店街づくり（消費者のニーズに合致した豊富な品揃えなど）及び賑わいの創出
5	中心市街地での公共施設等の整備
6	交通・IT等のインフラ整備
7	大型店の出店抑制
8	効率的な流通・物流システムの整備
9	公共サービスの民間への移行促進
10	人材育成の支援
11	小規模事業者の経営改善に対する個別相談・指導等の促進
12	新規創業の支援
13	インターネットを活用した商業・サービス業の振興
14	その他（ ）

(注) コミュニティビジネス：地域住民が主体となって、地域の課題を地域資源を活かしながら、ビジネス的な手法を用いて解決する取組み

【若者の定着】

問8 本県に若者が定着・流入するためには、特にどのようなことが重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

1	大学など高等教育機関の充実
2	スポーツ、娯楽施設、文化施設の整備
3	公園や緑地など快適な環境の整備
4	都会的なセンスとオシャレ感覚を持つ中心市街地の形成
5	催し物やイベントの開催
6	海や山など豊かな自然の活用
7	若者の能力が発揮できる職場の確保
8	仕事と家庭生活、地域活動等が両立できる、ゆとりある職場環境の整備
9	結婚、出産、子育てのための環境整備
10	家庭や地域における連帯感の高揚
11	古い因習や地域のしがらみからの解放
12	県の中心都市へ高次な都市機能を集積する
13	各広域圏の中心都市において、それぞれ不十分な機能を強化し、全体として総合的な機能を強化する
14	各市町村ごとにそれぞれ得意分野の機能を強化し、独自性のある都市化を図る
15	高速交通網の整備による大都市との時間距離の短縮
16	地域公共交通の利便性向上
17	その他（ <span style="float: right;">）</span>

【観光産業施策】

問9 本県の観光が振興するためには、今後10年間を通して特にどのようなことが重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを4つまで選んで○をつけてください。

1	観光マーケティング等に基づく官民一体となった戦略的な観光地域づくりの促進
2	多様化する観光ニーズに対応できる人材や地域の観光を担う人材の育成
3	外国人旅行者等にも対応した一定のグレードの宿泊施設の整備
4	観光産業と他産業の連携による地域内での経済循環の促進
5	観光の担い手としての事業者や県民の意識醸成
6	新幹線駅など交通結節点における広域観光の拠点整備（旅行者向けサービスのワンストップ化など）
7	新幹線駅・空港等と観光地を結ぶ二次交通の整備や利便性の向上
8	世界水準の観光資源「世界遺産五箇山」「立山黒部」「富山湾」の高付加価値化
9	食や伝統文化、工芸品等の観光資源の発掘や磨き上げ、観光商品化
10	産業観光、ロケ地めぐり、グリーンツーリズム <sup>(注)</sup> 等多様なツーリズムの推進
11	美術館・博物館等の一層の魅力向上と質の高い文化芸術を楽しむ企画の観光商品化
12	温泉・食・文化等を活かした冬季の魅力創出による通年観光の促進
13	世界水準の観光地や上質なライフスタイルのブランド化や、マーケティングに基づく効果的な情報発信
14	交通事業者や旅行会社、近隣自治体等と連携したプロモーション
15	外国人観光客の誘致など国際観光の推進
16	広域観光周遊ルートの形成促進
17	外国人個人旅行者（FIT）に対応した受入態勢の整備・充実
18	会議、大会などのコンベンションの誘致
19	その他（ ）

（注）グリーンツーリズム：農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動

**【農林水産業施策】**

問10 本県の農林水産業施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを4つまで選んで○をつけてください。

1	地産地消の推進や食生活の改善など、食育の推進
2	高品質で美味しい「売れる富山米」の生産体制の整備
3	野菜、果樹などの園芸作物の生産拡大の促進
4	安全で安心な畜産物の生産の促進
5	県産農林水産物のブランド力の向上（とやまブランドの育成・確立）
6	6次産業化や農商工連携による収益性の向上
7	県産農林水産物の流通・販売の促進
8	将来の農林水産業を支える担い手の育成確保
9	化学肥料や農薬の使用量の低減など、環境にやさしい農業の推進
10	農林水産業技術の研究開発と普及指導の充実
11	鳥獣被害の防止や耕作放棄地の解消などによる優良農地の確保
12	競争力ある農業の実現に向けた農地の大区画化や汎用化など農業生産基盤の整備
13	県産木材の安定供給と利用の促進
14	新鮮で安全な水産物の供給基盤としての漁港の整備
15	栽培漁業の振興と漁場環境の保全
16	県産農林水産物の海外への販路開拓
17	その他（ ）

**【農山漁村の課題】**

問11 本県の住みよい農山漁村をつくるための施策として、今後10年間を通して、基盤となる農林水産業の発展のほか、特にどのようなことが重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

1	伝統文化や地域文化を活かした地域づくりへの支援
2	農業者と地域住民が一体となり農業用排水路等を管理する体制づくりの推進
3	県民参加による森づくりの推進
4	自然環境や農山漁村景観を保全する活動への支援
5	都市との交流促進などによる地域おこしを担う人材の育成・確保
6	都市住民との交流促進のためのイベント開催や情報の発信
7	農林水産業や豊かな自然を学習、体験できる機会の提供
8	農村地域や県民生活の安全を守る防災対策の推進とため池などの安全施設の整備
9	農村の生活環境の整備
10	特産物や伝統技術、自然環境などの地域資源を活用した産業の振興
11	その他（ ）

【情報化】

問 1 2 地域社会や県民の生活における情報通信技術に対するあなたの期待度はそれぞれの程度ですか。  
 次のそれぞれの項目について、あなたのお考えに近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

	非常に期待している	ある程度期待している	期待度は普通である	あまり期待していない	期待していない
1 情報ネットワークによる遠隔高度医療・在宅医療	1	2	3	4	5
2 情報ネットワークによる在宅学習	1	2	3	4	5
3 情報ネットワークによる学校教育の高度化	1	2	3	4	5
4 情報ネットワークによる防災・緊急情報提供	1	2	3	4	5
5 情報ネットワークによる食や地域における安全情報の提供	1	2	3	4	5
6 情報ネットワークによる生活情報や地域のイベント・催事情報の提供	1	2	3	4	5
7 情報ネットワークによる観光情報の提供	1	2	3	4	5
8 情報ネットワークによる在宅での行政手続（電子申請等）	1	2	3	4	5
9 テレビ電話・会議等による遠隔地居住者との対話	1	2	3	4	5
10 高度情報化による AI <sup>(注1)</sup> 、IoT <sup>(注2)</sup> 等新産業の創出	1	2	3	4	5
11 テレワークの普及促進	1	2	3	4	5
12 障害者や高齢者などに対する情報面のバリアフリー化	1	2	3	4	5
13 光ファイバー網などの超高速で通信できるネットワーク環境の整備	1	2	3	4	5
14 個人情報の保護や情報セキュリティの確保	1	2	3	4	5
15 フリーWi-Fi（無料公衆無線LAN）の普及	1	2	3	4	5
16 マイナンバーカードの利活用による利便性の向上	1	2	3	4	5
17 オープンデータによる情報の提供	1	2	3	4	5
18 その他（ ）					

(注1) AI: Artificial Intelligence の略で、人工知能のこと。

(注2) IoT: Internet of Things の略で、「モノのインターネット」と呼ばれる。自動車、家電、ロボット、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出すもの。

【少子化対策】

問 1 3 行政（国・県・市町村）が少子化対策に取り組むにあたって、今後 10 年間を通して、どのようなことが重要だとお考えですか。

次の中からあなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

1	労働時間短縮や育児休業制度、再就職支援の充実など、仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備
2	延長保育や一時保育などの多様な保育サービスの充実
3	出産や子育てに関する相談体制の充実
4	保育料・授業料などの子育てにかかる経済的負担の軽減
5	子ども手当など、経済的支援の拡充
6	学校や地域、企業等における、少子化問題や、子育ての楽しさ、大切さに関する教育や啓発、若い世代へのライフプラン教育の推進
7	若者の経済的自立を促進する職業教育や就労支援
8	若者の定着や流入を促進するための施策の充実
9	結婚を希望する男女の出会いの場の提供など結婚支援の充実
10	個人の問題であり、行政が取り組む必要はない
11	その他（ ）

【児童の健全育成】

問 1 4 子どもや家庭をめぐる様々な問題が生じていますが、家庭や地域で子どもの健全な育成を図るため、今後 10 年間を通して、どのようなことが必要だとお考えですか。

次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

1	子ども同士で遊ぶ機会や自然とのふれあいの機会の確保
2	子どもが安心して遊べる場所や施設の確保
3	子どもの自立心を育む教育の推進
4	子どもや親が地域で行われる多様な活動へ参加する機会の確保
5	親子がふれあえる時間の確保
6	子どもを持つ親同士が交流する機会の確保
7	児童健全育成活動の推進にあたる指導者の確保
8	補導活動等の少年非行対策
9	子どもたちを取り巻く有害な社会環境の浄化
10	子育てに関する知識の提供や悩みなどに対する相談援助の体制整備
11	企業における家庭教育講座など働く親が子育てを学ぶ機会の充実
12	その他（ ）

【学校・家庭・地域での教育】

問15 学校や家庭、地域では、どのようなことを身に付けることが必要だとお考えですか。あなたのお考えに近いものを、義務教育、高校教育、家庭、地域ごとに、1から16の中でそれぞれ3つまで選んで○をつけてください。

	義務教育	高校教育	家庭	地域
	↓	↓	↓	↓
1 基本的な生活習慣を身に付けること	1	1	1	1
2 生涯にわたって学ぶべき必要な基礎学力を身に付けること	2	2	2	2
3 豊かな感性や情操、創造性を身に付けること	3	3	3	3
4 人間関係を築く力を身に付けること	4	4	4	4
5 自ら考える力、科学する心や探究力、表現力、自ら課題を解決する能力等を身に付けること	5	5	5	5
6 他人への思いやりの心をもつこと	6	6	6	6
7 困難にくじけない忍耐力を身に付けること	7	7	7	7
8 善悪を判断して行動する力を身に付けること	8	8	8	8
9 社会のために尽くす態度を身に付けること	9	9	9	9
10 ふるさとへの理解を深め、誇りや愛着を深めること	10	10	10	10
11 命を大切にすることをもちこと	11	11	11	11
12 情報を取捨選択し活用する力を身に付けること	12	12	12	12
13 積極的に物事に取り組む姿勢を身に付けること	13	13	13	13
14 興味や関心、適性に応じ、自らの進路を選択する力を身に付けること	14	14	14	14
15 健康保持や体力づくりの習慣を身に付けること	15	15	15	15
16 物やエネルギーを大切にすることをもちこと	16	16	16	16



**【男女共同参画の推進】**

問16 本県で、男女共同参画社会の実現が十分に達成されていないとすれば、その主な要因は何であるとお考えでしょうか。

次の中からあなたのお考えに最も近いものを1つ選んで○をつけてください。

1	家庭において、家事・育児・介護などを女性の役割とする意識があること
2	職場などにおいて、女性に不利な扱いがなされていること
3	社会全般に男性優位の考え方や慣行が根強いこと
4	家庭や地域社会より仕事を重視する意識があること
5	その他 ( )

**【地域の中での協働の推進】**

問17 本県で、行政、ボランティア・NPO、企業などが、お互いの特性を活かして社会づくりを進めていくためには、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。

次の中からあなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

1	県民のボランティア・NPO活動に対する理解促進
2	行政のボランティア・NPO活動に対する理解促進
3	行政やNPOなどの積極的な情報公開・情報提供の推進
4	NPO・ボランティアの人材養成
5	NPOの財政、組織基盤の強化
6	企業が社会貢献活動を進めるための資金や休暇など社内制度の整備
7	行政とNPOとの積極的な連携・協働の推進
8	NPOと企業との連携・協働の推進
9	NPOと自治会・町内会などの地縁型団体との連携・協働の推進
10	その他 ( )

【国際交流・国際協力】

問 18 本県の国際交流・国際協力施策として、今後 10 年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

1	情報の提供など県民が主体的に取り組む国際交流・協力活動への支援
2	海外の友好提携自治体などとの交流・協力事業の推進
3	海外投資や投資受入れを促進するための環境整備
4	富山空港への国際線（チャーター便を含む）の誘致
5	フェリー、コンテナ航路の新設
6	国際会議など国際的イベントの開催
7	優れた技術を有するボランティア派遣や、海外研修員・留学生の受入などの促進
8	海外での日本語教育の支援や日本語教師の派遣
9	外国語指導助手などの増員や語学教育の充実
10	各種案内標識への外国語の併記の推進
11	在住外国人や外国人子弟に対する日本語教育の機会の提供
12	外国人にも住みやすい多文化共生社会にするための普及啓発
13	国連機関との連携や北東アジアの自治体組織などを通じた協力活動
14	日本海学など環日本海地域に関する総合的な調査研究の推進
15	気候変動・生物多様性・漂着ごみ・黄砂対策等、環日本海地域の国際環境保全対策の推進
16	その他（ <span style="float: right;">）</span>

【健康づくり】

問19 本県の健康づくり施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを2つまで選んで○をつけてください。

1	がん検診、健康診断等の充実
2	健康に関する正しい情報・知識の提供や健康相談の充実
3	地域ぐるみでの健康づくりの実践への支援
4	健康づくりに関する人材（医師、薬剤師、保健師、栄養士、健康運動指導者等）の育成などの健康づくり環境の整備
5	歩こう運動やスポーツ・レクリエーション活動の充実のための環境の整備
6	食育の推進
7	個人の問題であり、行政が取り組む必要はない
8	その他（ ）

【スポーツ振興】

問20 本県のスポーツ振興施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

1	総合型地域スポーツクラブ <sup>(注)</sup> を核とした地域スポーツ活動の活性化
2	各種スポーツ行事・大会・教室の開催（気軽にスポーツに親しめる機会の充実）
3	スポーツ施設（学校体育施設開放を含む）の利・活用の促進
4	地域で活躍できるスポーツ指導者やボランティアの育成
5	学校・家庭・地域が連携した、運動好きな子どもの育成
6	プロスポーツと連携した、スポーツ活動の推進
7	スポーツ顕彰制度の充実
8	スポーツ医・科学トレーニング等による、全国や世界で活躍できるトップアスリートの育成
9	全国的・国際的スポーツ大会の誘致開催とスポーツ国際交流の推進
10	全国や世界で活躍するトップアスリートを県民あげて支える応援体制の整備
11	その他（ ）

（注）総合型地域スポーツクラブ：地域住民が主体的に運営するクラブで、複数の種目が用意されており、地域の誰もが、年齢、興味、関心、技術、技能レベルなどに応じて参加できるスポーツクラブ

**【高齢社会対策】**

問 2 1 高齢化が進展していく中で、本県の高齢社会対策の施策として、今後 10 年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。

次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

1	健康づくり体制の充実・支援
2	生きがい対策の推進
3	高齢者の就業機会の拡大
4	生涯学習環境の充実
5	在宅福祉・介護サービスの充実
6	高齢者などにやさしい安全で移動しやすい街づくりの推進
7	高齢者が安心して暮らせる住宅の整備
8	老人福祉・介護保険施設等の充実
9	認知症施策の推進
10	その他 ( )

**【地域交通施策】**

問 2 2 本県の鉄道、路面電車、バスなどの地域公共交通に対する施策として、今後 10 年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。

次の中から、あなたのお考えに近いものを2つ選んで○をつけてください。

1	過度のマイカー利用から公共交通への利用転換の促進（ノーマイカー運動等）
2	公共交通の利便性や安全性を向上する施策の推進（輸送設備整備支援等）
3	生活交通路線を維持する施策の推進（生活路線バス運行支援等）
4	人にやさしい公共交通を確保する施策の推進（低床バスや車輛の導入支援等）
5	環境負荷の低減を図る施策の推進（低公害バス導入支援等）
6	公共交通ネットワークの利便性向上の取組み（乗継案内、共通 IC カードの導入等）
7	北陸新幹線開業に伴い経営分離された、あいの風とやま鉄道の維持・活性化の取組み
8	新幹線駅や空港を起点とした広域的な公共交通ネットワークの充実
9	運転者など交通従事者の人材育成（バス運転者の確保等）
10	その他 ( )

**【環境問題】**

問23 本県の環境施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。次の中からあなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

1	生物多様性が保全され、人と野生生物が共生できる社会を構築すること
2	水や緑に恵まれた自然とのふれあいの場をもっと増やすこと
3	低炭素・循環型社会の構築のため、ライフスタイルを見直す（食品ロス・食品廃棄物の削減、節電・省エネ）などの一人ひとりの取組みを推進
4	水の利活用と自然の水循環との調和を目指すこと
5	公害防止などの監視体制の強化や環境保全に関する規制の強化
6	県民、事業者、民間団体、行政等がそれぞれ実施する自主的な環境保全活動（海岸清掃美化活動など）の、連携を促す仕組みづくり
7	次世代を担う子どもが環境保全について理解を深めること
8	環境に関する情報を積極的に提供すること
9	環境問題を解決するため、科学技術の発展に力を入れること
10	環境負荷の小さいエネルギー源（小水力、太陽光、地熱、廃棄物発電等）の利用を増やすこと
11	その他（ <input type="text"/> ）

**【防災対策】**

問24 本県の防災対策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。次の中からあなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

1	防災拠点機能の強化
2	災害情報伝達機能の強化
3	災害に備えた避難場所の整備や物資の確保
4	災害時要配慮者（高齢者、障害者等）対策の充実
5	津波対策の充実
6	原子力災害対策の充実
7	火山防災対策の充実
8	災害医療体制の充実
9	公共土木施設や農業水利施設、学校等の地震対策の充実
10	木造住宅の耐震化の促進
11	新聞やテレビ等による県民の防災意識の高揚、防災教育の充実
12	防災訓練等を通じた県民の災害時の対応力向上
13	その他（ <input type="text"/> ）

【安全なまちづくり】

問25 県民の治安に対する関心は高まっておりますが、本県の安全なまちづくりへの施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。

次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

1	凶悪事件やグローバル化する犯罪、組織犯罪対策の推進
2	身近で発生する犯罪の予防と検挙活動の強化
3	子どもや女性を犯罪被害から守る対策の推進
4	高齢者を交通事故や犯罪被害から守る対策の推進
5	非行少年の補導や少年犯罪の検挙活動の強化
6	交番相談員の配置など交番体制の強化
7	警察官のパトロール活動など街頭活動の強化
8	地域住民による自主防犯活動体制の強化
9	犯罪被害者等の支援活動の充実強化
10	重大交通事故に直結する悪質な違反取締りの強化
11	国際テロやサイバー攻撃対策の推進
12	科学捜査資機材の高度化などによる捜査力の強化
13	その他（ <input type="text"/> ）

重点施策（人づくり）

問26 現行計画において、目指すべき将来像の実現に当たっては、各分野を支え牽引する人材の存在が極めて重要となることから、「人づくり」を「活力」、「未来」、「安心」を支える重要施策として位置づけています。本県の目指す「人づくり」を進めるにあたっては、特にどのような施策が重要だとお考えですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

1	優れた知性、豊かな心、たくましい体を持った子どもの育成
2	変化する社会に果敢にチャレンジし、困難にくじけない子どもの育成
3	ふるさとに誇りと愛着を持ち、家族や地域の絆を大切にする子どもの育成
4	若者がたくましく成長するための支援
5	若者の職業的自立の支援
6	若者の社会の一員としての自立の促進
7	経済・産業の発展を支える働き盛りの人々が能力を発揮できる環境づくり
8	コミュニティを支え、地域活性化の中心となる人材が育つ環境づくり
9	女性の意欲と能力が活かされる環境づくり
10	元気な高齢者の就業・起業支援
11	高齢者の地域貢献活動の支援
12	高齢者の知識や経験、技能の継承

【財政の健全化】

問27 地方財政は、国の「経済財政運営と改革の基本方針(H28.6閣議決定)」に基づき、引き続き地方交付税の削減が懸念される一方、高齢化等に伴い社会保障関係費その他の義務的経費が増加を続けるなど、極めて厳しい状況にあります。本県の財政健全化について、あなたはどのようにお考えですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

1	住民生活に必要な標準的なサービスの提供にとどまってもやむを得ない(県独自の医療費助成や少人数教育などのサービスは縮減してもやむを得ない)
2	現在のサービス水準を維持していくため、ある程度の負担増もやむを得ない(施設の利用料のアップ、地方消費税の引上げや地方環境税などの導入も検討する必要がある)
3	地方財政の赤字が生じていても、サービス水準を低下させるようなことは行うべきではない
4	民間委託や市町村への権限移譲を進めるなど、行政と民間、県と市町村の役割分担を見直し、県が行う事務事業を縮減すべきである
5	その他 ( )

【行財政改革】

問28 本県では平成16年4月以降、一般行政部門の職員数を22.4%削減してきました。また、平成26年4月からの5年間でさらに同職員数を5%削減、その上で県政の重要施策や新たな行政需要に対応が必要な部門には2%の範囲内で必要な人員を措置し、純減としては3%以上の削減を目指すなど、さらなる徹底した行財政改革に取り組んでいます。どのようなことをより優先すべきだとお考えですか。

次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

1	県庁の本庁(部局室課)や出先機関の組織の簡素化、事務事業の見直し、民間委託の推進等により、職員数を抑制・削減する
2	早期勧奨退職制度の活用、時間外勤務の縮減、給与制度の見直しなどにより人件費を抑制・削減する
3	職員の資質向上、意識改革や政策形成能力を高める人材づくりを行う
4	限られた人員・予算を有効に活用するため、事務事業の廃止・縮小を行う
5	ボランティア、NPO、企業等の多様な担い手による公共サービスの提供を推進する
6	県の外郭団体の統廃合、業務執行の効率化を進める
7	公共施設の長寿命化等を図るとともに、国や市町村、民間等との役割分担による施設のあり方の検討を進める
8	県民の意見をもっと県政に反映できるような体制づくりを行う
9	インターネット、マスメディア等の活用などにより、広報の充実や行政情報の提供を進める
10	庁内LANなどを活用して事務の簡素化や情報の共有化を図る
11	行政手続の添付資料を減らしたり、許認可権限の見直しなど規制緩和を行う
12	窓口業務の改善や施設の開館時間の延長など行政サービスの向上を図る
13	その他 ( )

【広域連携の推進】

問29 本県が広域的な連携による地域づくりを行うためには、今後10年間を通して、特にどのような連携を重視していくべきとお考えですか。

次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

1	北陸三県（石川、福井）の連携を強化していく
2	北陸四県（石川、福井、新潟）の連携を強化していく
3	飛騨、能登地域との連携を強化していく
4	北アルプスを巡る岐阜、長野、新潟などで連携していく
5	日本の中央に位置する中部圏の各自治体と連携していく
6	日本海側の自治体と連携していく
7	本県とゆかりのある自治体などと幅広く連携していく
8	農山村と大都市圏などとの交流を活発にする
9	中国、韓国、ロシア沿海地方など環日本海地域との交流を活発化させる
10	東南アジア、インドなどアジア地域との交流を活発化させる
11	その他（ <input type="text"/> ）



【自由意見欄】

その他、ご意見・ご提言がございましたら、自由にご記入ください。

なお、ご記入の際には、下記の《活力》《未来》《安心》《人づくり》《行財政改革の推進》の各番号からご意見等の内容に対応する番号を選択ください。

《活力》

1	新たな成長産業の育成	12	水産業の振興
2	未来を拓く起業チャレンジへの支援	13	北陸新幹線の整備促進と新幹線駅を核とした交流拠点づくり
3	産官学連携によるものづくり産業の高度化	14	空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成
4	企業立地の促進	15	利便性の高い道路ネットワークの整備
5	中小企業の振興	16	情報通信基盤の充実と活用
6	デザインの振興と活用	17	快適で活力あるコンパクトなまちづくりの推進
7	商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	18	中心市街地の賑わいの創出
8	雇用の確保と人材の育成	19	選ばれ続ける観光地づくり
9	環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	20	国際観光の推進
10	農業生産の振興	21	富山のブランド力アップ
11	森林の整備と林業の振興		

《未来》

1	家庭・地域・職場における子育て支援	11	男女共同参画の推進と女性の能力の発揮
2	学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援	12	元気な高齢者の活躍の場の拡大
3	子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	13	人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成
4	子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	14	グローバル社会における地域づくり、人づくり
5	大学教育・学術研究・科学技術の振興	15	交流人口の拡大、定住・半定住の促進
6	生涯をとおした学びの推進	16	自然・歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見
7	ふるさとを学び楽しむ環境づくり	17	地域の個性を活かした景観づくり、まち並みづくり
8	芸術文化の振興	18	農山漁村の活性化
9	多様な主体による社会貢献活動の推進	19	豊かな森づくり・花と緑の地域づくり
10	若者の自立促進とチャレンジ支援		

《安心》

1	地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	11	水資源の保全と活用
2	医療提供体制の充実	12	多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保
3	健康づくりと疾病対策の推進	13	生活交通の確保
4	高齢者福祉の充実	14	住生活の向上
5	障害者福祉の充実	15	雪に強いまちづくり
6	食の安全確保と地産地消・食育の推進	16	県土保全の推進
7	スポーツの振興	17	防災・危機管理体制の充実
8	循環型社会と低炭素社会づくりの推進	18	地震防災対策の充実
9	自然環境の保全	19	防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり
10	生活環境の保全	20	消費生活の安全の確保

《人づくり》

1	将来を担う子どもの基礎づくり	4	女性の意欲と能力が活かされる環境づくり
2	若者の成長と自立、社会参加・社会貢献の促進	5	高齢者の活躍の場の拡大
3	若者の社会の一員としての自立の促進		

《行財政改革の推進》

1	オープンで分かりやすい県政	4	現場重視で効率的な県政
2	県民の自立と幸せを重視する県政	5	市町村、地域の自立と支援
3	スピード重視の県政	6	「とやまから日本を変える」改革と創造

活力・未来・安心・人づくり・行財政改革		←意見内容に応じて、該当項目に○をつけてください。
番号		
活力・未来・安心・人づくり・行財政改革		←意見内容に応じて、該当項目に○をつけてください。
番号		
活力・未来・安心・人づくり・行財政改革		←意見内容に応じて、該当項目に○をつけてください。
番号		
活力・未来・安心・人づくり・行財政改革		←意見内容に応じて、該当項目に○をつけてください。
番号		

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

## 総合計画の見直しにかかる有識者アンケート調査報告書

---

---

平成 29 年 3 月 発行

富 山 県

富山市新総曲輪 1 番 7 号

TEL(076)431-4111

集計・分析 一般財団法人北陸経済研究所

富山市丸の内 1 丁目 8 番 10 号

TEL(076)433-1134

---

---